SII JavaPOS
アプリケーションプログラマーズガイド

Rev.01

[対象製品]
RP-F10シリーズ
RP-E10シリーズ
RP-D10シリーズ

セイコーインスツル株式会社

Rev.01　2026年　5月

©セイコーインスツル株式会社　2026
無断転載を禁じます。
Microsoft®及びWindows®は米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標です。
JAVA®ブランド名はOracleの登録商標です。本書の内容は、断りなく変更することがあります。
本書及び本書に記載された製品の利用によって発生した
損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いかねます。
本書を第三者に無断で頒布することを禁じます。

はじめに

本書は、セイコーインスツル株式会社（以降：SII）が提供するプリンターを制御する「SII JavaPOS」（以降：本ソフトウェア）について説明します。

対象製品

本書の対象製品について下記に記載します。

	デバイス名	本書での記載
POSPrinter	RP-F10 RP-E10 RP-D10	プリンター

本ソフトウェアの利用にあたっては「UnifiedPOS Retail Peripheral Architecture Version 1.13 APPENDIX B Java for Retail POS」（以降：UPOS APG V1.13）も合わせて参照してください。

本書の表記

本書の表記について説明します。

操作と表示

本書は原則、下記の条件に基づき記載します。

- Windows 11の画面及び表示構成
- マウス及びキーボードによる操作方法

オペレーティングシステムの略称

本書で使用されているオペレーティングシステムの略称について下記に記載します。

オペレーティングシステム	略称
Microsoft® Windows®の全般	Windows
Microsoft® Windows® 10	Windows 10
Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise	Windows 10
Microsoft® Windows® 11	Windows 11
Microsoft® Windows® 11 IoT Enterprise	Windows 11

用語一覧

本書で使用する用語について下記の通りに定義します。

用語	内容
UPOS APG V1.13	「UnifiedPOS Retail Peripheral Architecture Version 1.13 APPENDIX B Java for Retail POS」
POSPrinter	POSPrinterデバイスクラスのJavaPOSドライバー。 制御対象デバイスはプリンター。
CashDrawer	CashDrawerデバイスクラスのJavaPOSドライバー。 制御対象デバイスはプリンタに接続されたドロワ。
プリンター	プリンター本体（プリンタデバイス）。
ドロワ	プリンタに接続されたドロワ本体（ドロワデバイス）。
JCL	「Java Configuration Loader」
JER	「JavaPOS Entry Registry」
JVM	「Java Virtual Machine」
OS	オペレーティングシステム
初期値	使用可能条件を満たした直後の値。
改行量	印刷行の高さ（印字行の高さと行間スペースの合計値）。

記号

本書で使用する記号について下記に記載します。

注意

◆ 注意事項や制限事項を記載しています。

参考

- 補足説明や関連事項を記載しています。

目次

1章 概要 1-1

1.1 構成 1-1
1.1.1 構造図 1-1
1.2 動作環境 1-2
1.2.1 システム環境 1-2
1.2.2 対象モデル 1-2
1.3 制限事項 1-3
1.3.1 POSPrinter 1-3
1.3.2 CashDrawer 1-3

2章 インストール 2-1

3章 設定プログラムの操作方法 3-1

3.1 起動 3-1
3.2 画面構成 3-2
3.2.1 メニューバー 3-2
3.2.2 デバイスビュー 3-3
3.2.3 設定ビュー 3-4
3.3 機能 3-6
3.3.1 JposEntryの追加 3-6
3.3.2 JposEntryの修正 3-16
3.3.3 JposEntryの削除 3-17
3.3.4 ログ設定 3-17

4章 POSPrinter 4-1

4.1 一覧 4-1
4.1.1 共通プロパティ 4-1
4.1.2 専用プロパティ 4-2
4.1.3 共通メソッド 4-6
4.1.4 専用メソッド 4-6
4.1.5 イベント 4-7
4.2 印字データとエスケープシーケンス 4-8
4.2.1 指定時のみ動作するエスケープシーケンス 4-8
4.2.2 印字中に動作するエスケープシーケンス 4-10
4.2.3 印字時に動作するエスケープシーケンス 4-11
4.3 詳細 4-13
4.3.1 共通プロパティ 4-13
CapCompareFirmwareVersion プロパティ 4-13
CapPowerReporting プロパティ 4-13
CapStatisticsReporting プロパティ 4-13

CapUpdateFirmware プロパティ 4-14
CapUpdateStatistics プロパティ 4-14
CheckHealthText プロパティ 4-14
Claimed プロパティ 4-15
DeviceEnabled プロパティ R/W 4-15
FreezeEvents プロパティ R/W 4-15
OutputID プロパティ 4-16
PowerNotify プロパティ R/W 4-16
PowerState プロパティ 4-17
State プロパティ 4-17
DeviceControlDescription プロパティ 4-17
DeviceControlVersion プロパティ 4-18
DeviceServiceDescription プロパティ 4-18
DeviceServiceVersion プロパティ 4-18
PhysicalDeviceDescription プロパティ 4-18
PhysicalDeviceName プロパティ 4-19
4.3.2 専用プロパティ 4-20
AsyncMode プロパティ R/W 4-20
CapCharacterSet プロパティ 4-20
CapCoverSensor プロパティ 4-20
CapMapCharacterSet プロパティ 4-21
CapRec2Color プロパティ 4-21
CapRecBarCode プロパティ 4-21
CapRecBitmap プロパティ 4-21
CapRecBold プロパティ 4-22
CapRecCartridgeSensor プロパティ 4-22
CapRecColor プロパティ 4-22
CapRecDhigh プロパティ 4-23
CapRecDwide プロパティ 4-23
CapRecDwideDhigh プロパティ 4-23
CapRecEmptySensor プロパティ 4-23
CapRecItalic プロパティ 4-24
CapRecLeft90 プロパティ 4-24
CapRecMarkFeed プロパティ 4-24
CapRecNearEndSensor プロパティ 4-24
CapRecPageMode プロパティ 4-25
CapRecPaperCut プロパティ 4-25
CapRecPresent プロパティ 4-25
CapRecRight90 プロパティ 4-26
CapRecRotate180 プロパティ 4-26
CapRecRuledLine プロパティ 4-26
CapRecStamp プロパティ 4-26
CapRecUnderline プロパティ 4-27
CapTransaction プロパティ 4-27
CartridgeNotify プロパティ R/W 4-27
CharacterSet プロパティ R/W 4-27
CharacterSetList プロパティ 4-28
CoverOpen プロパティ 4-28

ErrorLevel プロパティ 4-29
ErrorStation プロパティ 4-29
ErrorString プロパティ 4-29
FlagWhenIdle プロパティ R/W 4-30
FontTypefaceList プロパティ 4-31
MapCharacterSet プロパティ R/W 4-31
MapMode プロパティ R/W 4-31
PageModeArea プロパティ 4-32
PageModeDescriptor プロパティ 4-33
PageModeHorizontalPosition プロパティ R/W 4-33
PageModePrintArea プロパティ R/W 4-34
PageModePrintDirection プロパティ R/W 4-35
PageModeStation プロパティ R/W 4-37
PageModeVerticalPosition プロパティ R/W 4-37
RecBarCodeRotationList プロパティ 4-38
RecBitmapRotationList プロパティ 4-39
RecCartridgeState プロパティ 4-39
RecCurrentCartridge プロパティ R/W 4-39
RecEmpty プロパティ 4-40
RecLetterQuality プロパティ R/W 4-40
RecLineChars プロパティ R/W 4-40
RecLineCharsList プロパティ 4-42
RecLineHeight プロパティ R/W 4-42
RecLineSpacing プロパティ R/W 4-42
RecLinesToPaperCut プロパティ 4-43
RecLineWidth プロパティ 4-44
RecNearEnd プロパティ 4-44
RecSidewaysMaxChars プロパティ 4-44
RecSidewaysMaxLines プロパティ 4-45
RotateSpecial プロパティ R/W 4-45
4.3.3 共通メソッド 4-46
checkHealth メソッド 4-46
claim メソッド 4-46
clearOutput メソッド 4-46
close メソッド 4-47
compareFirmwareVersion メソッド 4-47
directIO メソッド 4-47
open メソッド 4-49
release メソッド 4-49
resetStatistics メソッド 4-49
retrieveStatistics メソッド 4-49
updateFirmware メソッド 4-50
updateStatistics メソッド 4-50
4.3.4 専用メソッド 4-51
beginInsertion メソッド 4-51
beginRemoval メソッド 4-51
changePrintSide メソッド 4-51
clearPrintArea メソッド 4-51

cutPaper メソッド....4-51
drawRuledLine メソッド....4-52
endInsertion メソッド....4-52
endRemoval メソッド....4-52
markFeed メソッド....4-53
pageModePrint メソッド....4-53
printBarCode メソッド....4-55
printBitmap メソッド....4-68
printImmediate メソッド....4-70
printMemoryBitmap メソッド....4-70
printNormal メソッド....4-71
printTwoNormal メソッド....4-72
rotatePrint メソッド....4-72
setBitmap メソッド....4-73
setLogo メソッド....4-74
transactionPrint メソッド....4-75
validateData メソッド....4-76
4.3.5 イベント....4-77
DirectIOEvent イベント....4-77
ErrorEvent イベント....4-77
OutputCompleteEvent イベント....4-78
StatusUpdateEvent イベント....4-78

5章 CashDrawer 5-1

5.1 一覧....5-1
5.1.1 共通プロパティ....5-1
5.1.2 専用プロパティ....5-2
5.1.3 共通メソッド....5-2
5.1.4 専用メソッド....5-2
5.1.5 イベント....5-2
5.2 詳細....5-3
5.2.1 共通プロパティ....5-3
CapCompareFirmwareVersion プロパティ....5-3
CapPowerReporting プロパティ....5-3
CapStatisticsReporting プロパティ....5-3
CapUpdateFirmware プロパティ....5-4
CapUpdateStatistics プロパティ....5-4
CheckHealthText プロパティ....5-4
Claimed プロパティ....5-5
DeviceEnabled プロパティ R/W....5-5
FreezeEvents プロパティ R/W....5-5
PowerNotify プロパティ R/W....5-6
PowerState プロパティ....5-6
State プロパティ....5-7
DeviceControlDescription プロパティ....5-7
DeviceControlVersion プロパティ....5-7
DeviceServiceDescription プロパティ....5-7

DeviceServiceVersion プロパティ 5-7
PhysicalDeviceDescription プロパティ 5-8
PhysicalDeviceName プロパティ 5-8
5.2.2 専用プロパティ 5-9
CapStatus プロパティ 5-9
CapStatusMultiDrawerDetect プロパティ 5-9
DrawerOpened プロパティ 5-9
5.2.3 共通メソッド 5-10
checkHealth メソッド 5-10
claim メソッド 5-10
close メソッド 5-10
compareFirmwareVersion メソッド 5-11
directIO メソッド 5-11
open メソッド 5-11
release メソッド 5-11
resetStatistics メソッド 5-11
retrieveStatistics メソッド 5-11
updateFirmware メソッド 5-11
updateStatistics メソッド 5-12
5.2.4 専用メソッド 5-13
openDrawer メソッド 5-13
waitForDrawerClose メソッド 5-13
5.2.5 イベント 5-14
DirectIOEvent イベント 5-14
StatusUpdateEvent イベント 5-14

付録 A 例外 A-1

A.1 POSPrinter A-1
A.1.1 共通プロパティ A-1
A.1.2 専用プロパティ A-3
A.1.3 共通メソッド A-13
A.1.4 専用メソッド A-16
A.1.5 エスケープシーケンス A-27
A.2 CashDrawer A-29
A.2.1 共通プロパティ A-29
A.2.2 専用プロパティ A-30
A.2.3 共通メソッド A-31
A.2.4 専用メソッド A-33

付録 B Statistics B-1

B.1 Uposで定義されたStatistic B-1
B.2 Manufacturerで定義されたStatistic B-2

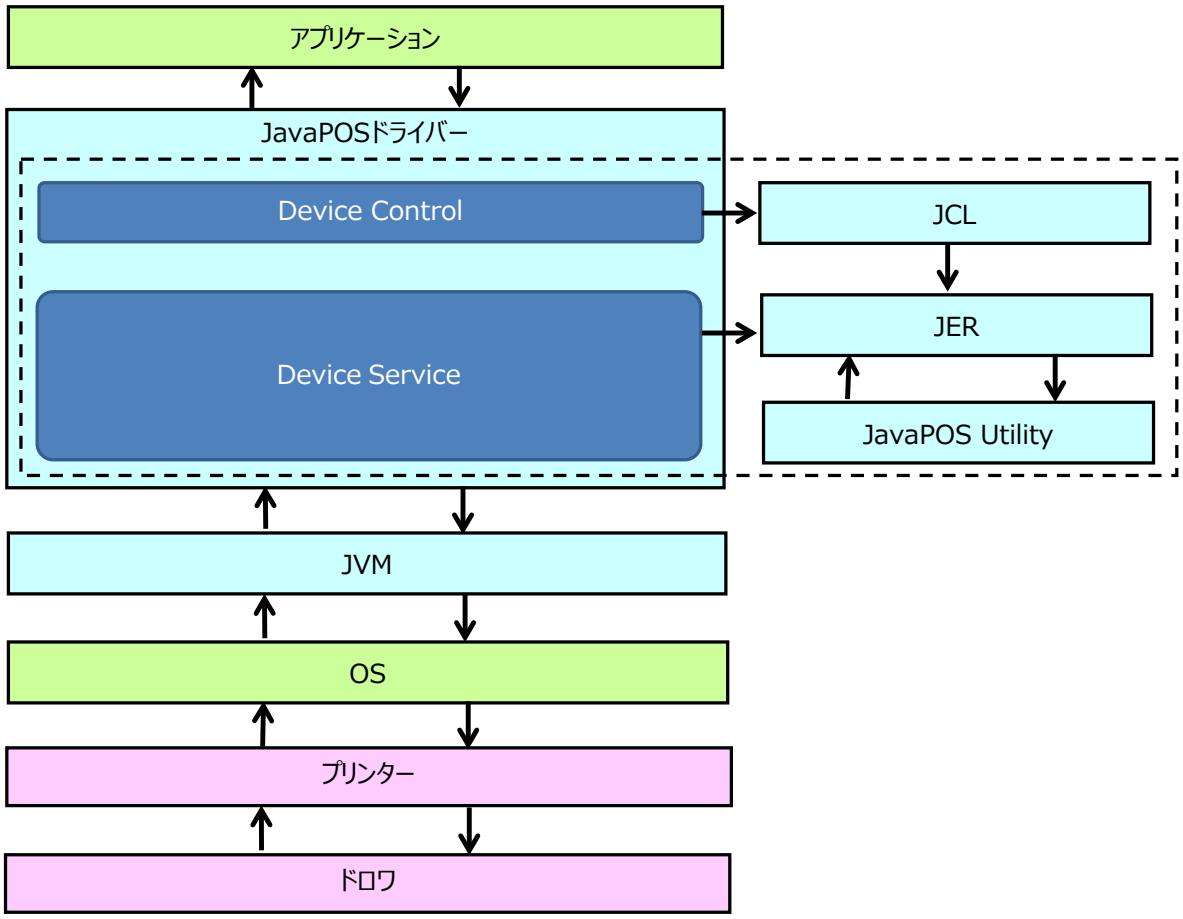
1章　概要

本章では本ソフトウェアの概要について説明します。

1.1　構成

1.1.1　構造図

本ソフトウェアの構成を示し、本書の対象範囲を破線で示します。



1.2 動作環境

1.2.1 システム環境

本ソフトウェアのシステム環境について下記に記載します。

項目	仕様
オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® 10 (32ビット及び64ビット) Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise (32ビット及び64ビット) Microsoft® Windows® 11 (64ビット) Microsoft® Windows® 11 IoT Enterprise (64ビット)
Java 実行環境	Java Standard Edition 8以降
プリンタードライバー*1	RP-F10の場合： RP-F10シリーズプリンタードライバー RP-E10の場合： RP-E10シリーズプリンタードライバー RP-D10の場合： RP-D10シリーズプリンタードライバー

*1：各機種の専用インストーラーでインストールを行ってください。
インストール方法については、「RP-D10 シリーズ プリンタードライバー 取扱説明書」、または「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。
プリンタードライバーの名前を変更する場合は、プリンターのモデル名"SII RP-x10"を含む名前にしてください。

1.2.2 対象モデル

本書での記載	型式	インターフェース
RP-F10	RP-F10-K27J1 RP-F10-W27J1	USB、イーサネット、Bluetooth
RP-E10	RP-E10-K3FJ1 RP-E10-W3FJ1 RP-E11-K3FJ1 RP-E11-W3FJ1	USB、シリアル、イーサネット
RP-D10	RP-D10-K27J1 RP-D10-W27J1	USB、シリアル、イーサネット

1.3 制限事項

本ソフトウェアの制限事項について説明します。

1.3.1 POSPrinter

POSプリンターデバイスクラスの全てのインターフェイスが提供されますが、下記の制限があります。

① ジャーナル及びスリップ印刷に関するメソッド及びプロパティ設定はサポートしていません。

② 下記の機能はサポートしていません。

- フィードとカットとスタンプ印刷
- スタンプ印刷
- 逆フィード
- フォントタイプ指定
- イタリック
- カスタムカラー
- 網掛け文字
- 色指定
- サブ スクリプト
- スーパー スクリプト
- 取り消し線
- カートリッジ機能

③ 下記のメソッドはイネーブル後にいずれも必ず JPOS_E_ILLEGAL を返します。

- **beginInsertion**
- **beginRemoval**
- **changePrintSide**
- **endInsertion**
- **endRemoval**
- **markFeed**
- **printTwoNormal**

④ **DirectIOEvent**（デバイス固有イベント）はサポートしていません。

⑤ 印刷中に接続ケーブルを抜かないでください。再接続後に正常に印刷されない場合があります。

1.3.2 CashDrawer

CashDrawerデバイスのすべてのインターフェースが提供されますが、下記の制限があります。

① 下記のメソッドはオープン後に必ず JPOS_E_ILLEGAL を返します。

- **directIO**

② **DirectIOEvent**（デバイス固有イベント）はサポートしていません。

2章　インストール

インストール及びアンインストールについては、「RP-D10 シリーズ プリンタードライバー 取扱説明書」、または「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。

本ソフトウェアのインストール前に、Java実行環境のインストールが必要です。

注意

◆ インストールにはコンピューターの管理者権限が必要です。

3章　設定プログラムの操作方法

本章では本ソフトウェアで提供する設定プログラムについて説明します。
本章の説明や各画面は、RP-F10を例に説明します。

3.1　起動

設定プログラムの起動手順を下記に説明します。

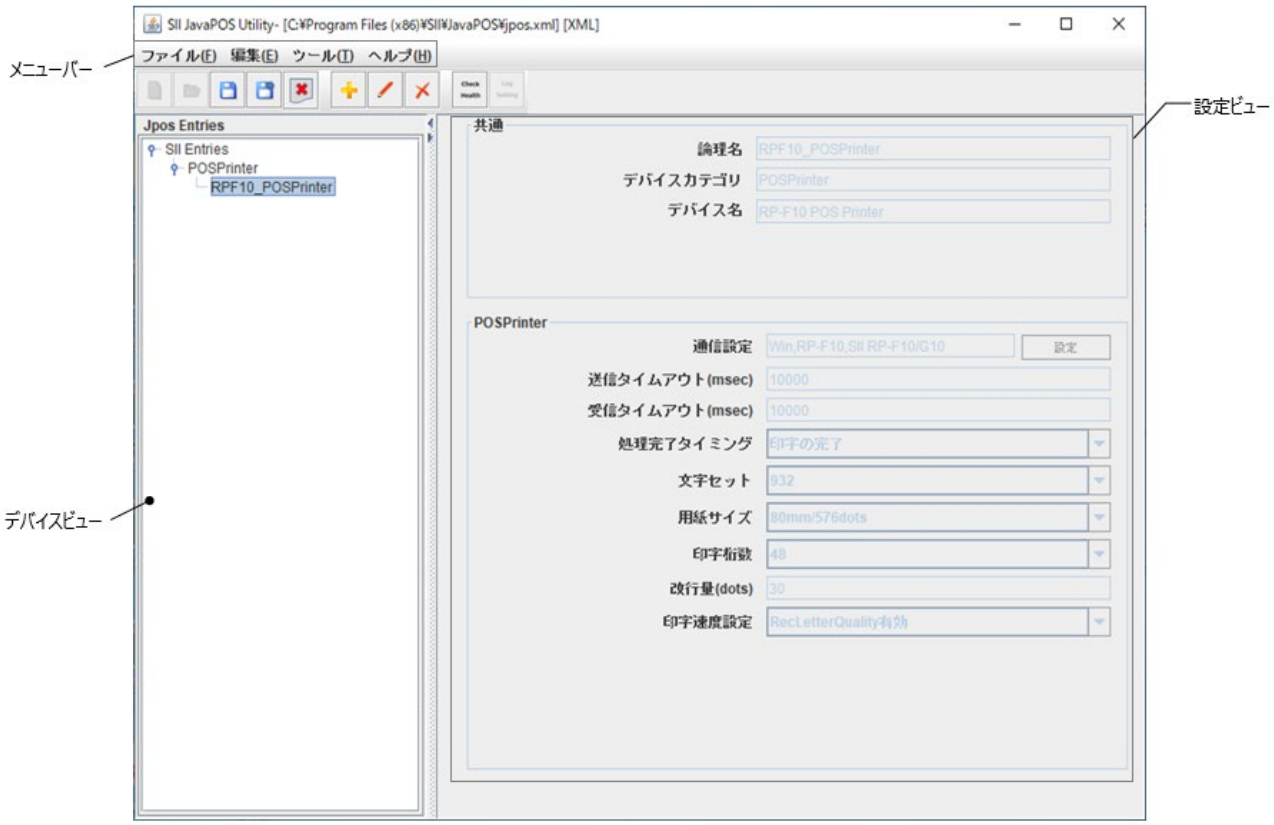
スタートメニューから[SII Printer Software] - [JavaPOS] - [JavaPosUtility.bat]を選択すると、設定プログラムが起動します。

注意

◆ 本ソフトウェアの使用にはコンピューターの管理者権限が必要です。

3.2 画面構成

設定プログラムの画面構成について説明します。



項目	説明
メニューバー	設定プログラムのメニューバーです。 メニューバーの項目については、「3.2.1 メニューバー」を参照してください。
デバイスビュー	システムに登録されたデバイスのデバイスタイプ、デバイス名及び論理デバイス名をツリーで表示します。
設定ビュー	「デバイスビュー」で選択されたデバイスの設定内容を表示します。 各デバイスの項目については、「3.2.3(1) POSPrinterの設定項目」または「3.2.3(2) CashDrawerの設定項目」を参照してください。

3.2.1 メニューバー

項目		説明
ファイル(F)	新規(N)	新しいxmlファイルの作成を開始します。
	開く(O)	保存されているデータを読み込みます。
	保存(S)	編集中のデータを保存します。
	名前を付けて保存(A)	編集中のデータを名前を付けて保存します。 ファイル名はjpos.xmlとしてください。
	閉じる(C)	設定プログラムを閉じます。
	終了(E)	設定プログラムを終了します。

項目		説明
編集(E)	追加(A)	新しいデバイスを追加します。
	修正(M)	選択中のデバイスに対して、設定内容の変更を行います。
	削除(D)	選択中のデバイスを削除します。
ツール(T)	CheckHealth(C)	選択中のデバイスに対して対話テストを実行します。
	LogSetting(L)	ログ設定を行います。 ログ設定については、「3.3.4 ログ設定」を参照してください。
ヘルプ(H)	SII JavaPOS Utilityについて(A)	設定プログラムのバージョン情報を表示します。
	言語(L)	日本語(J) 設定プログラムを日本語で表示します。 英語(E)　設定プログラムを英語で表示します。

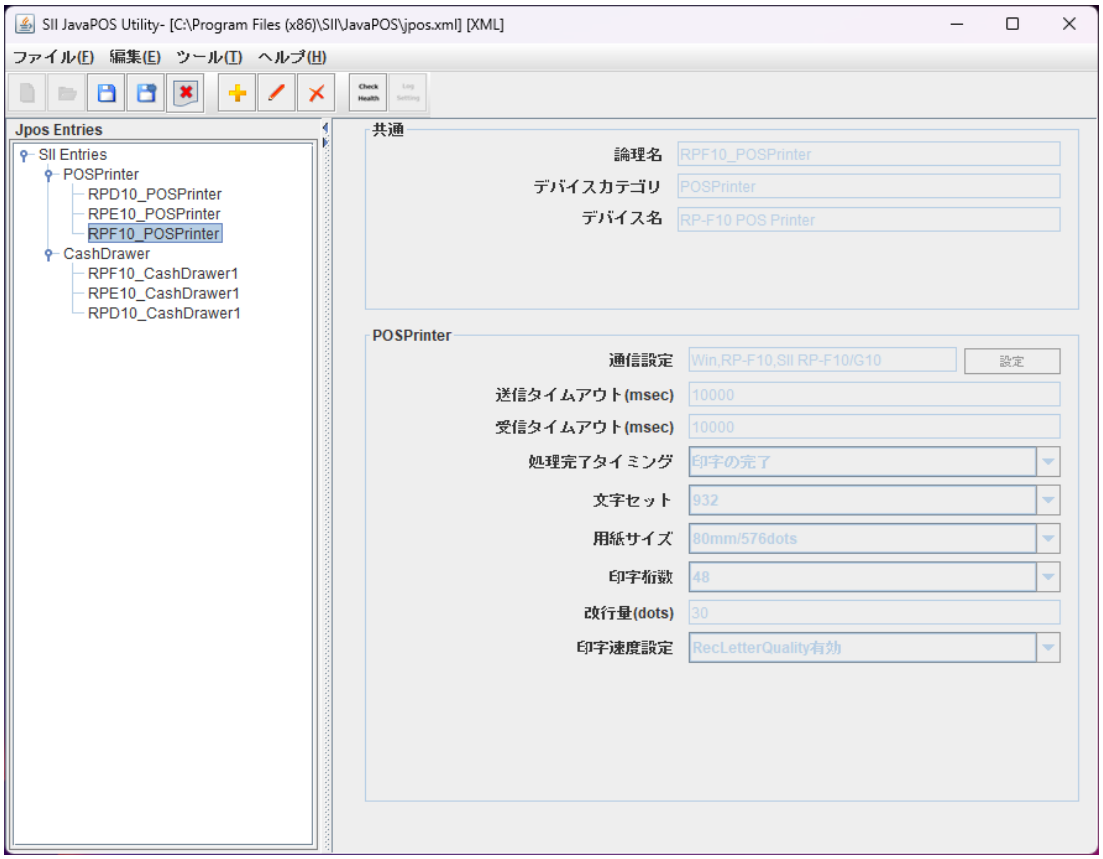
3.2.2　デバイスビュー

名称	説明
SII Entries	SII製のデバイスを表示します。 「デバイスビュー」で論理名が選択されている場合、デバイスの設定内容の変更・削除ができます。

3.2.3　設定ビュー

(1)　POSPrinterの設定項目

プリンターを選択した場合に「設定ビュー」に表示される項目と設定内容について下記に説明します。



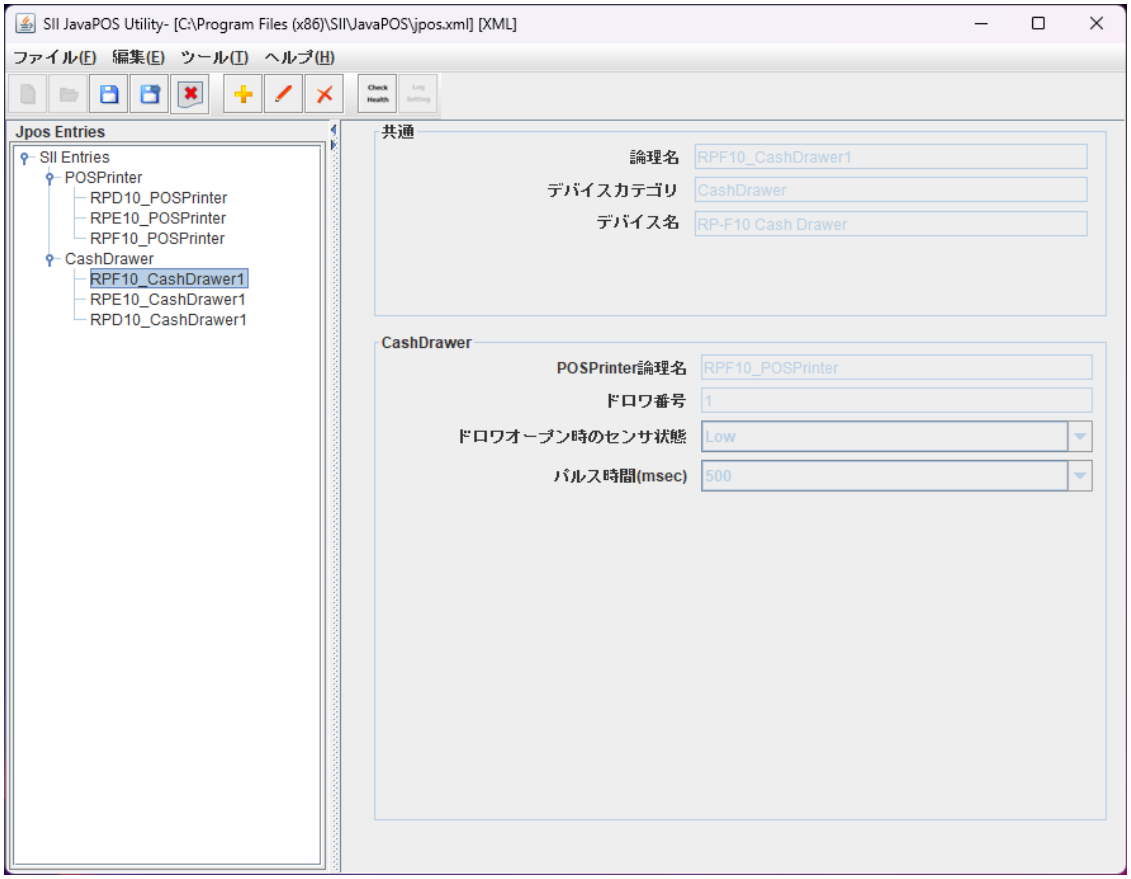
項目		説明	設定内容（"　" ： 初期値）
共通			
	論理名	入力された任意の論理名	RP-F10の場合： RPF10_POSPrinter RP-E10の場合： RPE10_POSPrinter RP-D10の場合： RPD10_POSPrinter
	デバイスカテゴリ	デバイスの種類	POSPrinter
	デバイス名	デバイス名	RP-F10の場合： RP-F10 POS Printer RP-E10の場合： RP-E10 POS Printer RP-D10の場合： RP-D10 POS Printer

項目		説明	設定内容（" " : 初期値）
POSPrinter			
	通信設定	プリンターとの通信に使用するプリンタードライバー	[設定]ボタンから選択可能。 例：Windows
	送信タイムアウト値(msec)	プリンターとの通信における送信タイムアウト値(ミリ秒)	3000 ～ 60000 (10000)
	受信タイムアウト値(msec)	プリンターとの通信における受信タイムアウト値(ミリ秒)	3000 ～ 60000 (10000)
	処理完了タイミング	メソッド完了のタイミング	データ送信の完了 印字の完了
	文字セット	文字セットの種類 **CharacterSet**はこの値で初期化されます。 詳細は**CharacterSet**を参照してください。	437 737*1 850 852 855*1 857*1 858 860 863 865*1 866*1 932*2 999*3 1250 1251 1252 1253 1254
	用紙サイズ	紙幅/有効ドット数	58mm/360dots 58mm/432dots 80mm/512dots 80mm/576dots
	印字桁数	一行に印字する半角文字の文字数 **RecLineChars**はこの値で初期化されます。	360 dots / 30, 40 432 dots / 27, 30, 33, 36, 43, 48, 54 512 dots / 42, 56 576 dots / 36, 41, 44, 48, 57, 64, 72
	改行量(dots)	一行あたりの改行量 **RecLineSpacing**はこの値で初期化されます。	0 ～ 255 (30)
	ニアエンドセンサ*4	ニアエンドセンサ機能の有効/無効を選択します。	0：無効 1：有効
	印字速度設定	プリンターの印字速度設定 RecLetterQuality Validを選択すると、**RecLetterQuality**により決定されます。	RecLetterQuality Valid： **RecLetterQuality**の設定有効 High： 高速*5 Middle(Quality)： 中速（品質）*5 Middle(Silent)： 中速（静音）*5 Low： 低速*5*6

*1: RP-F10 のみサポートします。
*2: 日本語の場合の初期値
*3: 英語の場合の初期値
*4: RP-E10 のみサポートします。
*5: 印字速度についての詳細は、「RP-F10 シリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書」、「RP-E10 シリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書」、または「RP-D10 シリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書」を参照してください。
*6: RP-E10、RP-D10 のみサポートします。

(2) CashDrawerの設定項目

キャッシュドロワを選択した場合に「設定ビュー」に表示される項目と設定内容について下記に説明します。



項目		説明	設定内容（" " ： 初期値）
共通			
	論理名	入力された任意の論理名	RP-F10の場合： RP-F10_CashDrawer1 RP-E10の場合： RP-E10_CashDrawer1 RP-D10の場合： RP-D10_CashDrawer1
	デバイスカテゴリ	デバイスの種類	CashDrawer
	デバイス名	デバイス名	RP-F10の場合： RP-F10 Cash Drawer RP-E10の場合： RP-E10 Cash Drawer RP-D10の場合： RP-D10 Cash Drawer

項目		説明	設定内容（″ ″ : 初期値）
CashDrawer			
	POSPrinter論理名	ドロワを接続するプリンタの論理名	JavaPOS Entry Registryに設定済のPOSPrinterデバイスの中から選択可能。 例：RPF10_POSPrinter
	ドロワ番号	**OpenDrawer**実行時に開くドロワ	1 2
	ドロワオープン時のセンサ状態	ドロワオープン時のセンサ状態	Low High
	パルス時間(msec)	ドロワを開くためのパルス幅	100 200 300 400 500 600 700 800

3.3 機能

設定プログラムの機能について説明します。

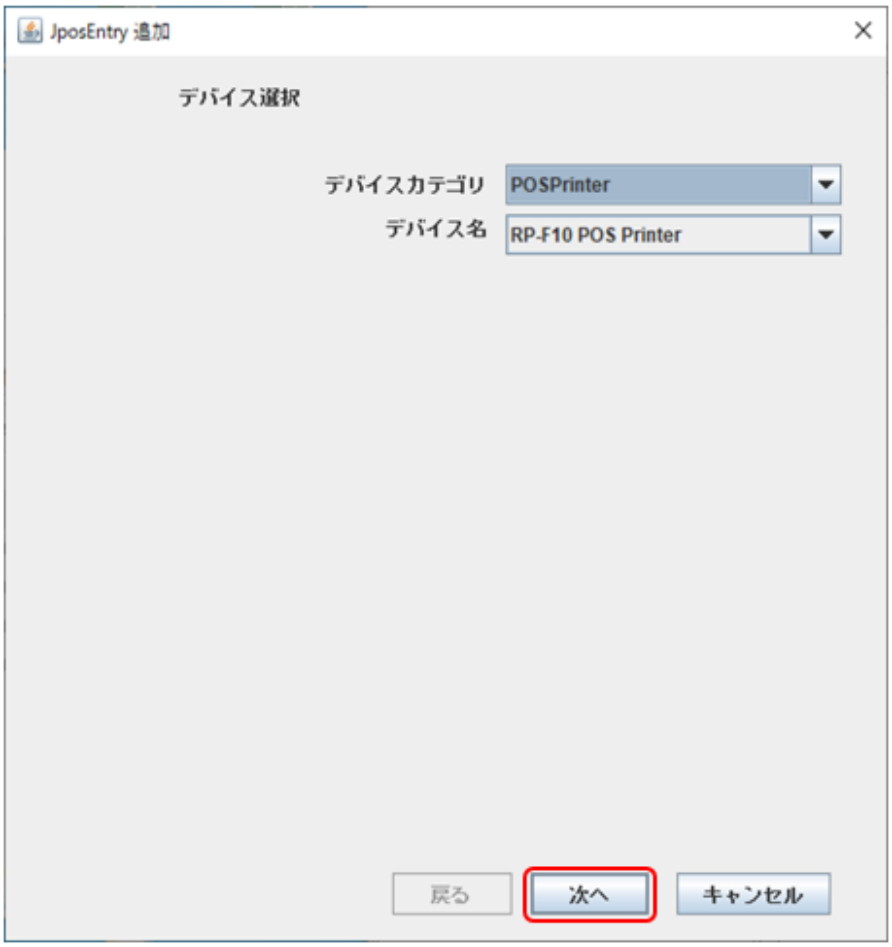
3.3.1 JposEntry の追加

(1) POSPrinterの追加

① 設定プログラムを起動すると、下記の画面が表示されます。「メニューバー」から[編集(E)]－[追加(A)]を選択してください。



② [デバイスカテゴリ]で「POSPrinter」を選択、[デバイス名]で「RP-F10 POS Printer」を選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



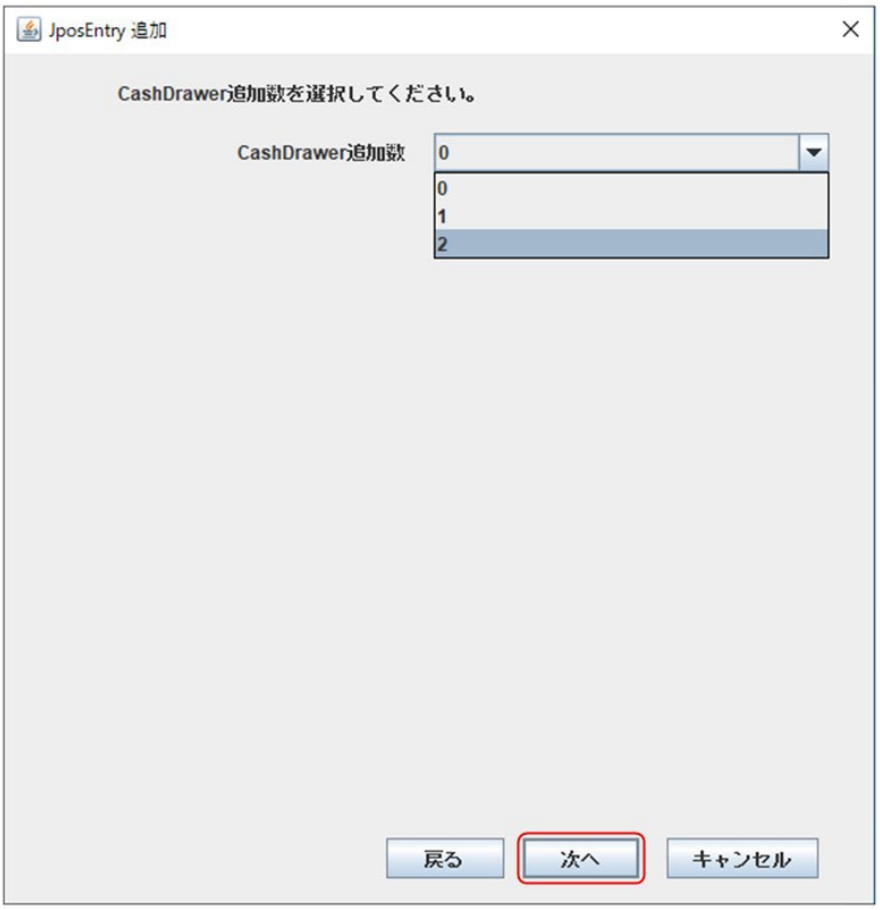
③　追加するPOSPrinterの詳細設定が表示されます。各項目を設定して、[次へ]ボタンをクリックしてください。設定内容については、「3.2.3(1) POSPrinterの設定項目」を参照してください。



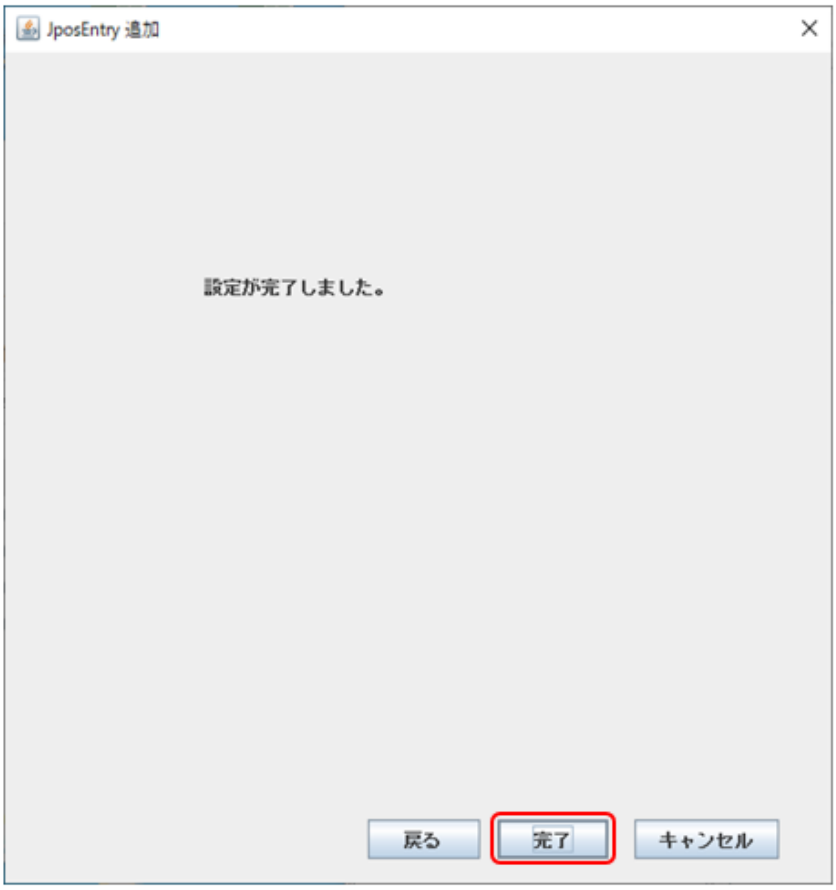
注意

◆ 同一の論理名を複数のPOSPrinterデバイスに設定はできません。

④　続いてPOSPrinterに接続するCashDrawerの数（[CashDrawer追加数]）を選択する画面が表示されます。
POSPrinterのみ追加する場合：
[0]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。
その後の設定は⑤の説明を参照してください。
POSPrinterの他にCashDrawerを1台追加する場合：
[1]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。
その後の設定は"(2)CashDrawerの追加"の④の説明を参照してください。
POSPrinterの他にドロワを2台追加する場合：
[2]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。
その後の設定は"(2)CashDrawerの追加"の⑤の説明を参照してください。



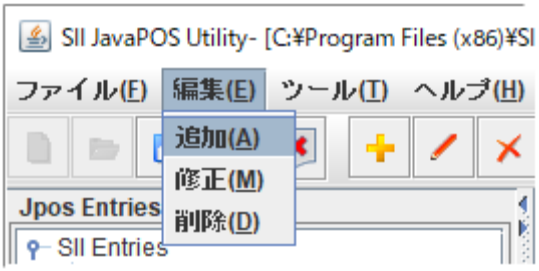
⑤　[完了]ボタンをクリックしてください。



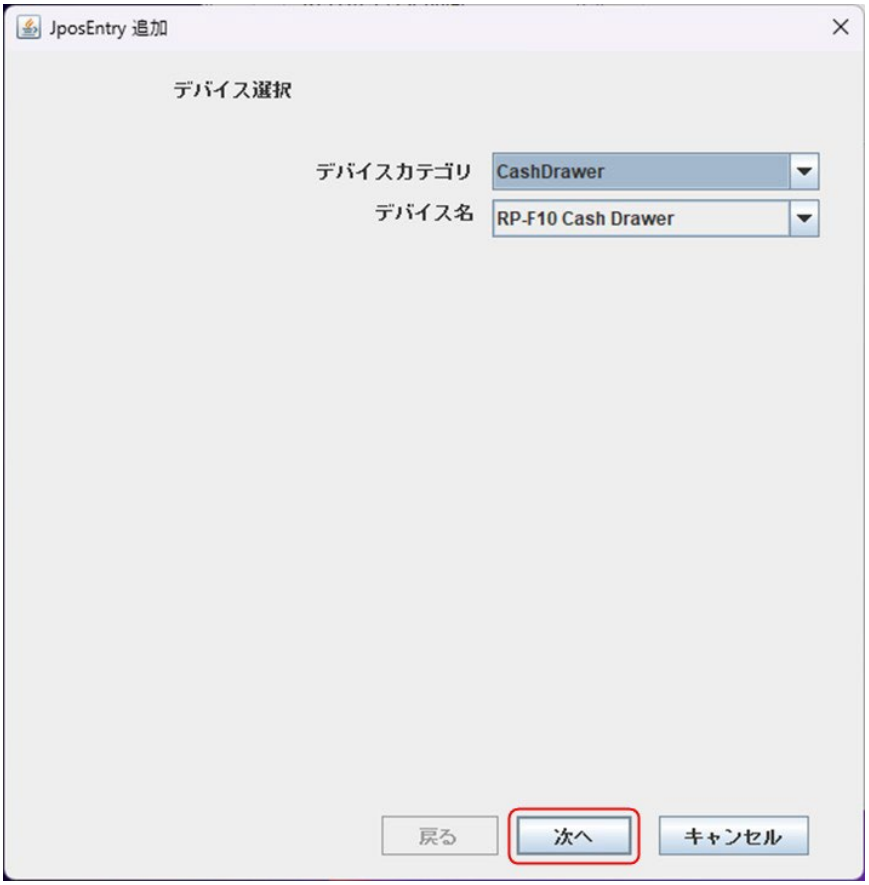
⑥　「メニューバー」から[ファイル(F)] – [保存(S)]または[名前を付けて保存(A)]を選択してください。
[名前を付けて保存(A)]を選択した場合は、ファイル名をjpos.xmlとして保存してください。

(2) CashDrawerの追加

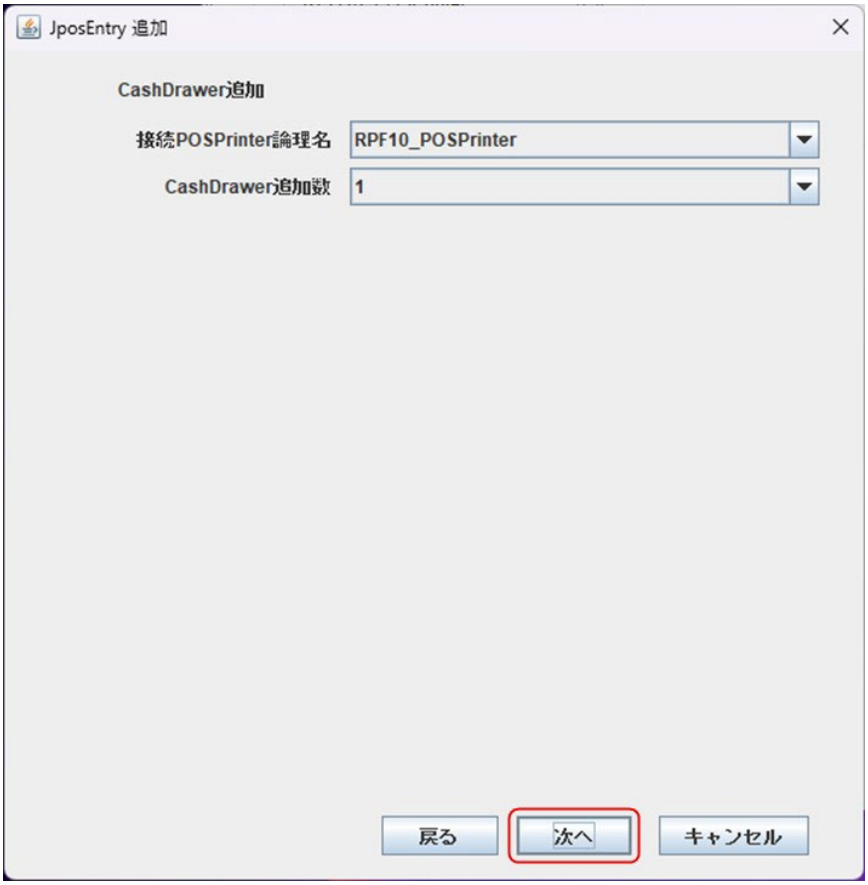
① 設定プログラムを起動すると、下記の画面が表示されます。「メニューバー」から[編集(E)]－[追加(A)]を選択してください。



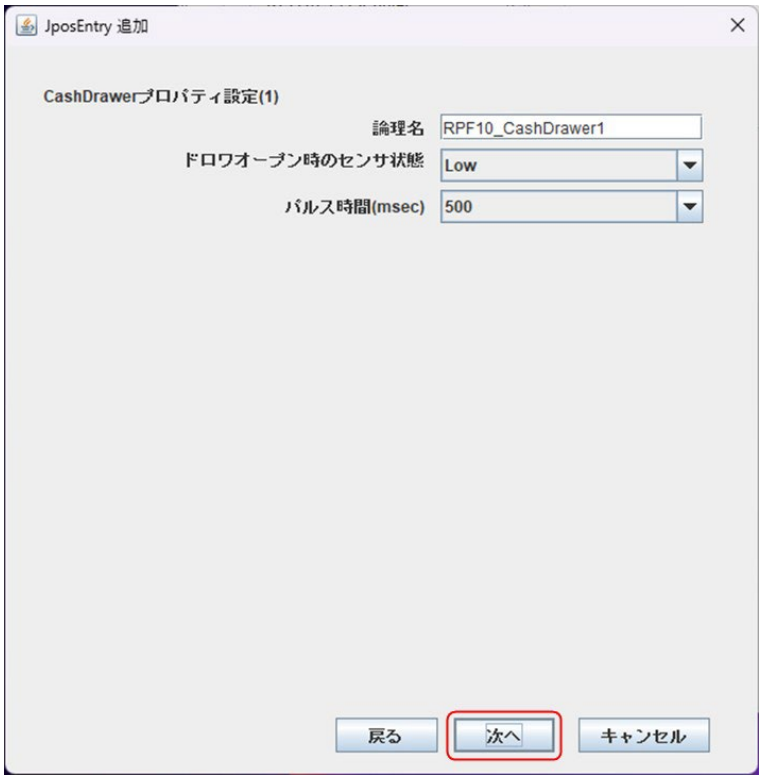
② [デバイスカテゴリ]で[CashDrawer]を選択、[デバイス名]で[RP-F10 Cash Drawer]を選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



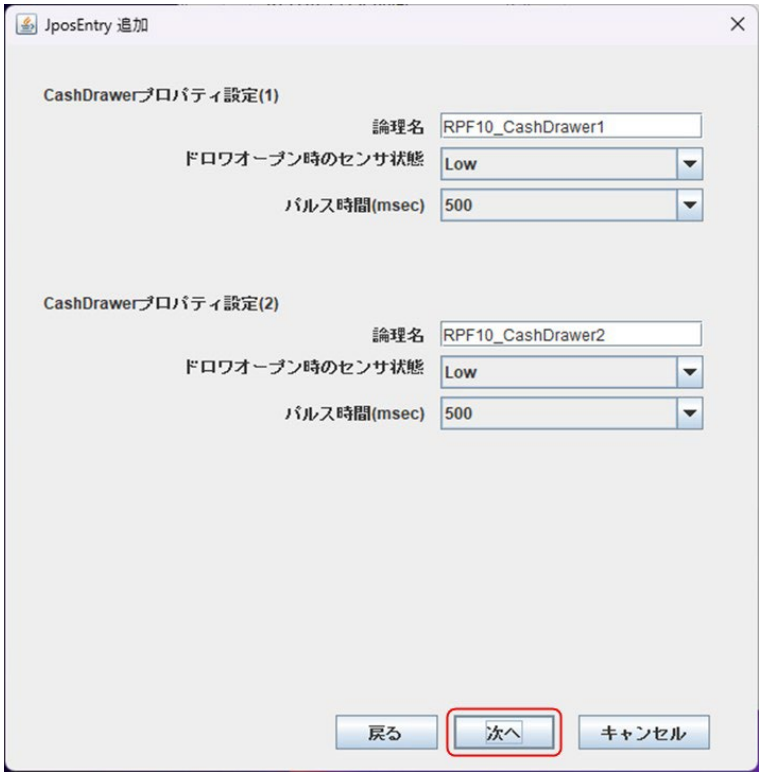
③　続いて、接続対象となるPOSPrinterの論理名とPOSPrinterに接続するCashDrawerの数を選択する画面が表示されます。
接続対象となるPOSPrinterの論理名（[接続POSPrinter論理名]）を選択してください。
POSPrinterの他にCashDrawerを1台追加する場合：
[CashDrawer追加数]において[1]を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。
その後の設定は④の説明を参照してください。
POSPrinterの他にCashDrawerを2台追加する場合：
[CashDrawer追加数]において[2]を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。
その後の設定は⑤の説明を参照してください。



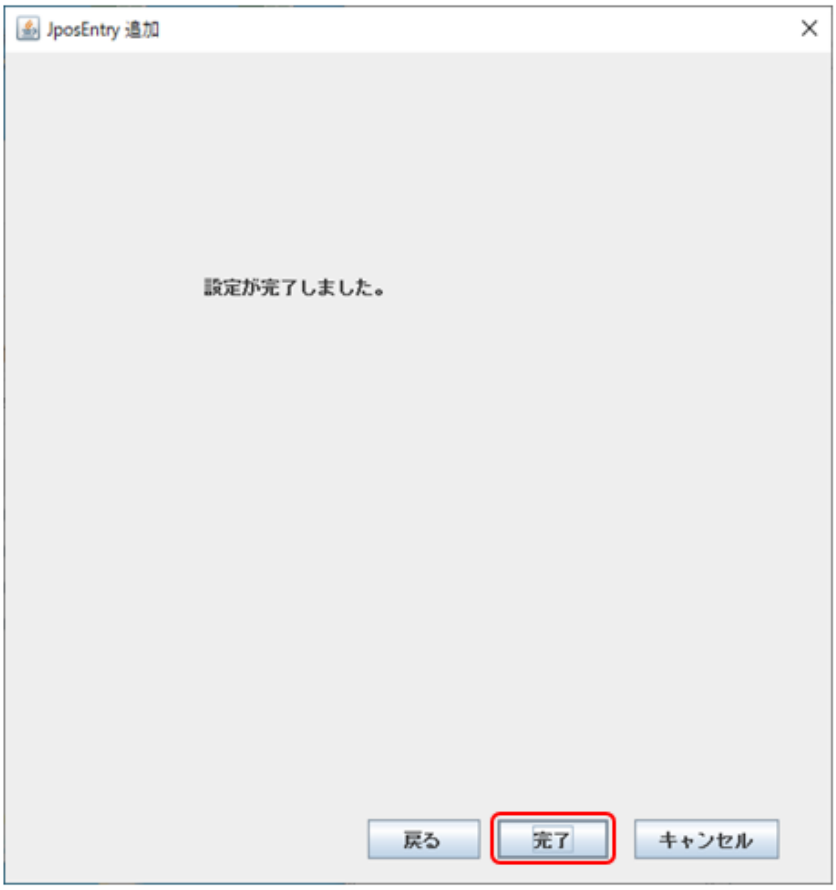
④　ドロワ1台駆動の場合の詳細設定が表示されます。
各項目を設定して、[次へ]ボタンをクリックしてください。
設定内容の詳細は「3.2.3(2) CashDrawerの設定項目」を参照してください。



⑤　ドロワ2台駆動の場合の詳細設定が表示されます。
各項目を設定して、[次へ]ボタンをクリックしてください。
設定内容の詳細は「3.2.3(2) CashDrawerの設定項目」を参照してください。

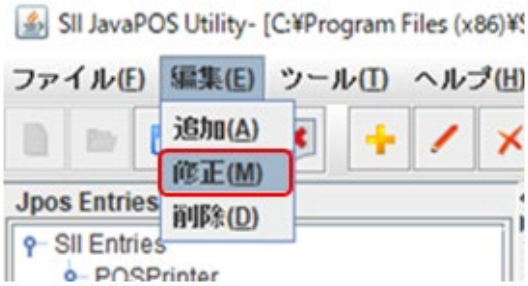


⑥　[完了]ボタンをクリックしてください。

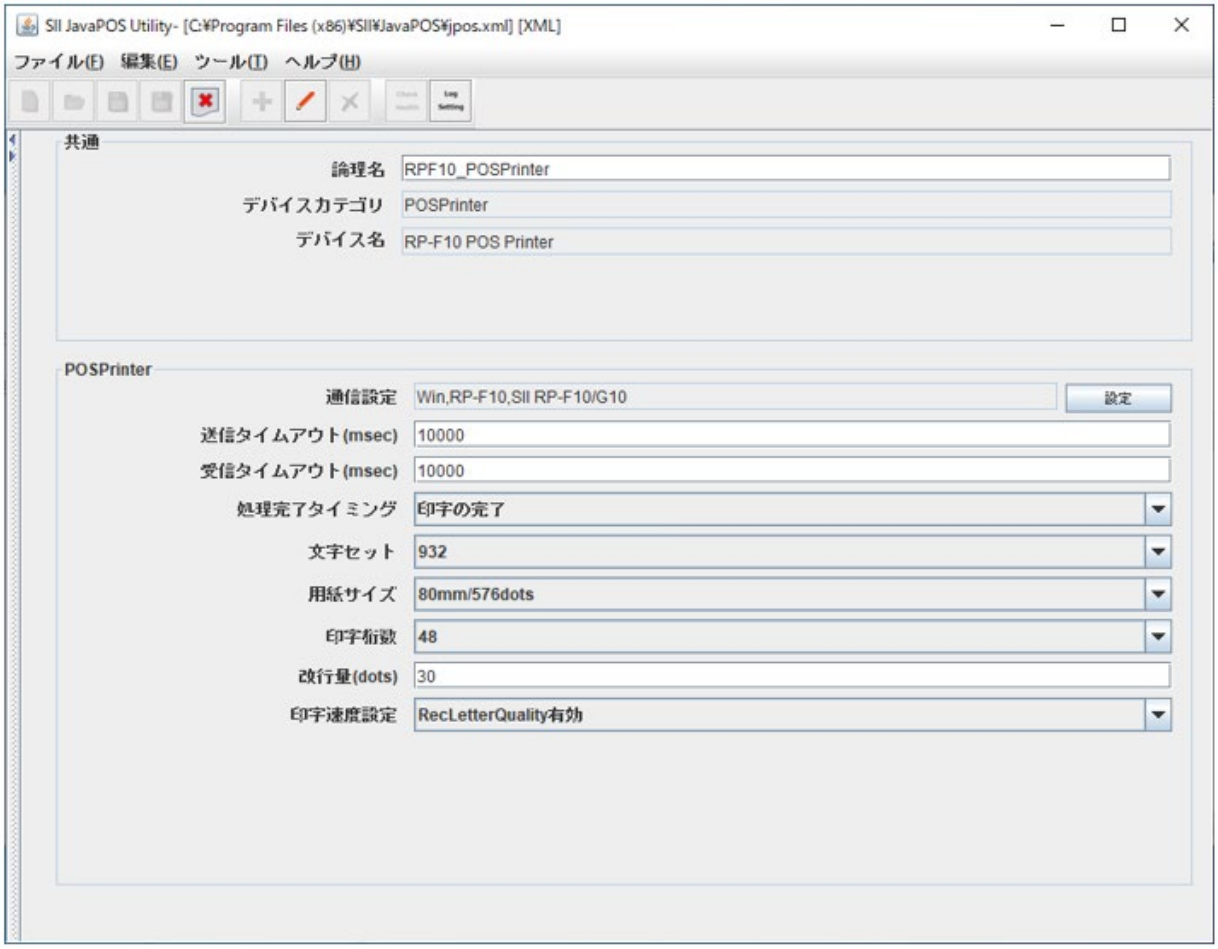


3.3.2　JposEntry の修正

①　「デバイスビュー」から変更を行うデバイスのデバイス名を選択してください。
「メニューバー」から[編集(E)] – [修正(M)]を選択してください。



②　「設定ビュー」が編集可能状態で表示されます。内容を変更してください。
「メニューバー」から[編集(E)] – [修正(M)]を選択すると編集を終了します。



③　「メニューバー」から[ファイル(F)] – [保存(S)]または[名前を付けて保存(A)]を選択してください。
[名前を付けて保存(A)]を選択した場合は、ファイル名をjpos.xmlとして保存してください。

3.3.3　JposEntry の削除

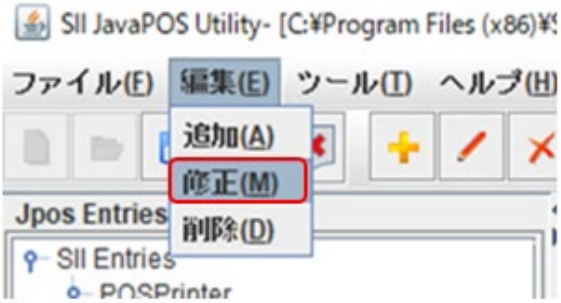
①　「デバイスビュー」から削除を行うデバイスのデバイス名を選択してください。
「メニューバー」から[編集(E)] – [削除(D)]を選択してください。



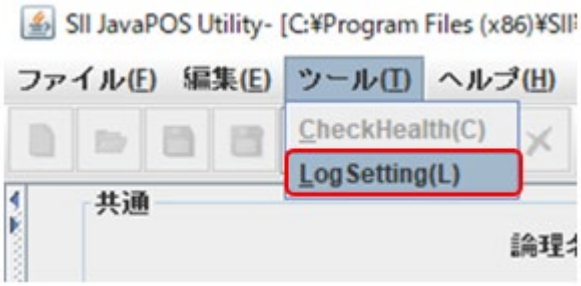
②　「メニューバー」から[ファイル(F)] – [保存(S)]または[名前を付けて保存(A)]を選択してください。
[名前を付けて保存(A)]を選択した場合は、ファイル名をjpos.xmlとして保存してください。

3.3.4　ログ設定

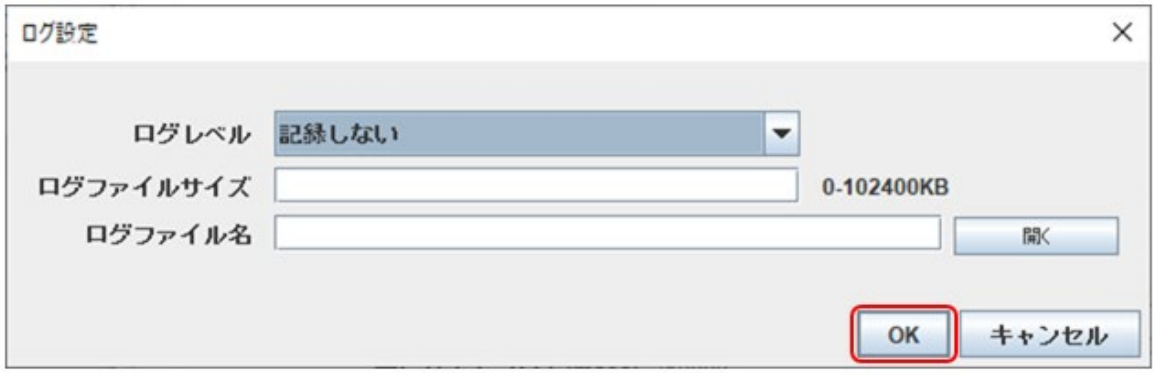
①　「デバイスビュー」からログ設定を行うデバイスのデバイス名を選択してください。
「メニューバー」から[編集(E)] – [修正(M)]を選択してください。



②　「メニューバー」から[ツール(T)] – [LogSetting(L)]を選択してください。



③　[ログ設定]ウィザードが表示されます。内容を設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。



項目			説明
ログレベル			
	記録しない		ログを記録しません。
	エラーレベルのログを記録する		エラーレベルのログを記録します。
	トレースレベルのログを記録する		トレースレベルのログを記録します。
ログファイルサイズ			
	0 ～ 102400		ログファイルの最大サイズ(KB)を設定してください。
ログファイル名			
	ファイル名		ファイル名のフルパスを設定してください。
		開く	ファイルを開きます。

④　「メニューバー」から[ファイル(F)] – [保存(S)]または[名前を付けて保存(A)]を選択してください。
[名前を付けて保存(A)]を選択した場合は、ファイル名をjpos.xmlとして保存してください。

4章 POSPrinter

4.1 一覧

4.1.1 共通プロパティ

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapCompareFirmwareVersion	boolean	R	open	false
CapPowerReporting	int	R	open	JPOS_PR_STANDARD(1)
CapStatisticsReporting	boolean	R	open	true
CapUpdateFirmware	boolean	R	open	false
CapUpdateStatistics	boolean	R	open	true
CheckHealthText	String	R	open	""
Claimed	boolean	R	open	false
DeviceEnabled	boolean	R/W	open & claim	false
FreezeEvents	boolean	R/W	open	false
OutputID	int	R	open	0
PowerNotify	int	R/W	open	JPOS_PN_DISABLED(0)
PowerState	int	R	open	JPOS_PS_UNKNOWN(2000)
State	int	R	-	JPOS_S_CLOSED(1)
DeviceControlDescription	String	R	-	"JavaPOS POSPrinter Device Control"
DeviceControlVersion	int	R	-	"1013000"
DeviceServiceDescription	String	R	open	"SII RP-x10 Series JavaPOS POSPrinter Service Driver, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."
DeviceServiceVersion	int	R	open	"1013XXX"
PhysicalDeviceDescription	String	R	open	"SII RP-F10 POS Printer"*1
				"SII RP-E10 POS Printer"*2
				"SII RP-D10 POS Printer"*3
PhysicalDeviceName	String	R	open	"RP-F10 POS Printer"*1
				"RP-E10 POS Printer"*2
				"RP-D10 POS Printer"*3

*1：RP-F10使用時
*2：RP-E10使用時
*3：RP-D10使用時

4.1.2 専用プロパティ

（**RecLineWidth**=576、**RecLineChars**=48、**RecLineSpacing**=30、**CharacterSet**=932の場合）

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
AsyncMode	boolean	R/W	open	false
CapCharacterSet	int	R	open	PTR_CCS_KANJI(11)
CapCoverSensor	boolean	R	open	true
CapMapCharacterSet	boolean	R	open	false
CapRec2Color	boolean	R	open	false
CapRecBarCode	boolean	R	open	true
CapRecBitmap	boolean	R	open	true
CapRecBold	boolean	R	open	true
CapRecCartridgeSensor	int	R	open	0
CapRecColor	int	R	open	PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)
CapRecDhigh	boolean	R	open	true
CapRecDwide	boolean	R	open	true
CapRecDwideDhigh	boolean	R	open	true
CapRecEmptySensor	boolean	R	open	true
CapRecItalic	boolean	R	open	false
CapRecLeft90	boolean	R	open	true
CapRecMarkFeed	int	R	open	0
CapRecNearEndSensor	boolean	R	open	false[*1*2] JavaPOS Entry Registryに依存[*3]
CapRecPageMode	boolean	R	open	true
CapRecPapercut	boolean	R	open	true
CapRecPresent	boolean	R	open	true
CapRecRight90	boolean	R	open	true
CapRecRotate180	boolean	R	open	true
CapRecRuledLine	int	R	open	0
CapRecStamp	boolean	R	open	false
CapRecUnderline	boolean	R	open	true
CapTransaction	boolean	R	open	true
CartridgeNotify	int	R/W	open	PTR_CN_DISABLED(0)
CharacterSet	Int	R/W	open, claim, & enable	932[*4]
CharacterSetList	String	R	open	″437, 737[*1], 850, 852, 855[*1], 857[*1], 858, 860, 863, 865, 866[*1], 932, 999, 1250, 1251, 1252, 1253, 1254″
CoverOpen	boolean	R	open, claim, & enable	本メソッドの状態に依存
ErrorLevel	int	R	open	PTR_EL_NONE(1)

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
ErrorStation	int	R	open	0
ErrorString	String	R	open	""
FlagWhenIdle	boolean	R/W	open	false
FontTypefaceList	String	R	open	""
MapCharacterSet	boolean	R/W	open	false
MapMode	int	R/W	open	PTR_MM_DOTS(1)
PageModeArea	String	R	open	""
PageModeDescriptor	int	R	open	0
PageModeHorizontalPosition	int	R/W	open	0
PageModePrintArea	String	R/W	open	""
PageModePrintDirection	int	R/W	open	0
PageModeStation	int	R/W	open	0
PageModeVerticalPosition	int	R/W	open	0
RecBarCodeRotationList	String	R	open	"0,R90,L90,180"
RecBitmapRotationList	String	R	open	"0,R90,L90,180"
RecCartridgeState	int	R	open, claim, & enable	PTR_CART_UNKOWN (0x10000000)
RecCurrentCartridge	int	R/W	open, claim, & enable	PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)
RecEmpty	boolean	R	open, claim, & enable	プリンターの状態に依存
RecLetterQuality	boolean	R/W	open, claim, & enable	false
RecLineChars	int	R/W	open, claim, & enable	48
RecLineCharsList	String	R	open	"36,41,44,48,57,64,72"
RecLineHeight	int	R/W	open, claim, & enable	24
RecLineSpacing	int	R/W	open, claim, & enable	30
RecLinesToPaperCut	int	R	open, claim, & enable	3
RecLineWidth	int	R	open, claim, & enable	576*4
RecNearEnd	boolean	R	open, claim, & enable	false*1*2 プリンタの状態に依存*3
RecSidewaysMaxChars	int	R	open, claim, & enable	200
RecSidewaysMaxLines	int	R	open, claim, & enable	19
RotateSpecial	int	R/W	open	PTR_RP_NORMAL(1)

*1：RP-F10使用時
*2：RP-D10使用時
*3：RP-E10使用時
*4：設定プログラムにより変更可能

下記の専用プロパティは、提供されますが動作はサポートしていません。

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapConcurrentJrnRec	boolean	R	open	false
CapConcurrentJrnSlp	boolean	R	open	false
CapConcurrentPageMode	boolean	R	open	false
CapConcurrentRecSlp	boolean	R	open	false
CapJrn2Color	boolean	R	open	false
CapJrnBold	boolean	R	open	false
CapJrnCartridgeSensor	int	R	open	0
CapJrnColor	int	R	open	0
CapJrnDhigh	boolean	R	open	false
CapJrnDwide	boolean	R	open	false
CapJrnDwideDhigh	boolean	R	open	false
CapJrnEmptySensor	boolean	R	open	false
CapJrnItalic	boolean	R	open	false
CapJrnNearEndSensor	boolean	R	open	false
CapJrnPresent	boolean	R	open	false
CapJrnUnderline	boolean	R	open	false
CapSlp2Color	boolean	R	open	false
CapSlpBarCode	boolean	R	open	false
CapSlpBitmap	boolean	R	open	false
CapSlpBold	boolean	R	open	false
CapSlpBothSidesPrint	boolean	R	open	false
CapSlpCartridgeSensor	int	R	open	0
CapSlpColor	int	R	open	0
CapSlpDhigh	boolean	R	open	false
CapSlpDwide	boolean	R	open	false
CapSlpDwideDhigh	boolean	R	open	false
CapSlpEmptySensor	boolean	R	open	false
CapSlpFullslip	boolean	R	open	false
CapSlpItalic	boolean	R	open	false
CapSlpLeft90	boolean	R	open	false
CapSlpNearEndSensor	boolean	R	open	false
CapSlpPageMode	boolean	R	open	false
CapSlpPresent	boolean	R	open	false
CapSlpRight90	boolean	R	open	false
CapSlpRotate180	boolean	R	open	false
CapSlpRuledLine	int	R	open	0
CapSlpUnderline	boolean	R	open	false
JrnCartridgeState	int	R	open, claim, & enable	PTR_CART_UNKNOWN (0x10000000)
JrnCurrentCartridge	int	R/W	open, claim, & enable	0

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
JrnEmpty	boolean	R	open, claim, & enable	false
JrnLetterQuality	boolean	R/W	open, claim, & enable	false
JrnLineChars	int	R/W	open, claim, & enable	0
JrnLineCharsList	String	R	open	""
JrnLineHeight	int	R/W	open, claim, & enable	0
JrnLineSpacing	int	R/W	open, claim, & enable	0
JrnLineWidth	int	R	open, claim, & enable	0
JrnNearEnd	boolean	R	open, claim, & enable	false
SlpBarCodeRotationList	String	R	open	""
SlpBitmapRotationList	String	R	open	""
SlpCartridgeState	int	R	open, claim, & enable	PTR_CART_UNKNOWN (0x10000000)
SlpCurrentCartridge	int	R/W	open, claim, & enable	0
SlpEmpty	boolean	R	open, claim, & enable	false
SlpLetterQuality	boolean	R/W	open, claim, & enable	false
SlpLineChars	int	R/W	open, claim, & enable	0
SlpLineCharsList	String	R	open	""
SlpLineHeight	int	R/W	open, claim, & enable	0
SlpLinesNearEndToEnd	int	R	open, claim, & enable	0
SlpLineSpacing	int	R/W	open, claim, & enable	0
SlpLineWidth	int	R	open, claim, & enable	0
SlpMaxLines	int	R	open, claim, & enable	0
SlpNearEnd	boolean	R	open, claim, & enable	false
SlpPrintSide	int	R	open, claim, & enable	PTR_PS_UNKNOWN(0)
SlpSidewaysMaxChars	int	R	open, claim, & enable	0
SlpSidewaysMaxLines	int	R	open, claim, & enable	0

4.1.3 共通メソッド

メソッド名	使用可能条件
checkHealth	open, claim, & enable
claim	open
clearOutput	open, claim, & enable*1
close	open
compareFirmwareVersion	open, claim, & enable
directIO	open, claim, & enable*1
open	-
release	open & claim
resetStatistics	open, claim, & enable
retrieveStatistics	open, claim, & enable
updateFirmware	open, claim, & enable
updateStatistics	open, claim, & enable

*1: JavaPOS Ver1.13とは使用条件が異なります。

4.1.4 専用メソッド

メソッド名	使用可能条件
beginInsertion	open, claim, & enable
beginRemoval	open, claim, & enable
changePrintSide	open, claim, & enable
clearPrintArea	open, claim, & enable
cutPaper	open, claim, & enable
drawRuledLine	open, claim, & enable
endInsertion	open, claim, & enable
endRemoval	open, claim, & enable
markFeed	open, claim, & enable
pageModePrint	open, claim, & enable
printBarCode	open, claim, & enable
printBitmap	open, claim, & enable
printImmediate	open, claim, & enable
printMemoryBitmap	open, claim, & enable
printNormal	open, claim, & enable
printTwoNormal	open, claim, & enable
rotatePrint	open, claim, & enable
setBitmap	open, claim, & enable
setLogo	open, claim, & enable
transactionPrint	open, claim, & enable
validateData	open, claim, & enable

4.1.5 イベント

イベント名	使用可能条件
DirectIOEvent	open, claim, & enable
ErrorEvent	open, claim, & enable
OutputCompleteEvent	open, claim, & enable
StatusUpdateEvent	open, claim, & enable

4.2 印字データとエスケープシーケンス

4.2.1 指定時のみ動作するエスケープシーケンス

名称	データ	内容
用紙カット	ESC|[#]P	• レシートをカットします。 代替文字'#'は、要求されたカットのパーセンテージを示すASCII 10進数の文字列です。 '#'に100以上の値が指定された場合は、フルカットを実行します。 '#'に1～99の値が指定された場合は、パーシャルカットを実行します。 '#'に0が指定された場合は、カットを実行しません。 '#'が省略された場合は、フルカットを実行します。 • **rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は無視されます。
フィードと用紙カット	ESC|[#]fP	• **RecLinesToPaperCut**行分の紙送りをした後、レシートをカットします。 代替文字'#'は、「用紙カット」エスケープシーケンス(ESC|[#]P)で定義されています。 • **rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は無視されます。
フィードとカットとスタンプ印刷	ESC|[#]sP	サポートしていません。
ビットマップ印刷	ESC|#B	• 前もって保存されていたビットマップを印刷します。 代替文字 '#'はビットマップ番号です。 '#'は1～20までの指定が可能です。 '#'に1～20以外の値が指定された場合は、無視されます。 文字'#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされます。
トップロゴ印刷	ESC|tL	前もって保存されていたトップロゴを印刷します。
ボトムロゴ印刷	ESC|bL	前もって保存されていたボトムロゴを印刷します。
スタンプ印刷	ESC|sL	サポートしていません。
複数行フィード*1	ESC|[#]lF	• 複数行のフィードをします。 代替文字'#'は、フィードする行数を示すASCII 10進数の文字列です。 '#'は0～255までの指定が可能です。 '#'に範囲を超える値が指定された場合は、サポートする最大値の255行フィードを実行します。 '#'が省略された場合は、1行分のフィードをします。 • **rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は無視されます。
単位フィード*1	ESC|[#]uF	• **MapMode**で指定された単位でフィードをします。 代替文字'#'は、フィード量を示すASCII 10進数の文字列です。 '#'が省略された場合は、1単位分のフィードをします。 • **MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合、'#'は0～255までの指定が可能です。 '#'に範囲を超える値が指定された場合は、サポートする最大値の255単位分のフィードを実行します。 • **rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は無視されます。
逆フィード	ESC|[#]rF	サポートしていません。

名称	データ	内容
埋め込みデータの送信	ESC|[*]#E	• ″#E″に続く文字列は、一切変更されずにプリンターへ渡されます。 代替文字'#'は、ASCII 10進数の文字列で、このエスケープシーケンスに続く、そのままプリンターへ渡されるべき文字列のバイト数を指定します。 '#'は0～65535までの指定が可能です。 '#'に範囲を超える値が指定された場合は、埋め込みデータの送信は実行されません。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされます。 '#'で指定されたバイト数の印字データがエスケープシーケンスの指定後に設定されていない場合は、送信可能な印字データのみを送信します。（例：ESC|2E″a″ が指定された場合、1バイトしか文字列が設定されてないため、″a″のみを送信します。） • **rotatePrint**による90度回転中は、埋め込みデータの送信で指定されたデータ列は文字列としてカウントされないため、横幅が正確に計算できなくなりますので、空白等の挿入で調整を行ってください。
バーコード印刷 （欄外の「 バーコード印刷」を参照してください）	ESC|[*]#R	• バーコードを印刷します。 代替文字'#'は、ASCII 10進数の文字列で、Rに続く文字列（バーコードの特性を定義）の文字数を指定します。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされます。 • '#'の指定範囲とRの後に続くデータのバイト数が一致していない場合は、'#'の指定範囲内のすべてのデータを廃棄します。 • **rotatePrint**による90度回転中は、バーコード印刷の送信で指定されたデータ列は文字列としてカウントされないため、横幅が正確に計算できなくなりますので、空白等の挿入で調整を行ってください。
罫線印刷	ESC|*#dL	サポートしていません。

*1: RP-F10及びRP-D10において、改行量はプリンターの機能設定「用紙節約(Paper Saving)」の設定値により削減されます。そのため、下記の印刷処理が変更になります。

・「複数行フィード」エスケープシーケンス（ESC|[#]lF）で指定したフィード量は、**RecLineSpacing**の設定値より小さくなります。

・「単位フィード」エスケープシーケンス（ESC|[#]uF）で指定したフィード量は、プリンターの機能設定「用紙節約(Paper Saving)」の設定値に基づき処理されます。（モード1の場合は、全くフィードしません。）

ただし、最終印刷行からレシートをカットするまでの改行量は、カット前に節約したドットライン分の紙送りが行われるため 削減されません。

節約したドットライン分の紙送りが行われるカット動作は、「用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]P）、「フィードと用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]fP）、及び**cutPaper**です。

- **バーコード印刷**

  アプリケーションは「バーコード印刷」エスケープシーケンス（ESC|[*]#R）を利用することにより、他の印刷データとともに、バーコードを印刷できます。代替文字'#'は、Rに続く文字列（バーコードの特性を定義）の文字数を指定します。
  Rに続く文字列では、小文字のアルファベットと数値を使用して、バーコードの特性を指定します。数値には、**printBarCode**のために定義された定数値が利用できます。

  属性を示す文字は下記の通りです。

  s： symbology（バーコードタイプ）
  h： height（バーコードの高さ）
  w： width（バーコードの幅）
  a： alignment（バーコードの位置）
  t： text position（HRI文字列の位置）
  d： start of data（バーコードデータの開始位置）
  e： end of data（バーコードデータの終了位置）

  属性は、上記のリストで示された順番で必ず記述しなければなりません。
  すべての属性は省略不可です。これら2つの条件のうち1つでも守られていない場合や、各属性に続く数値に範囲外の値を指定した場合は、期待した印字結果とならない場合があります。

  UPC-Aを、中央揃え、バーコードの下にHRI文字列を印字、200ドット高さ、400ドット幅の条件で印刷する場合の例を下記に示します。

  ESC|33Rs101h200w400a-2t-13d123456789012e

  または

  ESC|*33Rs101h200w400a-2t-13d123456789012e

  バーコードのクワイエットゾーンについては、**printBarCode**の記載を参照してください。

4.2.2 印字中に動作するエスケープシーケンス

明確に変更されるまで、その状態を保つ特徴があります。

名称	データ	内容
フォントタイプ指定	ESC|#fT	サポートしていません。

4.2.3 印字時に動作するエスケープシーケンス

各印刷メソッドの終わりや、あるいは"ノーマル"シーケンスによってリセットされる特徴があります。

名称	データ	内容
ボールド	ESC|[!]bC	• ボールド体で印刷します。 • '!' が指定された場合は、ボールドを無効にします。
アンダーライン	ESC|[!][#]uC	• アンダーラインと共に印刷します。 代替文字'#'は、アンダーラインの太さ（ドット）を示すASCII 10進数の文字列です。有効な太さは0～2です。 '#'が3以上の場合は太さ2が使用されます。 '#'が省略された場合は、太さ1のアンダーラインが使用されます。 '!'が指定された場合は、アンダーラインを無効にします。
イタリック	ESC|[!]iC	サポートしていません。
カスタムカラー	ESC|[#]rC	サポートしていません。
反転文字	ESC|[!]rvC	• 明暗を反対にして印刷します。 '!'が指定された場合は、反転文字を無効にします。
網掛け文字	ESC|[#]sC	サポートしていません。
縦横1倍角	ESC|1C	• 通常の大きさで印刷します。
横倍角	ESC|2C	• 横倍角文字で印刷します。
縦倍角	ESC|3C	• 縦倍角文字で印刷します。
縦横倍角	ESC|4C	• 縦横倍角文字で印刷します。
横倍率	ESC|#hC	• 代替文字'#'が1～8までの値をサポートします。 '#'に1以下の値が指定された場合は、1倍率で印字します。 '#'に8以上の値が指定された場合は、8倍率で印字します。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとしてみなされます。
縦倍率	ESC|#vC	• 代替文字'#'が1～8までの値をサポートします。 '#'に1以下の値が指定された場合、1倍率で印字します。 '#'に8以上の値が指定された場合、8倍率で印字します。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとしてみなされます。
色指定	ESC|[#]fC	サポートしていません。
中央揃え	ESC|cA	• ESC|cA以降のテキストを中央揃えにします。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も中央揃えが継続します。 • **rotatePrint**による90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は指定が無視されます。
右寄せ	ESC|rA	• ESC|rA以降のテキストを右寄せにします。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も右寄せが継続します。 • **rotatePrint**による90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は指定が無視されます。
左寄せ	ESC|lA	• ESC|lA以降のテキストを左寄せにします。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も左寄せが継続します。 • **rotatePrint**による90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は指定が無視されます。

名称	データ	内容
ノーマル	ESC|N	• ノーマルが指定された以降の印字データは、すべての書式設定を解除し、デフォルトの状態に復元します。
サブ スクリプト	ESC|[!]tbC	サポートしていません。
スーパー スクリプト	ESC|[!]tpC	サポートしていません。
取り消し線	ESC|[!][#]stC	サポートしていません。

4.3 詳細

POSPrinterデバイスの提供する機能詳細について示します。
スローされる例外エラーについては「付録 A 例外」を参照してください。

4.3.1 共通プロパティ

CapCompareFirmwareVersion プロパティ

型　**boolean**

説明　ファイルとデバイスのファームウェアバージョンを比較する機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ファームウェアバージョンを比較する機能はサポートしていません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CapPowerReporting プロパティ

型　**int**

説明　デバイスの通知能力を識別します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PR_STANDARD(1)	JPOS_PS_OFF_OFFLINE(2004)（電源オフまたはオフライン）とJPOS_PS_ONLINE(2001)の2種類の電源状態を判断し通知が可能です。

本プロパティは**open**によりJPOS_PR_STANDARD(1)に初期化されます。

CapStatisticsReporting プロパティ

型　**boolean**

説明　デバイスのスタティスティクス収集機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	デバイスは使用状態に関する様々なスタティスティクスを収集提供可能です。 収集され通知される情報はデバイスに固有であり、**retrieveStatistics**を使用して取得できます。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapUpdateFirmware プロパティ

型　　**boolean**

説明　　ファームウェアのアップデート機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ファームウェアのアップデートはサポートしていません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CapUpdateStatistics プロパティ

型　　**boolean**

説明　　デバイスのスタティスティクスリセット機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	デバイスのスタティスティクスのいくつかは、**resetStatistics**を使用して0にリセットできます。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CheckHealthText プロパティ

型　　**String**

説明　　直前に呼び出した**checkHealth**の結果を保持します。
下記に診断結果の例を示します。

値	意味
"Internal HCheck: Successful"	プリンターが印字可能な状態であることを確認しました。
"Internal HCheck: Failure"	プリンターが印字可能な状態であることを確認できません。
"External HCheck: Successful"	プリンターとの通信確認と印字のテストに成功しました。
"External HCheck: Failure"	プリンターとの通信確認、または印字のテストに失敗しました。
"Interactive HCheck: Successful"	デバイスとの対話テストに成功しました。
"Interactive HCheck: Failure"	デバイスとの対話テストに失敗しました。
"Interactive HCheck: Canceled"	デバイスとの対話テストにおいて、一度もテストをせずにダイアログを閉じました。

本プロパティは**open**により空文字列に初期化されます。

Claimed プロパティ

型　　**boolean**

説明　　デバイスの排他アクセス権の状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	デバイスは、ほかのアプリケーションと共有できるよう解放されています。
true	デバイスの排他アクセス権が獲得されています。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

DeviceEnabled プロパティ R/W

型　　**boolean**

説明　　デバイスの有効/無効を選択します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	デバイスはディセーブルにされています。 falseに変更すると、ディセーブルにされます。
true	デバイスはイネーブルにされています。（動作状態です。） trueに変更するとイネーブルにされます。

デバイスを使用する前に、アプリケーションは本プロパティをtrueに設定しなければなりません。
StateがJPOS_S_IDLE(2)以外のとき**DeviceEnabled**をtrueからfalseにすることはできません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

FreezeEvents プロパティ R/W

型　　**boolean**

説明　　イベントの通知/非通知を選択します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	アプリケーションは、イベントの通知を許可します。凍結されていた間に保持されたイベントは、**FreezeEvents**をfalseに変更すると、そのイベントが通知されます。
true	イベントは通知されません。凍結が解除されるまで、イベントはコントロールが保持しています。

イベントによる割り込みが望ましくない状況で、アプリケーションはイベントの凍結を選択できます。

AsyncModeをtrueに設定した状態で、**printNormal**等の印字メソッドを実行中にエラーが発生した場合、**ErrorEvent**が凍結され、**State**がJPOS_S_BUSY(3)となります。この場合、POSPrinterデバイスをクローズすることができなくなりますので、**clearOutput**で凍結中のイベントを破棄するか、**FreezeEvents**をfalseに設定して、**ErrorEvent**を発生させた後、**close**を実行してください。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

OutputID プロパティ

型　　**int**

説明　　非同期要求（**AsyncMode**がtrueに設定されている時の、非同期対応メソッドの呼び出し）を一意に識別するための識別子を保持しています。

メソッドが非同期出力の開始に成功すると、POSPrinterデバイスはリクエストに識別子を割り当てます。出力が完了すると、**OutputCompleteEvent**を通知して、その出力IDをパラメータとして渡します。

出力ID番号は、1～2147483646の間でサイクリックに採番されます。

本プロパティは**open**により0に初期化されます。

PowerNotify プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　アプリケーションから設定された電源通知機能のタイプを示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PN_DISABLED(0)	POSPrinterデバイスはアプリケーションに対していかなる電源通知も提供しません。 電源通知に関する**StatusUpdateEvents**は通知されず、また、**PowerState**にも何も設定されません。
JPOS_PN_ENABLED(1)	**DeviceEnabled**がtrueに設定されると、POSPrinterデバイスは電源通知に関する**StatusUpdateEvents**の通知、**PowerState**の更新を行います。 機能レベルは、**CapPowerReporting**の値に依存します。

PowerNotifyは、デバイスがディセーブルの間、すなわち**DeviceEnabled**がfalseの間のみ設定が可能です。

本プロパティは**open**によりJPOS_PN_DISABLED(0)に初期化されます。

PowerState プロパティ

型　　**int**

説明　　電源状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PS_UNKNOWN(2000)	下記の理由のどちらかにより、デバイスの電源状態の判断ができません。 ・**PowerNotify**がJPOS_PN_DISABLED(0)です。 ・**DeviceEnabled**がfalseです。
JPOS_PS_ONLINE(2001)	デバイスは電源オン、かつレディ状態です。
JPOS_PS_OFFOFFLINE(2004)	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。

本プロパティは**open**によりJPOS_PS_UNKNOWN(2000)に初期化されます。

State プロパティ

型　　**int**

説明　　デバイスの現在の状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_S_CLOSED(1)	デバイスはクローズしています。
JPOS_S_IDLE(2)	デバイスは正常な状態にあり、ビジーではありません。
JPOS_S_BUSY(3)	デバイスは正常な状態にあり、出力を実行しているためビジーです。
JPOS_S_ERROR(4)	エラーが報告され、通常のI/Oを再開するには、その前にアプリケーションがデバイスを正常な状態に戻さなければなりません。この状態を取りうるのは、**ErrorEvent**イベントハンドラ内部のみとなります。

本プロパティはいつでも読取り可能です。
本プロパティは**open**が成功するまでは、JPOS_S_CLOSED(1)を返します。

DeviceControlDescription プロパティ

型　　**String**

説明　　"JavaPOS POSPrinter Device Control"が設定されています。
本プロパティはDevice Control情報を示します。
本プロパティはいつでも読み取り可能です。

DeviceControlVersion プロパティ

型　　**String**

説明　　"1013000"が設定されています。
本プロパティはDevice Controlのバージョン番号を示します。
本プロパティはいつでも読み取り可能です。

DeviceServiceDescription プロパティ

型　　**String**

説明　　本プロパティはDevice Service情報を示します。
openにより"SII RP-x10 Series JavaPOS POSPrinter Service Driver, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."に初期化されます。

DeviceServiceVersion プロパティ

型　　**String**

説明　　本プロパティはDevice Serviceのバージョン番号を示します。
openにより"1013XXX"に初期化されます。

PhysicalDeviceDescription プロパティ

型　　**String**

説明　　デバイスとそれに関連する情報を示します。
本プロパティはプリンターによって異なります。
openにより下記に示す値の内の1つが設定されます。

プリンタ	値
RP-F10	"SII RP-F10 POS Printer"
RP-E10	"SII RP-E10 POS Printer"
RP-D10	"SII RP-D10 POS Printer"

PhysicalDeviceName プロパティ

型　　**String**

説明　　デバイスとそれに関連する情報を示します。
本プロパティはプリンターによって異なります。
openにより下記に示す値の内の1つが設定されます。

プリンタ	値
RP-F10	"RP-F10 POS Printer"
RP-E10	"RP-E10 POS Printer"
RP-D10	"RP-D10 POS Printer"

4.3.2 専用プロパティ

AsyncMode プロパティ R/W

型　　**boolean**

説明　　同期/非同期を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	**printNormal**、**cutPaper**、**printBarCode**、**printBitmap**、**printMemoryBitmap**、**rotatePrint**、**transactionPrint**、**pageModePrint**の印刷メソッドが同期で実行されます。
true	上記の印刷メソッドが非同期で実行されます。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CapCharacterSet プロパティ

型　　**int**

説明　　プリンターの印刷可能な文字設定を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_CCS_KANJI(11)	文字設定は、Code Page932をサポートします。それは、0xA1と0xDFの間の半角のカタカナ、0x20と0x7Fの間のすべてのASCII文字をサポートします。また、JIS第一水準、JIS第二水準レベルで定義される文字のシフトJISコード文字をサポートします。

本プロパティは**open**によりPTR_CCS_KANJI(11)に初期化されます。

CapCoverSensor プロパティ

型　　**boolean**

説明　　カバーオープンセンサの有無を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	プリンターにはカバーオープンセンサがあります。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapMapCharacterSet プロパティ

型　　**boolean**

説明　　印字の際にアプリケーションの文字を選択した文字セットにマップするPOSPrinterデバイスの機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	POSPrinterデバイスは文字を**CharacterSetList**に定義された文字セットに対して正確にマッピングすることはできません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CapRec2Color プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートの2色印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	2色印字はサポートしていません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CapRecBarCode プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートのバーコード印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	バーコード印刷が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecBitmap プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートのビットマップ印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ビットマップ印刷が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecBold プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートのボールド属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ボールド属性が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecCartridgeSensor プロパティ

型　　**int**

説明　　レシートカートリッジセンサー機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
0	カートリッジセンサーの機能はサポートしていません。

本プロパティは**open**により0に初期化されます。

CapRecColor プロパティ

型　　**int**

説明　　レシートのカラー印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)	プライマリカートリッジが搭載されています。

本プロパティは**open**によりPTR_COLOR_PRIMARY(0x00000001)に初期化されます。

CapRecDhigh プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートの縦倍角属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	縦倍角属性が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecDwide プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートの横倍角属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	横倍角属性が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecDwideDhigh プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートの縦横倍角属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	縦横倍角属性が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecEmptySensor プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートの紙無しセンサ機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	プリンターには紙無しセンサがあります。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecItalic プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートのイタリック属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	イタリック属性はサポートしていません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CapRecLeft90 プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートの左90度回転属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	左90度回転属性が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecMarkFeed プロパティ

型　　**int**

説明　　レシートのマーク付き用紙の制御機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
0	マーク付き用紙の制御機能はサポートしていません。

本プロパティは**open**により0に初期化されます。

CapRecNearEndSensor プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートのニアエンドセンサ機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ニアエンドセンサ機能はサポートしていません。
true	プリンタにはニアエンドセンサ機能があります。

本プロパティはプリンター及びJposEntryの**NearEndSensor**に依存します。

RP-F10及びRP-D10の場合：
openによりfalseに初期化されます。

RP-E10の場合：
JposEntryの**NearEndSensor**が"0"に設定されている場合、このプロパティは**open**によりfalseに初期化されます。
JposEntryの**NearEndSensor**が"1"に設定されている場合、このプロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecPageMode プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートステーションのページモード印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ページモード印刷が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecPaperCut プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートの用紙カット機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	用紙カットが可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecPresent プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートステーションの存在を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	レシートステーションが存在します。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecRight90 プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートの右90度回転属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	右90度回転属性が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecRotate180 プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートの180度回転属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	180度回転属性が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapRecRuledLine プロパティ

型　　**int**

説明　　レシートの印刷可能な罫線を示します。
下記に示す値の論理和が設定されます。

値	意味
0	罫線を印刷する機能はサポートしていません。

本プロパティは**open**により0に初期化されます。

CapRecStamp プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートのスタンプ印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	スタンプ印刷はサポートしていません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CapRecUnderline プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートのアンダーライン属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	アンダーライン属性が可能です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapTransaction プロパティ

型　　**boolean**

説明　　プリンターの一括処理機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	一括処理が有効です。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CartridgeNotify プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　プリンターのカートリッジの状態通知機能を設定します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_CN_DISABLED(0)	カートリッジの状態通知を提供しません。

本プロパティはPTR_CN_DISABLED(0)のみ設定可能です。
本プロパティは**open**によりPTR_CN_DISABLED(0)に初期化されます。

CharacterSet プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　文字の印字に用いるキャラクタを設定します。
本プロパティには、下記に示す値の内の1つが設定されます。

値	意味
437	Code Page437文字セットを選択します。
737[*1]	Code Page737文字セットを選択します。
850	Code Page850文字セットを選択します。

値	意味
852	Code Page852文字セットを選択します。
855*1	Code Page855文字セットを選択します。
857*1	Code Page857文字セットを選択します。
858	Code Page858文字セットを選択します。
860	Code Page860文字セットを選択します。
863	Code Page863文字セットを選択します。
865	Code Page865文字セットを選択します。
866*1	Code Page866文字セットを選択します。
932	Code Page932文字セット(シフトJISコード)として、Katakanaを選択します。
999	Windows ANSI文字セットを選択します。*2
1250	Code Page1250文字セットを選択します。
1251	Code Page1251文字セットを選択します。
1252	Code Page1252文字セットを選択します。*2
1253	Code Page1253文字セットを選択します。
1254	Code Page1254文字セットを選択します。

*1：RP-F10のみサポートします。
*2：Windows ANSI文字セットとCode Page1252は等しい文字セットです。

本プロパティは**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、設定プログラムの**DefaultCharacterSet**に設定されている値に初期化されます。

CharacterSetList プロパティ

型　**String**

説明　プリンターがサポートするキャラクタ設定を文字列で示します。
本プロパティは**open**により"437,737*1,850,852,855*1,857*1,858,860,863,865,866*1,932,999,1250,1251,1252,1253,1254"に初期化されます。

*1：RP-F10のみサポートします。

CoverOpen プロパティ

型　**boolean**

説明　プリンターのカバー状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	プリンターカバーが閉じています。
true	プリンターカバーが開いています。

本プロパティはデバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

ErrorLevel プロパティ

型　　**int**

説明　　エラー状態からの復帰可能/不可能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_EL_NONE(1)	エラー状態ではありません。
PTR_EL_RECOVERABLE(2)	復帰可能エラーが発生しました。
PTR_EL_FATAL(3)	復帰不可能エラーが発生しました。

本プロパティは**ErrorEvent**が通知される直前に設定されます。
エラーが解除されれば、本プロパティはPTR_EL_NONE(1)に変わります。
また、本プロパティは**open**によりPTR_EL_NONE(1)に初期化されます。

ErrorStation プロパティ

型　　**int**

説明　　エラーを検知した時に、印刷しているステーションを保持します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
0	エラーを検知していません。
PTR_S_RECEIPT(2)	レシートステーションでエラーを検知しました。

本プロパティは**ErrorEvent**が通知される直前に設定されます。
エラーが解除されれば、本プロパティは0に変わります。
また、本プロパティは**open**により0に初期化されます。

ErrorString プロパティ

型　　**String**

説明　　現在のエラーについてのデバイス固有の記述を保持します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
"The power supply of the device is off."	下記の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度1 ErrorCode=JPOS_E_NOHARDWARE(107)
"Unrecoverable error occurred."	下記の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度2 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED(114) ErrorCodeExtended=1010

値	意味
"VP power error occurred."	下記の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度3 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED(114) ErrorCodeExtended=1001
"Cutter error."	下記の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度4 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED(114) ErrorCodeExtended=1002
"The cover is open."	下記の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度5 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED(114) ErrorCodeExtended=201
"Out of receipt form."	下記の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度6 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED(114) ErrorCodeExtended=203
"Head temperature error."	下記の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度7 ErrorCode=JPOS_E_EXTENDED(114) ErrorCodeExtended=1005
"Communication error occurred." "Windows system error occurred." "Time out."	下記の条件におけるエラーメッセージ 設定優先度8 ErrorCode=JPOS_E_FAILURE(111)

同時に複数のエラーが発生している時は、設定優先度の高いものを表示します。
本プロパティは**ErrorEvent**が通知される直前に設定されます。
エラーが解除されれば、本プロパティは空文字列に変わります。
また、本プロパティは**open**により空文字列に初期化されます。

FlagWhenIdle プロパティ R/W

型　**boolean**

説明　**StatusUpdateEvent**の通知機能を示します。
本プロパティには、下記に示す値の内の1つが設定できます。

値	意味
false	**StatusUpdateEvent**は通知されません。
true	**State**がJPOS_S_IDLE(2)であれば、**StatusUpdateEvent**を通知します。

FlagWhenIdleをtrueに設定した後、**StatusUpdateEvent**が通知されると、**FlagWhenIdle**は自動的にfalseにリセットされます。
FlagWhenIdleと**StatusUpdateEvent**を利用することにより、アプリケーションはすべての非同期出力が終了した時を知ることができます。出力が正常終了した時、または**clearOutput**もしくは**ErrorEvent**を受け取ったイベントハンドラにより出力が削除された時に、イベントが通知されます。

もし、**FlagWhenIdle**をtrueに設定する時に、**State**がJPOS_S_IDLE(2)であれば、**StatusUpdateEvent**は直ちに通知されます。したがって、非同期出力の終了とこのフラグの設定のすれ違いを気にせずに、アプリケーションはこのイベントを使用できます。
本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

FontTypefaceListプロパティ

型　　**String[]**

説明　　プリンターがサポートするフォントやフォントタイプを指定する文字列です。
空文字列はデフォルトのフォントタイプだけがサポートされていることを示します。
本プロパティは**open**により空文字列に初期化されます。

MapCharacterSet プロパティ R/W

型　　**boolean**

説明　　文字のマッピング機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	マッピングはサポートしていません。

本プロパティはfalseのみ設定可能です。
また、本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

MapMode プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　プリンターのマッピングモードを示します。
マッピングモードは他のプロパティで使用されるラインの高さや行間を示すような尺度の単位を定義します。
下記のマップモードをサポートしています。
()内の値は、単位あたりをドット換算した値です。

値	意味
PTR_MM_DOTS(1)	プリンターのドット幅 0.125mm(1ドット)
PTR_MM_TWIPS(2)	1インチの1/1440(0.1411ドット)
PTR_MM_ENGLISH(3)	0.001インチ(0.203ドット)

値	意味
PTR_MM_METRIC(4)	0.01ミリメータ(0.08ドット)

マッピングモード毎に、下記の計算式によって単位の変換を行います。

MapMode	変換
PTR_MM_DOTS(1)	変換しない
PTR_MM_TWIPS(2)	k = 1/1440 ■PTR_MM_DOTS(1)→PTR_MM_TWIPS(2)変換 twips = dot / (dpi * k) ■PTR_MM_TWIPS(2)→PTR_MM_DOTS(1)変換 dot = twips * dpi * k
PTR_MM_ENGLISH(3)	k = 1/1000 ■PTR_MM_DOTS(1)→PTR_MM_ENGLISH(3)変換 english = dot / (dpi * k) ■PTR_MM_ENGLISH(3)→PTR_MM_DOTS(1)変換 dot = english * dpi * k
PTR_MM_METRIC(4)	k = 1/100、mmpi = 25.4 ■PTR_MM_DOTS(1)→PTR_MM_METRIC(4)変換 metric = (mmpi * dot) / (dpi * k) ■PTR_MM_METRIC(4)→PTR_MM_DOTS(1)変換 dot = (metric * dpi * k) / mmpi

MapModeは、各プロパティの表示上の単位だけを変更するので、内部処理は**MapMode**にかかわらず、すべてドット単位で行われます。
このため、値の丸め誤差が累積することはありません。
ドット値からマップモード値に変換する場合は、小数点以下を切り上げます。また、マップモード値からドット値に変換する場合は、小数点以下を切り捨てます。

MapModeを設定すると、**RecLineSpacing**、**RecLineWidth**、**RecLineHeight**、**PageModeArea**、**PageModePrintArea**、**PageModeHorizontalPosition**、**PageModeVerticalPosition**も変化します。

本プロパティは**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、PTR_MM_DOTS(1)に初期化されます。

PageModeArea プロパティ

型　**String**

説明　**PageModeStation**に指定したステーションのページモード領域を、**MapMode**で指定した単位で保持します。
ページモード領域は、ページモード印刷領域とは異なり、プリンターのハードウェア的な能力で決定されます。本プロパティはページモード領域の幅と高さを表すカンマ区切りの2つのASCII数字で構成されます。

PageModeStationにPTR_S_RECEIPT(2)が指定された場合、本プロパティには下記の値が設定されます（**MapMode** = PTR_MM_DOTS(1)の場合）。

値	意味
″360,2400″	**RecLineWidth**=360のときのページモード領域
″432,2400″	**RecLineWidth**=432のときのページモード領域
″512,2400″	**RecLineWidth**=512のときのページモード領域
″576,2400″	**RecLineWidth**=576のときのページモード領域

本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
有効なステーションが指定されていない場合、空文字列を返します。

PageModeDescriptor プロパティ

型　**int**

説明　**PageModeStation**に指定したステーションで利用可能なページモード機能を下記の値の論理和で示します。

値	意味
PTR_PM_BITMAP(1)	**PageModeStation**に指定したステーションで、ビットマップ印刷ができます。
PTR_PM_BARCODE(2)	**PageModeStation**に指定したステーションで、バーコード印刷ができます。
PTR_PM_BM_ROTATE(4)	**PageModeStation**に指定したステーションで、ビットマップの回転印刷ができます。
PTR_PM_BC_ROTATE(8)	**PageModeStation**に指定したステーションで、バーコードの回転印刷ができます。

本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
本プロパティは、有効なステーションが指定されるまでは、0を返します。
PTR_S_RECEIPT(2)が指定された時点で、上記値の論理和に初期化されます。

PageModeHorizontalPosition プロパティR/W

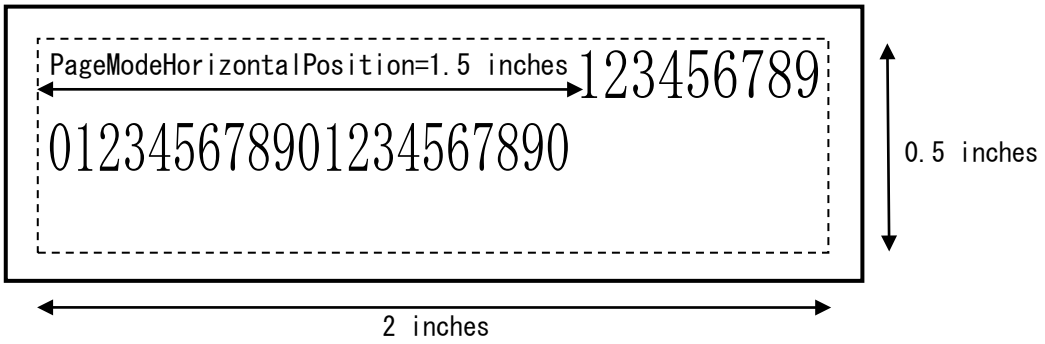
型　**int**

説明　**PageModeStation**に指定したステーションで、ページモード印刷領域内の印刷開始位置を水平方向に補正するためのオフセット値です。
MapModeに指定した単位で表記します。
水平方向とは、**PageModePrintDirection**で設定した印刷方向と同じ方向を指します。
本プロパティは現在位置ではなく、最後に指定した水平方向のオフセット値を返します。
本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。有効なステーションが指定されていない場合、0を返します。

PageModeHorizontalPositionの使い方を、下記のコード記述例で示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to 2 inches by 0.5 inches
myptr.setPageModePrintArea("0,0,2000,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.setPageModeHorizontalPosition(1500);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123456789O¥n");
myptr.pageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります



PageModePrintArea プロパティ R/W

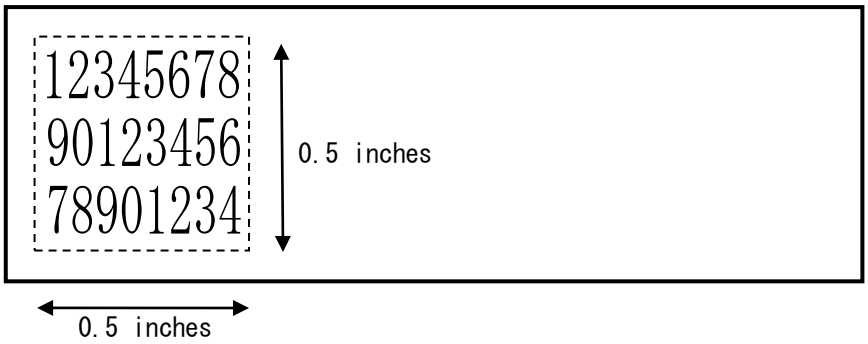
型　**String**

説明　**PageModeStation**に指定したステーションのページモード印刷領域を、**MapMode**で指定した単位で保持します。
ページモード印刷領域のサイズは、ページモード領域より大きく取ることはできません。本プロパティはカンマ区切りの4つのASCII数字で構成されます。始点の水平方向座標、始点の垂直方向座標、水平方向の幅、垂直方向の高さ、の順に列挙します。例えば文字列が、"50,100,200,400"である場合、そのステーションのページモード印刷領域は、左上隅(50,100)と右下隅(249,499)で囲まれる長方形で示されます。ページモード印刷領域の右端を超える文字は、下記の行に印刷されます。ページモード印刷領域の下端を超える文字と画像は、印刷されません。

PageModePrintAreaの使い方を、下記のコード記述例で示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to half inch square block
myptr.setPageModePrintArea("0,0,500,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"123456789012345678901234¥n");
myptr.pageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります



本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。有効なステーションが指定されるまでは、空文字列を返します。PTR_S_RECEIPT(2)が指定された時点で、"0,0,0,0"に初期化されます。

PageModePrintDirection プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　ページモード印刷領域の印刷方向を保持します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

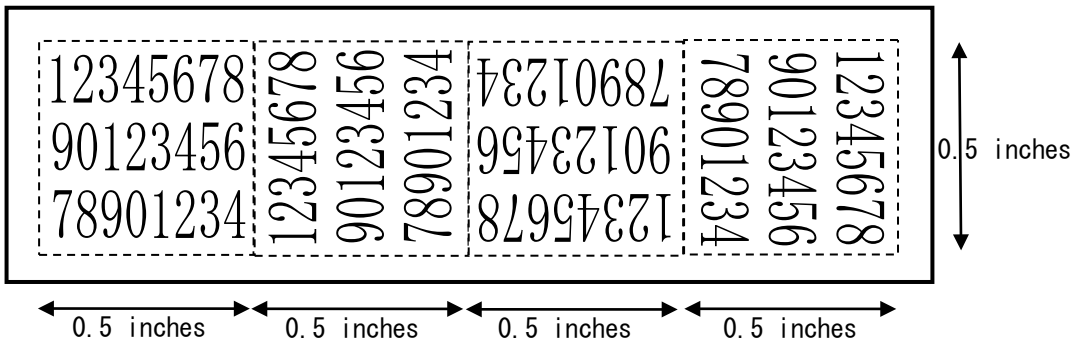
値	意味
PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT(1)	通常の印刷方向です。 ページモード印刷領域の左上隅を始点に、左から右方向へ印刷します。
PTR_PD_BOTTOM_TO_TOP(2)	左90度の回転印刷です。 ページモード印刷領域の左下隅を始点に、下から上方向へ印刷します。
PTR_PD_RIGHT_TO_LEFT(3)	180度の回転印刷です。 ページモード印刷領域の右下隅を始点に、右から左方向へ印刷します。
PTR_PD_TOP_TO_BOTTOM(4)	右90度の回転印刷です。 ページモード印刷領域の右上隅を始点に、上から下方向へ印刷します。

本プロパティを変更すると、**PageModeHorizontalPosition**と**PageModeVerticalPosition**で示される印刷開始点の補正方向も変化します。本プロパティの変更は、現在編集中のページモード印刷領域に対してのみ効果があります。ページモード印刷領域を切り替えることで、文字の回転方向を組み合わせたレシートや単票を印刷できます。

PageModePrintDirectionの使い方を、下記のコード記述例で示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to half inch square block
myptr.setPageModePrintArea("0,0,500,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123¥n");
myptr.setPageModePrintArea("500,0,500,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_BOTTOM_TO_TOP);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123¥n");
myptr.setPageModePrintArea("1000,0,500,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_RIGHT_TO_LEFT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123¥n");
myptr.setPageModePrintArea("1500,0,500,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_TOP_TO_BOTTOM);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123¥n");
myptr.pageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

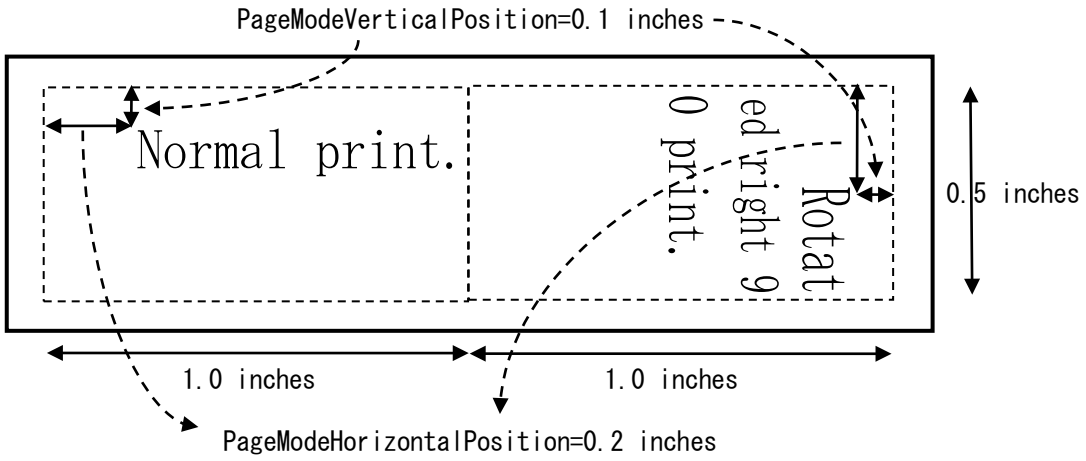
上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



同様に文字を回転させることもできます。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
myptr.setPageModeVerticalPosition(100);
myptr.setPageModeHorizontalPosition(200);
myptr.setPageModePrintArea("0,0,1000,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"Normal print.¥n");
myptr.setPageModePrintArea("1000,0,1000,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_TOP_TO_BOTTOM);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"Rotated right 90 print.¥n");
myptr.pageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
有効なステーションが指定されるまでは、0を返します。
PTR_S_RECEIPT(2)が指定された時点で、PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT(1)に初期化されます。

PageModeStation プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　ページモード機能の対象とするステーションを指定します。
指定できるステーションは、PTR_S_RECEIPT(2)のみです。
本プロパティは**open**により0に初期化されます。
ページモード機能のプロパティやメソッドにアクセスする前に、必ず本プロパティにPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

PageModeVerticalPosition プロパティ R/W

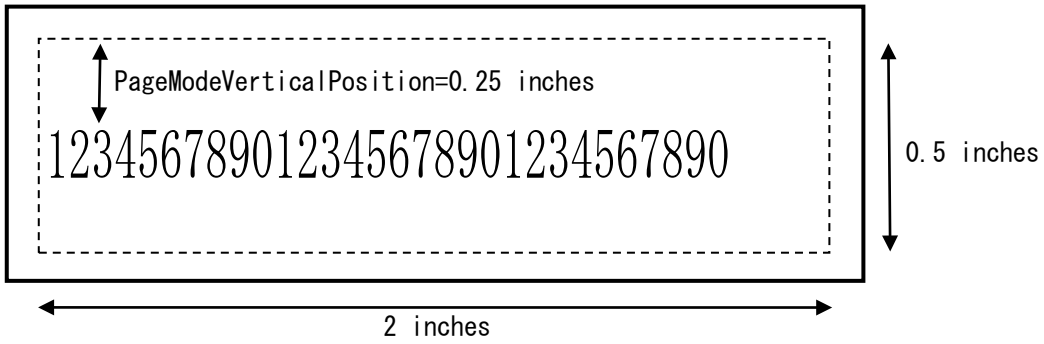
型　　**int**

説明　　**PageModeStation**に指定したステーションで、ページモード印刷領域内の印刷開始位置を垂直方向に補正するためのオフセット値です。
MapModeに指定した単位で表記します。
垂直方向とは、**PageModePrintDirection**で設定した印刷方向に対して垂直な方向です。
本プロパティは現在位置ではなく、最後に指定した垂直方向のオフセット値を返します。

PageModeVerticalPositionの使い方を、下記のコード記述例で示します。

```
myptr.setMapMode(PTR_MM_ENGLISH);
myptr.setPageModeStation(PTR_S_RECEIPT);
myptr.pageModePrint(PTR_PM_PAGE_MODE);
// Set print area to 2 inches by 0.5 inches
myptr.setPageModePrintArea("0,0,2000,500");
myptr.setPageModePrintDirection(PTR_PD_LEFT_TO_RIGHT);
myptr.setPageModeVerticalPosition(250);
myptr.printNormal(PTR_S_RECEIPT,"12345678901234567890123456789012345678901234567890¥n");
myptr.pageModePrint(PTR_PM_NORMAL);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります



本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。有効なステーションが指定されていない場合、0を返します。

RecBarCodeRotationList プロパティ

型　　**String**

説明　　レシートのバーコードが回転できる方向を文字列で示します。
本プロパティは**open**により"0,R90,L90,180"に初期化されます。文字列は、カンマで区切られた回転方向を示す文字列群で構成されます。回転方向を示す文字列は下記の内容になります。

値	意味
0	バーコードは通常の方向に印刷できます。
R90	バーコードは右90度に回転印刷できます。
L90	バーコードは左90度に回転印刷できます。
180	バーコードは180度（倒立）に回転印刷できます。

RecBitmapRotationList プロパティ

型　　**String**

説明　　レシートのビットマップが回転できる方向を示します。
本プロパティは**open**により"0,R90,L90,180"に初期化されます。文字列は、カンマで区切られた回転方向を示す文字列群で構成されます。回転方向を示す文字列は下記の内容になります。

値	意味
0	ビットマップは通常の方向に印刷できます。
R90	ビットマップは右90度に回転印刷できます。
L90	ビットマップは左90度に回転印刷できます。
180	ビットマップは180度（倒立）に回転印刷できます。

RecCartridgeState プロパティ

型　　**int**

説明　　現在選択されているレシートのカートリッジ（インク、リボン、トナー）の状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_CART_UNKNOWN (0x10000000)	カートリッジ状態通知機能をサポートしていません。

本プロパティは**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、
PTR_CART_UNKNOWN(0x10000000)に初期化されます。

RecCurrentCartridge プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　現在選択されているレシートカートリッジを指定します。
本プロパティには、下記に示す値が設定されます。

値	意味
PTR_COLOR_PRIMARY (0x00000001)	プライマリカートリッジが選択されています。

本プロパティはPTR_COLOR_PRIMARY(0x00000001)のみ設定可能です。
本プロパティは**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、
PTR_COLOR_PRIMARY(0x00000001)に初期化されます。

RecEmpty プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートの紙有り/無しを通知します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	紙有りです。
true	紙無しです。

本プロパティはデバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。
CoverOpenがtrueのとき**RecEmpty**は更新されません。

RecLetterQuality プロパティ R/W

型　　**boolean**

説明　　プリンターの印字モードを示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	高速モードで印字されます。
true	高品質モードで印字されます。

JposEntryの**PrintSpeed**が"0"の場合、本プロパティは有効となり、印字モードに従ってプリンターの印字速度が変化します。
JposEntryの**PrintSpeed**が"0"以外の場合、本プロパティは無効となり、印字速度は本プロパティの値によらず固定となります。
本プロパティは**open**により、最初にデバイスをイネーブルにした際に、falseに初期化されます。

RecLineChars プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　レシートの一行に印字される半角文字の文字数です。
本プロパティには、下記に示す値の内の1つが設定できます。
指定された値により、下記のフォントで印字されます。

・**RecLineWidth**：360の場合

値	印字フォント（高さ×幅）	文字間スペース	RecLineHeight	指定可能範囲
30	24×12ドット	0ドット	24	1 ～ 30
40	16×8ドット	1ドット	16	31 ～ 40

・**RecLineWidth**：432の場合

値	印字フォント（高さ×幅）	文字間スペース	**RecLineHeight**	指定可能範囲
27	24×12ドット	4ドット	24	1 ～ 27
30	24×12ドット	2ドット	24	28 ～ 30
33	24×12ドット	1ドット	24	31 ～ 33
36	24×12ドット	0ドット	24	34 ～ 36
43	16×8ドット	2ドット	16	37 ～ 43
48	16×8ドット	1ドット	16	44 ～ 48
54	16×8ドット	0ドット	16	49 ～ 54

・**RecLineWidth**：512の場合

値	印字フォント（高さ×幅）	文字間スペース	**RecLineHeight**	指定可能範囲
42	24×12ドット	0ドット	24	1 ～ 42
56	16×8ドット	1ドット	16	43 ～ 56

・**RecLineWidth**：576の場合

値	印字フォント（高さ×幅）	文字間スペース	**RecLineHeight**	指定可能範囲
36	24×12ドット	4ドット	24	1 ～ 36
41	24×12ドット	2ドット	24	37 ～ 41
44	24×12ドット	1ドット	24	42 ～ 44
48	24×12ドット	0ドット	24	45 ～ 48
57	16×8ドット	2ドット	16	49 ～ 57
64	16×8ドット	1ドット	16	58 ～ 64
72	16×8ドット	0ドット	16	65 ～ 72

上記以外の値を指定した場合、例外エラーを通知します。例えば、**RecLineWidth**が360のとき、41を設定すると例外エラーを通知します。
RecLineCharsを設定することにより、**RecLineHeight**、**RecLineSpacing**、**RecSidewaysMaxChars**、**RecSidewaysMaxLines**も更新されます。
また、本プロパティは**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、JposEntryの**RecLineChars**に設定されている値に初期化されます。

RecLineCharsList プロパティ

型　　**String**

説明　　レシートの一行に印字される半角文字の文字数設定を文字列で示します。
本プロパティは**open**により下記に示す値の内の1つに初期化されます。

値	意味
"30,40"	JposEntryのPaperSizeが0のときの**RecLineCharsList**
"27,30,33,36,43,48,54"	JposEntryのPaperSizeが1のときの**RecLineCharsList**
"42,56"	JposEntryのPaperSizeが2のときの**RecLineCharsList**
"36,41,44,48,57,64,72"	JposEntryのPaperSizeが3のときの**RecLineCharsList**

RecLineHeight プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　レシートの印字行の高さです。**MapMode**で定義された単位で表記します。
本プロパティは書き換えることができません。値は**RecLineWidth**と**RecLineChars**により自動的に設定されます。
RecLineCharsが変わると、**RecLineHeight**は設定された**RecLineChars**に対応する印字フォントの高さに更新されます。
RecLineHeightと印字フォントの関係は下記の通りです。（**MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合）

値	意味
24	フォントA（24×12ドット）のときの**RecLineHeight**
16	フォントB（16×8ドット）のときの**RecLineHeight**

RecLineCharsと印字フォントの関係は**RecLineChars**を参照してください。
RecLineHeightの値は、**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に初期化されます。

RecLineSpacing プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　レシートの通常文字の印刷行の高さを示します。すなわち、印字行の高さと行間スペースの高さの両方を加えたものです。
MapModeで定義された単位で表記します。
RecLineCharsと**RecLineWidth**の設定により設定可能範囲が異なります。
設定可能な範囲は下記の値となります。（**MapMode** = PTR_MM_DOTS(1)の場合）

RecLineWidth	RecLineChars	値
360	30	24 ～ 255
	40	16 ～ 255

RecLineWidth	RecLineChars	値
432	27	24 ～ 255
	30	
	33	
	36	
	43	16 ～ 255
	48	
	54	
512	42	24 ～ 255
	56	16 ～ 255
576	36	24 ～ 255
	41	
	44	
	48	
	57	16 ～ 255
	64	
	72	

上記以外の値を指定した場合、例外エラーを通知します。
本プロパティは**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、JposEntryの**RecLineSpacing**に設定されている値に初期化されます。

RP-F10及びRP-D10において、プリンターの機能設定「用紙節約（Paper Saving）」が有効な場合、改行量及び行間スペースの高さはプリンターの機能設定「用紙節約（Paper Saving）」で指定された値で印字されます。そのため、改行量は**RecLineSpacing**で指定された通りにはなりません。
「用紙節約（Paper Saving）」の設定については、「RP-F10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」、または「RP-D10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

RecLinesToPaperCut プロパティ

型　　**int**

説明　　レシートをカットする前に、用紙を印刷方向に送る行数を示します。
本プロパティはプリンターと**RecLineSpacing**により、下記の式によって決定されます。

[計算式]
RP-F10：**RecLinesToPaperCut** = 76 / **RecLineSpacing**
RP-E10：**RecLinesToPaperCut** = 100 / **RecLineSpacing**
RP-D10：**RecLinesToPaperCut** = 88 / **RecLineSpacing**

例：
RecLineSpacingが30の場合（**MapMode**=PTR_MM_DOTS(1)のときの値）

RecLinesToPaperCut = 76 / 30 = 2.53 ･･･ = 3
（小数点以下切り上げ）

本プロパティは**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、上記の計算式によって初期化されます。

RecLineWidth プロパティ

型　　**int**

説明　　プリンターの一行幅を示します。
MapModeで定義された単位で表記します。
本プロパティは**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、下記に示す値の内の1つに初期化されます。（**MapMode** = PTR_MM_DOTS(1)の場合）

値	意味
360	JposEntryのPaperSizeが0のときの**RecLineWidth**
432	JposEntryのPaperSizeが1のときの**RecLineWidth**
512	JposEntryのPaperSizeが2のときの**RecLineWidth**
576	JposEntryのPaperSizeが3のときの**RecLineWidth**

RecNearEnd プロパティ

型　　**boolean**

説明　　レシートのニアエンド状態を通知します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ニアエンドではありません。
true	ニアエンドです。

本プロパティはデバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。
なお、**CapRecNearEndSensor**がfalseの場合、常にfalseを示します。
また、**CapRecNearEndSensor**がtrueかつ**RecEmpty**がtrueの場合、**RecNearEnd**は常にtrueを示します。

RecSidewaysMaxChars プロパティ

型　　**int**

説明　　サイドウェイモード（左90度または右90度回転印刷）において、各行に印刷される半角文字の最大文字数です。
本プロパティは**PageModeArea**と印字フォントにより、下記の計算によって決定されます。

［計算式］

RecSidewaysMaxChars
= **PageModeArea**の縦最大高さ / ((印字フォント / 2) + 文字間スペース)

例：
PageModeAreaが"576,2400"、**RecLineChars**が48の場合
RecSidewaysMaxChars = 2400 / ((24 / 2) + 0) = 200
（小数点以下切捨て）

本プロパティは**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、上記の計算式によって初期化されます。

RecSidewaysMaxLines プロパティ

型　**int**

説明　サイドウェイモード（左90度または右90度回転印刷）において、印刷される最大行数です。
本プロパティは**RecLineWidth**、**RecLineSpacing**と**RecLineHeight**により、下記の計算によって決定されます。

[計算式]
RecSidewaysMaxLines
= **(RecLineWidth － RecLineHeight) / RecLineSpacing** + 1

例：
RecLineWidthが576、**RecLineHeight**が24、**RecLineSpacing**が30の場合
RecSidewaysMaxLines = (576 - 24) / 30 + 1 = 19
（小数点以下切捨て）
本プロパティは**open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、上記の計算式によって初期化されます。

RotateSpecial プロパティ R/W

型　**int**

説明　バーコードの回転方向を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PTR_RP_NORMAL(1)	通常の印字方向で印刷します。
PTR_RP_RIGHT90(257)	右90度に回転印刷します。
PTR_RP_LEFT90(258)	左90度に回転印刷します。
PTR_RP_ROTATE180(259)	180度（倒立）に回転印刷します。

本プロパティは**open**により、PTR_RP_NORMAL(1)に初期化されます。

rotatePrintで*rotation*にPTR_RP_BARCODE(4096)が含まれている場合は*rotation*の回転方向を優先します。

4.3.3 共通メソッド

checkHealth メソッド

形式　**void checkHealth**(**int** *level*) throws **JposException**;

*level*は、デバイスで実行するヘルスチェックのタイプを示します。
下記の値を指定できます。

パラメータ	意味
JPOS_CH_INTERNAL(1)	デバイスの物理状態を変化させない内部テストを実行します。プリンターが印字可能な状態であるかどうかを確認します。
JPOS_CH_EXTERNAL(2)	プリンターとの通信を確認後、印字のテストを実行します。プリンターのROMバージョンID、**DeviceServiceVersion**、**PhysicalDeviceName**を印字します。
JPOS_CH_INTERACTIVE(3)	デバイスとの対話テストを実行します。本ソフトウェアは、モーダルダイアログボックスを表示して、プリンターのROMバージョンID、**DeviceServiceVersion**、**PhysicalDeviceName**を印字します。

説明　デバイスの状態をテストします。
本メソッドの結果は**CheckHealthText**に格納されます。
checkHealthは常に同期します。

claim メソッド

形式　**void claim**(**int** *timeout*) throws **JposException**;

*timeout*は、排他アクセス権を獲得するまでの最大待ち時間（ミリ秒）を示します。
0の場合、メソッドはデバイスの排他アクセスが獲得できなかった場合でも、その結果を直ちに戻します。
JPOS_FOREVER(-1)が設定されている場合は、メソッドは排他アクセス権が獲得できるまで待ちます。

説明　デバイスに対して排他アクセスを要求します。
POSPrinterデバイスは排他アクセス権を獲得しなければ、使用することはできません。
成功すると、**Claimed**はtrueに設定されます。
電源オフ時またはケーブル切断時は、本メソッドは失敗します。

clearOutput メソッド

形式　**void clearOutput**() throws **JposException**;

説明　バッファリングされているデバイス出力をすべてクリアします。
保留になっていた出力エラーイベント（**FreezeEvents**がfalseに設定されるのを待ち合わせている）もクリアされます。

プリンター本体のリセットは行いません。

close メソッド

形式　**void close**() throws **JposException**;

説明　デバイスとそのリソースを解放します。
DeviceEnabledがtrueの場合、まずデバイスがディセーブルにされます。
Claimedがtrueの場合、まずデバイスの排他アクセスが解除されます。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

compareFirmwareVersion メソッド

形式　**void compareFirmwareVersion**(**String** *firmwareFileName*) throws **JposException**;

説明　本メソッドはサポートしていません。

directIO メソッド

形式　**void directIO**(**int** *command*, **int[]** *data*, **Object** *object*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
command	コマンド番号。 POSPrinterデバイスが割り当てた特定値です。
data	変更可能な整数配列。 値または使用方法はコマンド番号とPOSPrinterデバイスによって変化します。
object	付加的なデータ。 使用方法はコマンド番号とPOSPrinterデバイスによって変化します。

説明　下記の機能をサポートしています。
・残りメモリ容量応答取得
・ステータス応答
・国際文字の変更
directIOは常に同期します。

- **残りメモリ容量応答取得**

パラメータ	説明
command	3
data	OUT 残りメモリ容量応答値
object	*null*

プリンターコマンド「NVグラフィックスのメモリ残り容量の送信」を発行し、そのレスポンスを数値で返します。
応答データは*data*に格納されます。

- **ステータス応答**

パラメータ	説明
command	501
data	OUT ステータス応答値
object	*null*

用紙センサステータスの内容を数値で返します。応答データは*data*に格納されます。

ステータス応答値	状態	
	RP-F10、RP-D10	RP-E10*1
0	紙有り	紙有り・ニアエンド未検出
1	紙無し	紙無し・ニアエンド未検出
2	-	紙有り・ニアエンド検出
3	-	紙無し・ニアエンド検出

*1: **CapRecNearEndSensor**がfalseの場合、常にニアエンド未検出の値を返します。

- **国際文字の変更**

パラメータ	説明
command	201
data	国際文字番号*n* 0≦*n*≦12
object	*null*

国際文字を選択します。
対応する国際文字は下記の通りです。

0： アメリカ (USA)
1： フランス (France)
2： ドイツ (Germany)
3： イギリス (United Kingdom)
4： デンマークⅠ (Denmark I)
5： スウェーデン (Sweden)
6： イタリア (Italy)
7： スペインⅠ (Spain I)
8： 日本 (Japan)
9： ノルウェー (Norway)
10：デンマークⅡ (Denmark II)
11：スペインⅡ (Spain II)
12：ラテンアメリカ (Latin America)

この機能を用いた国際文字の変更は**CharacterSet**が変更されるまで継続します。
CharacterSetが変更された場合、既定の値が設定されます。

open メソッド

形式　**void open**(**String** *logicalDeviceName*) throws **JposException**;

*logicalDeviceName*は、オープンする論理デバイス名を指定します。
登録されているPOSPrinterデバイスの論理名を指定して実行してください。

説明　デバイスをオープンします。
openが成功すると、共通プロパティ、その他のクラス固有プロパティが初期化されます。

release メソッド

形式　**void release**() throws **JposException**;

説明　デバイスの排他アクセスを解除します。
DeviceEnabledがtrueならば、デバイスはディセーブルにされます。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

resetStatistics メソッド

形式　**void resetStatistics**(**String** *statisticsBuffer*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
statisticsBuffer	リセットするスタティスティクスを定義したデータバッファです。

*statisticsBuffer*は名前のカンマ区切りリストで指定します。
空文字列の時はすべてのリセット可能なスタティスティクスをリセットします。"U_"はUnifiedPOSで定義されたすべてのリセット可能なスタティスティクスをリセットします。"M_"はベンダ固有のすべてのリセット可能なスタティスティクスをリセットします。そして"名前1,名前2"（XMLファイルに定義されているもの）の時は、指定されたリセット可能なスタティスティクスをリセットします。

説明　指定されたスタティスティクスをリセットします。
リセット可能なスタティスティクスについては「付録 BStatistics」を参照してください。
resetStatisticsは常に同期します。

retrieveStatistics メソッド

形式　**void retrieveStatistics**(**String[1]** *statisticsBuffer*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
statisticsBuffer	取得するスタティスティクスを定義したデータバッファであり、かつ通知されるスタティスティクスを格納する場所でもあります。

*statisticsBuffer*は名前のカンマ区切りリストで指定します。
空文字列の時はすべてのスタティスティクスを取得します。"U_"はUnifiedPOSで定義されたすべてのスタティスティクスを取得します。"M_"はベンダ固有のすべてのスタティスティクスを取得します。そして"名前1,名前2"（XMLファイルに定義されているもの）の時は、指定されたスタティスティクスを取得します。

説明　指定されたデバイススタティスティクスを取得します。
retrieveStatisticsが成功すると、スタティスティクスのXML文字列が返されます。
取得するスタティスティクスについては「付録 B Statistics」を参照してください。
retrieveStatisticsは常に同期します。

updateFirmware メソッド

形式　**void updateFirmware**(**String** *firmwareFileName*) throws **JposException**;

説明　本メソッドはサポートしていません。

updateStatistics メソッド

形式　**void updateStatistics**(**String** *statisticsBuffer*) throws **JposException**;

説明　本メソッドはサポートしていません。

4.3.4 専用メソッド

beginInsertion メソッド

形式　　**void beginInsertion**(**int** *timeout*) throws **JposException**;

説明　　本メソッドはサポートしていません。

beginRemoval メソッド

形式　　**void beginRemoval**(**int** *timeout*) throws **JposException**;

説明　　本メソッドはサポートしていません。

changePrintSide メソッド

形式　　**void changePrintSide**(**int** *side*) throws **JposException**;

説明　　本メソッドはサポートしていません。

clearPrintArea メソッド

形式　　**void clearPrintArea**() throws **JposException**;

説明　　**PageModePrintArea**で定義したページモード印刷領域上の印刷データを消去します。
ページモード領域全体を消去したい場合は、**PageModeArea**で示される領域と同等の領域を**PageModePrintArea**に指定し**clearPrintArea**を呼び出します。
本メソッドを呼び出す前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

cutPaper メソッド

形式　　**void cutPaper**(**int** *percentage*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
percentage	カットすべき用紙のパーセンテージを指定します。 有効な値は、0から100です。

100が指定された場合はフルカット、1～99の間の範囲が指定された場合、パーシャルカットを実行します。0が指定された場合、カットは実行されません。

説明　　レシートをカットします。
本メソッドは**AsyncMode**がfalseならば同期的に実行され、**AsyncMode**がtrueならば非同期的に実行されます。
printNormalや**printImmediate**呼び出しの際に、「用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]P）を用いても用紙カットを行うことができます。
印刷されずに残っているデータがプリンターバッファに存在する場合、バッファリングされたデータをすべて印刷した後にカットを実行します。
rotatePrintによる左右90度回転中、**pageModePrint**によるページモード中は、メソッドが失敗し、カット動作も実行されません。

印字ヘッドとカッタ位置の関係上、印字データ上で用紙カットが行われる場合があります。印字データ上で用紙カットを行いたくない場合は、**RecLinesToPaperCut**の値分の紙送りを実行後、本メソッドを呼び出してください。

RP-F10及びRP-D10において、プリンターの機能設定「用紙節約（Paper Saving）」が有効な場合、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）実行時の改行量は、プリンターの機能設定「用紙節約(Paper Saving)」で指定した値となります。(**RecLineSpacing**で指定した値は無視されます。)
ただし、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）によりフィードを実行後、「用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]P）、「フィードと用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]fP）、**cutPaper**のいずれかを実行した場合、最終印字行からカット位置までの距離は、カット前に節約したドットライン分の紙送りが行われるため削減されません。
詳細は、「RP-F10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」、または「RP-D10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

drawRuledLine メソッド

形式　　**void drawRuledLine**(**int** *station*, **String** *positionList*, **int** *lineDirection*, **int** *lineWidth*, **int** *lineStyle*, **int** *lineColor*) throws **JposException**;

説明　　本メソッドはサポートしていません。

endInsertion メソッド

形式　　**void endInsertion**() throws **JposException**;

説明　　本メソッドはサポートしていません。

endRemoval メソッド

形式　　**void endRemoval**() throws **JposException**;

説明　　本メソッドはサポートしていません。

markFeed メソッド

形式　　**void markFeed**(**int** *type*) throws **JposException**;

説明　　本メソッドはサポートしていません。

pageModePrint メソッド

形式　　**void pageModePrint**(**int** *control*) throws **JposException**;

*control*の値は下記の通りです。

値	意味
PTR_PM_PAGE_MODE(1)	ページモードを開始します。
PTR_PM_PRINT_SAVE(2)	ページモード印刷領域の印刷データを印刷し、その印刷データを保存します。繰り返し印刷する場合に用います。
PTR_PM_NORMAL(3)	ページモード印刷領域の印刷データを印刷し、その印刷データを消去し、ページモードを終了します。
PTR_PM_CANCEL(4)	ページモード印刷領域の印刷データを消去し、何も印刷せずにページモードを終了します。

説明　　**PageModeStation**に指定したステーションを対象として、ページモードを開始/終了します。

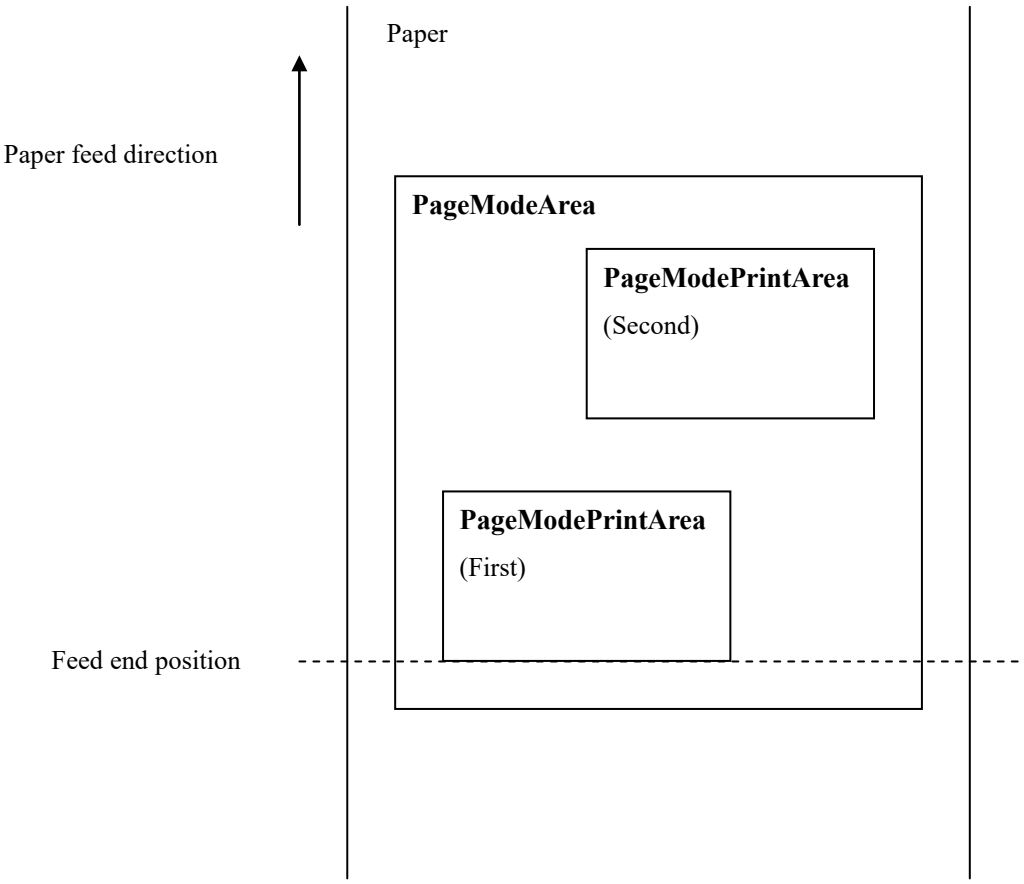
*control*にPTR_PM_PAGE_MODE(1)を指定した場合、ページモードを開始します。
その後、PTR_PM_PRINT_SAVE(2)、 PTR_PM_NORMAL(3)、PTR_PM_CANCEL(4)を指定して**pageModePrint**が呼び出されるまでの間、**printNormal**、**printBarCode**、**printBitmap**、または**printMemoryBitmap**で印刷データをバッファリングできます。この間に呼び出されたメソッドは、印刷データをバッファリングするだけで、印刷を開始することはありません。また、**AsyncMode**の設定は、ページモード機能に影響を与えません。それぞれの操作に対して、**OutputID**が割り当てられることも、**OutputCompleteEvent**が通知されることもありません。

*control*にPTR_PM_PRINT_SAVE(2)を指定した場合、ページモードが継続します。
printNormal、**printBarCode**、**printBitmap**、または**printMemoryBitmap**でバッファリングした印刷データがあれば、それを保存して、印刷します。ページモード領域内に印刷データを追加して、同じレイアウトで印刷したい場合に用います。

*control*にPTR_PM_NORMAL(3)を指定した場合、ページモードを終了し、通常の状態へ遷移します。
printNormal、**printBarCode**、**printBitmap**、または**printMemoryBitmap**でバッファリングした印刷データがあれば、それを印刷します。バッファリングした印刷データは保存されません。

*control*にPTR_PM_CANCEL(4)を指定した場合、ページモードを終了し、通常の状態へ遷移します。
printNormal、**printBarCode**、**printBitmap**、または**printMemoryBitmap**でバッファリングした印刷データがあっても、それらは印刷されず、保存もされません。

*control*にPTR_PM_NORMAL(3)またはPTR_PM_PRINT_SAVE(2)を指定して**pageModePrint**が呼び出された時、**PageModePrintArea**で定義されたページモード印刷領域上のすべての印刷データが印刷され、ページモード印刷領域の下端まで紙送りされます。複数のページモード印刷領域が定義されていた場合は、それぞれのページモード印刷領域上のすべての印刷データが印刷され、最も下方に配置されているページモード印刷領域の下端まで紙送りされます。（下図を参照してください。）



ページモード領域全体が、1つのトランザクションとして一括処理されます。
AsyncModeがtrueであれば非同期的に、falseであれば同期的に処理されます。
clearOutputが呼び出されると、ページモードを終了し通常の状態へ遷移します。このとき、バッファリングした印刷データも消去されます。
ページモード機能は、トランザクション印刷の中で利用することはできますが、回転印刷の中で利用することはできません。
本メソッドを呼び出す前に、**PageModeStation**にPTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

printBarCode メソッド

形式　**void printBarCode**(**int** *station*, **String** *data*, **int** *symbology*, **int** *height*, **int** *width*, **int** *alignment*, **int** *textPosition*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
station	使用するステーション。 PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
data	バーコードの文字列。
symbology	使用されるバーコードタイプ。 *symbology*の表を参照してください。
height	バーコードの高さ。 **MapMode**で定義された単位で表記します。 PTR_MM_DOTS(1)の場合、1～255の間で指定してください。 下記のバーコードの*height*は無視され、*width*により自動で設定されます。同様に1～255の間で指定してください。 ・QRコード ・GS1 Databar Omni-directional*1 ・GS1 Databar Expanded*1 ・GS1 Databar Expanded Stacked*1 ・GS1 Databar Limited*1 ・GS1 Databar Truncated*1 下記のバーコードの*height*は無視され、固定値で設定されます。同様に1～255の間で指定してください。 ・GS1 Databar Stacked Omni-directional*1 ・GS1 Databar Stacked*1 **pageModePrint**によるページモード中は、**PageModePrintArea**及び**PageModeVerticalPosition**で指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。
width	バーコードの幅。 **MapMode**で定義された単位で表記します。 実際に印刷されるバーコードの幅は、*width*で指定された幅に収まる最適なものとなります。 PTR_MM_DOTS(1)の場合、正立時は1～**RecLineWidth**の間で指定してください。 また**RotateSpecial**や、**rotatePrint**によるバーコードの左右90度回転を行う場合、接続機器の最大値を超えない範囲内で指定してください（接続機器の最大値は**PageModeArea**参照）。**pageModePrint**によるページモード中は、**PageModePrintArea**と**PageModeHorizontalPosition**とで指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。
alignment	バーコードの位置。 *alignment*の表を参照してください。
textPosition	HRI文字の位置。 *textPosition*の表を参照してください。

*1：RP-F10のみサポートします。

・*symbology*の値

値	意味
PTR_BCS_UPCA(101)	UPC-A
PTR_BCS_UPCE(102)	UPC-E
PTR_BCS_EAN8(103)	EAN8 (JAN8)
PTR_BCS_JAN8(103)	JAN8 (EAN8)
PTR_BCS_EAN13(104)	EAN13 (JAN13)
PTR_BCS_JAN13(104)	JAN13 (EAN13)
PTR_BCS_EAN13_S(119)	EAN13 (JAN13)補足バーコード付き
PTR_BCS_ITF(106)	Interleaved 2 of 5
PTR_BCS_Codabar(107)	Codabar (NW-7)
PTR_BCS_Code39(108)	Code39
PTR_BCS_Code93(109)	Code93
PTR_BCS_Code128(110)	Code128
PTR_BCS_Code128_Parsed(123)*1	Code128 Parsed
PTR_BCS_GS1DATABAR(131)*1	GS1 Databar GS1 Databar Omni-directional
PTR_BCS_GS1DATABAR_E(132)*1	GS1 Databar Expanded
PTR_BCS_GS1DATABAR_S(133)*1	GS1 Databar Stacked Omni-directional
PTR_BCS_GS1DATABAR_E_S(134)*1	GS1 Databar Expanded Stacked
PTR_BCS_PDF417(201)	PDF417
PTR_BCS_QRCODE(204)	QRコード (混合モード)
PTR_BCS_OTHER+6(507)*1	GS1 Databar Limited
PTR_BCS_OTHER+7(508)*1	GS1 Databar Stacked
PTR_BCS_OTHER+10(511)*1	GS1 Databar Truncated

*1 : RP-F10のみサポートします。

・*alignment*の値

値	意味
PTR_BC_LEFT(-1)	左寄せ
PTR_BC_CENTER(-2)	センタリング
PTR_BC_RIGHT(-3)	右寄せ
その他	バーコード印刷を開始する左端からの距離。**MapMode**で定義された単位で表記します。

RotateSpecial、**rotatePrint**による左右90度回転中、**pageModePrint**によるページモード中は*alignment*の設定は無効となり、常に左寄せで印字されます。

・*textPosition*の値

値	意味
PTR_BC_TEXT_NONE(-11)	テキストは印字しません。バーコードのみ印刷します。
PTR_BC_TEXT_ABOVE(-12)	バーコードの上にテキストを印字します。
PTR_BC_TEXT_BELOW(-13)	バーコードの下にテキストを印字します。

説明　　指定したプリンターにバーコードを印刷します。
本メソッドは**AsyncMode**がfalseならば同期的に実行され、**AsyncMode**がtrueならば非同期的に実行されます。
RotateSpecialがバーコードを回転することを示していれば、バーコードは回転印刷されます。*height*、*width*、*textPosition*は回転前にバーコードに適用されます。
例えば、**RotateSpecial**にPTR_RP_LEFT90(258)を指定して、本メソッドの*textPosition*にPTR_BC_TEXT_BELOW(-13)を指定して本メソッドを呼び出すと、テキストがバーコードの下に配置され、テキストとバーコードが一緒に左に90度回転して印字されます。

RP-F10の場合、バーコードのクワイエットゾーンは確保されません。バーコードが読み取れることを、実機にて事前に確認してください。
ただし、下記のバーコードのクワイエットゾーンは不要、または確保されます。

- GS1 Databar Omni-directional
- GS1 Databar Expanded
- GS1 Databar Stacked Omni-directional
- GS1 Databar Expanded Stacked
- GS1 Databar Limited
- GS1 Databar Stacked
- GS1 Databar Truncated

下記、**MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合、各バーコードのパラメータに対する制限事項について示します。

【UPC-A】PTR_BCS_UPCA(101)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を11文字あるいは12文字で指定してください。 12文字目はバーコードの印字データに影響しません。
width	RP-F10： *width*=95×X 190≦*width*≦570 RP-E10、RP-D10： *width*=113×X 226≦*width*≦678 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

【UPC-E】PTR_BCS_UPCE(102)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を11文字あるいは12文字で指定してください。 12文字目はバーコードの印字データに影響しません。
width	RP-F10： *width*=51×X 102≦*width*≦306 RP-E10、RP-D10： *width*=65×X 130≦*width*≦390 X：細エレメント幅 2≦X≦6 X は *width* に応じて自動で設定されます。

許容キャラクタは更に下記の規則に沿う必要があります。

1. 先頭文字が'0'
2. UPC-Aレフトコードは、先頭2～6キャラクタ、UPC-Aライトコードは、先頭7～11キャラクタ目を示し、短縮されるコードが実際にUPC-Eとして印字されます。UPC-A先頭キャラクタが0以外か、下記の表に基づかないキャラクタが指定された場合、JPOS_E_ILLEGAL(106)がスローされます。

メーカーコード UPC-Aのレフトコード					アイテムコード UPC-Aのライトコード					短縮コード					
F1	F2	F3	F4	F5	A1	A2	A3	A4	A5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6
0-9	0-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	0
0-9	0-9	1	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	1
0-9	0-9	2	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	2
0-9	0-9	3-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	F1	F2	F3	A4	A5	3
0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	0	0-9	F1	F2	F3	F4	A5	4
0-9	0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	5-9	F1	F2	F3	F4	F5	A5

【EAN8 (JAN8)】PTR_BCS_EAN8(103)、PTR_BCS_JAN8(103)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を7文字あるいは8文字で指定してください。 8文字目はバーコードの印字データに影響しません。
width	RP-F10： *width*=67×X 134≦*width*≦402 RP-E10、RP-D10： *width*=81×X 162≦*width*≦486 X：細エレメント幅 2≦X≦6 X は *width* に応じて自動で設定されます。

【EAN13 (JAN13)】PTR_BCS_EAN13(104)、PTR_BCS_JAN13(104)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を12文字あるいは13文字で指定してください。 13文字目はバーコードの印字データに影響しません。
width	RP-F10： *width*=95×X 190≦*width*≦570 RP-E10、RP-D10： *width*=113×X 226≦*width*≦678 X：細エレメント幅 2≦X≦6 X は *width* に応じて自動で設定されます。

【EAN13 (JAN13)補足バーコード付き】PTR_BCS_EAN13_S(119)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を14文字、15文字、17文字、18文字のいずれかで指定してください。 15文字の入力、または18文字で入力した場合は、13番値の文字データは、印字データに影響しません。
width	RP-F10： ・14文字または15文字の場合 *width*=122×X 244≦*width*≦732 ・17文字または18文字の場合 *width*=149×X 298≦*width*≦894 RP-E10、RP-D10： ・14文字または15文字の場合 *width*=138×X 276≦*width*≦828 ・17文字または18文字の場合 *width*=165×X 330≦*width*≦990 X：細エレメント幅 2≦X≦6 X は *width* に応じて自動で設定されます。

【Interleaved 2 of 5】PTR_BCS_ITF(106)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を任意の値で指定してください。ただし、指定する文字数は0を除く偶数である必要があります。
width	RP-F10： *width*=((D×2+1)×X×N)+((D×3+6)×X) 14×D+16≦*width*≦54×D+54 RP-E10、RP-D10： *width*=((D×2+1)×X×N)+(((D×3)+6+(10×2))×X) (14×D+56)≦*width*≦(54×D+174) D：バーコードキャラクタ数 X：細エレメント幅 2≦X≦6 N：太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2, 2.5, 3のいずれかに設定) X,Nは*width*に応じて自動で設定されます。

【Codabar (NW-7)】PTR_BCS_Codabar(107)

パラメータ	制限事項
data	先頭と後尾は'A'～'D'のいずれかを指定してください。 それ以外のデータは、'0'～'9'、'$'、'+'、':'、'-'、'.'、'/'のいずれかを１文字以上指定する必要があります。
width	RP-F10： *width*=(((6×X)+(2×X×N))×D)+((X×N-X)×D')+(-1×X) 20×D+2×D'-2≦*width*≦72×D+12×D'-6 RP-E10、RP-D10： *width*=(((6×X)+(2×X×N))×D)+((X×N-X)×D')+ (X×(10×2-1)) (20×D+2×D'+38≦*width*≦(72×D+12×D'+114) D： バーコードキャラクタ数 D'：データ文字数（バーコード文字に含まれる'A'～'D'、'+'、'.'、'/'、':'の数) X： 細エレメント幅 2≦X≦6 N： 太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2, 2.5, 3のいずれかに設定) X,Nは*width*に応じて自動で設定されます。

【Code39】PTR_BCS_Code39(108)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'、'A'～'Z'、' '、'$'、'%'、'+'、'-'、'.'、'/'のいずれかを１文字以上指定する必要があります。
width	RP-F10： *width*=(((X×7)+(X×N×3))×(D+2))+(-1×X) 26×D+50≦*width*≦96×D+186 RP-E10、RP-D10： *width*=(((X×7)+(X×N×3))×(D+2))+((10×2-1)×X) (26×D+90)≦*width*≦(96×D+306) D：バーコードキャラクタ数 X：細エレメント幅 2≦X≦6 N：太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2, 2.5, 3のいずれかに設定) X,N は*width*に応じて自動で設定されます。

【Code93】PTR_BCS_Code93(109)

パラメータ	制限事項
data	10進数0～46の数値を任意の値で指定してください。 数値はそれぞれ下記の表に対応したキャラクタとして扱われます。
width	RP-F10： *width*=X×((D+2+2)×9)+1) 18×D+74≦*width*≦54×D+222 RP-E10、RP-D10： *width*=X×((10×2)+((D+2+2)×9)+1) 18×D+114≦*width*≦54×D+342 D：バーコードキャラクタ数 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

・Code93のキャラクタ構成

数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ
0	0	12	C	24	O	36	-
1	1	13	D	25	P	37	.
2	2	14	E	26	Q	38	SPACE
3	3	15	F	27	R	39	$
4	4	16	G	28	S	40	/
5	5	17	H	29	T	41	+
6	6	18	I	30	U	42	%
7	7	19	J	31	V	43	($)
8	8	20	K	32	W	44	(%)
9	9	21	L	33	X	45	(/)
10	A	22	M	34	Y	46	(+)
11	B	23	N	35	Z		

【Code128】PTR_BCS_Code128(110)

パラメータ	制限事項
data	10進数0～105の数値を任意の値で指定してください。 数値はそれぞれ下記の表に対応したキャラクタとして扱われます。 先頭の1文字が10進数103、104、105以外の場合は、105が先頭の1文字に追加されます。
width	RP-F10： *width*=X×((D+2)×11+2) 22×D+48≦*width*≦66×D+144 RP-E10、RP-D10： *width*= X×((10×2)+((D+2)×11)+2) (22×D+88)≦*width*≦(66×D+264) D：バーコードキャラクタ数(スタートコード含む) X：細エレメント幅 2≦X≦6 *width*の値が2～6の場合は、細エレメント幅とします。 それ以外の場合は、X は*width*に応じて自動設定されます。

・Code128のキャラクタ構成

数値	キャラクタ			数値	キャラクタ		
	CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C
0	SPACE	SPACE	00	53	U	U	53
1	!	!	01	54	V	V	54
2	″	″	02	55	W	W	55
3	#	#	03	56	X	X	56
4	$	$	04	57	Y	Y	57
5	%	%	05	58	Z	Z	58
6	&	&	06	59	[	[	59
7	’	’	07	60	\	\	60
8	(	(	08	61	]	]	61
9	)	)	09	62	^	^	62
10	*	*	10	63	_	_	63
11	+	+	11	64	NULL	`	64
12	,	,	12	65	SOH	a	65
13	-	-	13	66	STX	b	66
14	.	.	14	67	ETX	c	67
15	/	/	15	68	EOT	d	68
16	0	0	16	69	ENG	e	69
17	1	1	17	70	ACK	f	70
18	2	2	18	71	BEL	g	71
19	3	3	19	72	BS	h	72
20	4	4	20	73	HT	i	73
21	5	5	21	74	LF	j	74
22	6	6	22	75	VT	k	75
23	7	7	23	76	FF	l	76
24	8	8	24	77	CR	m	77
25	9	9	25	78	SO	n	78
26	:	:	26	79	SI	o	79
27	;	;	27	80	DLE	p	80
28	<	<	28	81	DC1	q	81
29	=	=	29	82	DC2	r	82
30	>	>	30	83	DC3	s	83
31	?	?	31	84	DC4	t	84
32	@	@	32	85	NAK	u	85
33	A	A	33	86	SYN	v	86
34	B	B	34	87	ETB	w	87
35	C	C	35	88	CAN	x	88

数値	キャラクタ			数値	キャラクタ		
	CODE A	CODE B	CODE C		CODE A	CODE B	CODE C
36	D	D	36	89	EM	y	89
37	E	E	37	90	SUB	z	90
38	F	F	38	91	ESC	{	91
39	G	G	39	92	FS	|	92
40	H	H	40	93	GS	}	93
41	I	I	41	94	RS	~	94
42	J	J	42	95	US	DEL	95
43	K	K	43	96	FNC3	FNC3	96
44	L	L	44	97	FNC2	FNC2	97
45	M	M	45	98	SHIFT	SHIFT	98
46	N	N	46	99	CODE C	CODE C	99
47	O	O	47	100	CODE B	FNC4	CODE B
48	P	P	48	101	FNC4	CODE A	CODE A
49	Q	Q	49	102	FNC1	FNC1	FNC1
50	R	R	50	103	START(CODE A)		
51	S	S	51	104	START(CODE B)		
52	T	T	52	105	START(CODE C)		

【Code128 Parsed】PTR_BCS_Code128_Parsed(123)

パラメータ	制限事項
data	先頭は使用するコードセットを特殊コード（CODE A、CODE BまたはCODE C）で指定し、その後1文字以上のバーコードデータを指定する必要があります。 特殊コードについては、「Code128特殊コード表」を参照してください。*data*の入力については、「*data*の入力例」を参照してください。 *data*の有効範囲はコードセットにより異なります。 ・Code A： 0x00 ～ 0x5f、FNC1、FNC2、FNC3、FNC4、SHIFT、CODE B、CODE C ・Code B： 0x20 ～ 0x7f、FNC1、FNC2、FNC3、FNC4、SHIFT、CODE A、CODE C ・Code C： 0x30 ～ 0x39、FNC1、CODE A、CODE B
width	*width*=X×(((D+2)×11)+2) 1[*1]≦*width*≦66×D+144 D：バーコードキャラクタ数（スタートコード含む） X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～22×D+48を設定した場合、*width*は22×D+48に設定されます。

・Code128特殊コード表

data	特殊コード
″{S″	SHIFT
″{A″	CODE A
″{B″	CODE B
″{C″	CODE C
″{1″	FNC1
″{2″	FNC2
″{3″	FNC3
″{4″	FNC4
″{{″	’{’

*data*の入力例

*data*は、選択されたコードセットに対応する値をサービスがマップするASCII文字により構成されます。Code AとCode Bでは、1対1にマッピングされます。Code Cでは、各一対の数字が0x00から0x63の範囲のひとつのCode Cの文字に変換されます。（Code Cのデータが奇数桁の数字の場合、変換の前にサービスによって先頭にゼロの数字が付加されます。）識別子である中括弧″{″の制御文字が特殊文字を示すために使用されます。

バーコードキャラクタ″0123″のバーコードを作成する場合、選択するコードセットにより*data*の入力は下記のようになります。

Code Aの場合 ： *data*=″{A0123″
Code Bの場合 ： *data*=″{B0123″
Code Cの場合 ： *data*=″{C0123″ または *data*=″{C123″

【GS1 Databar/GS1 Databar Omni-directional】PTR_BCS_GS1DATABAR(131)

パラメータ	制限事項
data	’0’～’9’を13文字で指定してください。
width	*width*=96×X 1[*1]≦*width*≦576 X：モジュール幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～287を設定した場合、*width*は192に設定されます。

【GS1 Databar Expanded】PTR_BCS_GS1DATABAR_E(132)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z'、空白、'!'、'″'、'%'、'&'、''、 '('、')'、'*'、'+'、','、'-'、'.'、'/'、':'、';'、'<'、'>'、'='、'?'、'_' を2文字以上で指定してください。 FNC1は″{1″を入力します。 チェックデジットはプリンターにより自動計算されませんので、必ず入力してください。
width	0以外の値を入力してください。

【GS1 Databar Stacked Omni-directional】PTR_BCS_GS1DATABAR_S(133)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
height	0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*height*=138に設定されます。
width	0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*width*=100に設定されます。

モジュール幅は2固定となります。

【GS1 Databar Expanded Stacked】PTR_BCS_GS1DATABAR_E_S(134)

パラメータ	制限事項
Data	'0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z'、空白、'!'、'″'、'%'、'&'、''、 '('、')'、'*'、'+'、','、'-'、'.'、'/'、':'、';'、'<'、'>'、'='、'?'、'_' を2文字以上指定する必要があります。 FNC1は″{1″を入力します。 チェックデジットはプリンターにより自動計算されませんので、必ず入力してください。
Width	0以外の値を入力してください。

モジュール幅は2固定となります。

【PDF417】PTR_BCS_PDF417(201)

パラメータ	制限事項
data	00H～7FHまではASCIIコードに従い、80H～FFHまではPC437の英語表の拡張キャラクタセットに従う文字列である必要があります。
width	RP-F10： *width*=(17C+69)×X *height*=R×Y RP-E10、RP-D10： *width*=(17C+69)×X+(2X×2) *height*=RY+(2X×2) X：モジュール幅（2～4） Y：モジュール高さ（2～127） C：縦列数（1～30） R：行数（3～90） 行数・縦列数は、入力データがバーコードとして変換できる最小の値が選択されます。モジュール幅・モジュール高さは、行数・縦列数が決まった後、*width*、*height*を越えない最大サイズが選択されます。

印字モードは通常モード、エラー訂正レベルは4固定となります。

【QRコード（混合モード）】PTR_BCS_QRCODE（204）

パラメータ	制限事項
data	下記の範囲の文字で指定してください。 ・ASCII文字 ・JIS X 0201に基づく8ビットラテン/カナ文字 ・JIS X 0208に基づくシフトJISコード
width	RP-F10： *width*=(4V+17)×X 42≦*width* RP-E10、RP-D10： *width*=(4V+17)×X+(4X×2) 42≦*width* V：QRコードのバージョン　(RP-F10：1～18) (RP-E10、RP-D10：1～40) X：モジュールサイズ　(RP-F10：2～16) (RP-E10、RP-D10：2～11) バージョンは、入力データがバーコードとして変換できる最小の値が選択されます。 *width*の値が2～16の場合は、モジュールサイズとします。それ以外の場合は、モジュールサイズはバージョンが決まった後、*width*を超えない最大サイズが選択されます。

QRコードのモデルは2固定、誤り訂正レベルはM固定とします。QRコードは正方形なので、印字サイズは*width*に従うものとし、*height*は無視します。
印字可能キャラクタ以外のデータが指定された場合、JPOS_E_ILLEGAL(106)がスローされます。

【GS1 Databar Limited】PTR_BCS_OTHER+6(507)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
width	*height*の有効範囲は*width*により異なります。 *width*=79×X 1[*1]≦*width*≦474 X：モジュール幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～236を設定した場合、*width*は158に設定されます。

【GS1 Databar Stacked】PTR_BCS_OTHER+7(508)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
height	0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*height*=26に設定されます。
width	0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*width*=100に設定されます。

モジュール幅は2固定となります。

【GS1 Databar Truncated】PTR_BCS_OTHER+10(511)

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
width	*height*の有効範囲は*width*により異なります。 *width*=96×X 1[*1]≦*width*≦576 X：モジュール幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～287を設定した場合、*width*は192に設定されます。

printBitmap メソッド

形式　**void printBitmap**(**int** *station*, **String** *fileName*, **int** *width*, **int** *alignment*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
station	使用するステーション。 PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
fileName	ビットマップファイル名を指定します。 対応イメージファイルは下記を参照してください。
width	ビットマップの印刷幅を指定します。 下記の値を参照してください。
alignment	ビットマップの印刷位置を指定します。 下記の値を参照してください。

・対応ビットマップファイル

項目	仕様
拡張子	bmp
型式	Windows Bitmap
カラー	1、4、8、24、32ビット
圧縮形式	非圧縮型のみ

・*width*の値

値	意味
PTR_BM_ASIS(-11)	プリンターのドット当たり1ピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅を**MapMode**で定義された単位で表記します。 **MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合、1～**RecLineWidth**の範囲で指定してください。また、**rotatePrint**によるビットマップの左右90度回転を行う場合、接続機器の最大値を超えない範囲内で指定してください。 （接続機器の最大値は**PageModeArea**参照） **pageModePrint**によるページモード中は、**PageModePrintArea**と**PageModeHorizontalPosition**とで指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。

・*alignment*の値

値	意味
PTR_BM_LEFT(-1)	左寄せ
PTR_BM_CENTER(-2)	中央揃え
PTR_BM_RIGHT(-3)	右寄せ
その他	左端から設定された値分のマージンをとって印刷されます。**MapMode**で定義された単位で表記します。

rotatePrintによる左右90度回転中、**pageModePrint**によるページモード中は*alignment*の設定は無効となり、常に左寄せで印字されます。

説明　指定したステーションにビットマップを印刷します。
printBitmapは呼び出された時点でビットマップデータをプリンターに送信するため、良好なパフォーマンスが得られません。**setBitmap**とエスケープシーケンスによるビットマップの印刷を推奨します。
送信済みかつ未印字の文字データがあった場合、文字データを印刷し自動的に改行された後、下記の行にビットマップが印刷されます。**printBitmap**より後に送信された文字データは、ビットマップの下記の行から印字されます。
本メソッドは**AsyncMode**がfalseならば同期的に実行され、**AsyncMode**がtrueならば非同期的に実行されます。
*width*はビットマップの変換をコントロールします。もし、*width*がPTR_BM_ASIS(-11)ならば、変換は実行されません。ビットマップはプリンタードット当たり1ピクセルで印刷されます。
*width*が0ではない場合、ビットマップはその幅が指定された幅でそのアスペクト比が変化しないように、拡大されたり圧縮されたりすることにより変換されます。

printImmediate メソッド

形式　**void printImmediate**(**int** *station*, **String** *data*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
station	使用するステーション。 PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
data	印刷される文字。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）から成ります。

説明　本メソッドは*data*のデータを直ちに印刷する時に呼び出します。
一行の最大文字数を越える分の印刷データは下記の行に折り返して印刷します。本メソッドは**pageModePrint**、**rotatePrint**、**transactionPrint**によるバッファリングは行なわれず、直ちに印刷を実行します。
印刷されずに残っているデータがプリンターバッファに存在する場合、バッファリングされたデータを全て印刷した後に印刷を実行します。

*data*内の特別なキャラクタの値と意味は、下記の通りです。

値	動作
LF	バッファ内のデータを印字後、下記の行へ進みます。
CR	ラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン（CR）はラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。よって、ラインフィード（LF）の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン（CR）は無視されます。ラインフィード（LF）の動作を1回行います。

RP-F10及びRP-D10において、プリンターの機能設定「用紙節約（Paper Saving）」が有効な場合、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）実行時の改行量は、プリンターの機能設定「用紙節約(Paper Saving)」で指定した値となります。(**RecLineSpacing**で指定した値は無視されます。)
ただし、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）によりフィードを実行後、「用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]fP）、「フィードと用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]fP）、**cutPaper**のいずれかを実行した場合、最終印字行からカット位置までの距離は、カット前に節約したドットライン分の紙送りが行われるため削減されません。
詳細は、「RP-F10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」、または「RP-D10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

printMemoryBitmap メソッド

形式　**void printMemoryBitmap**(**int** *station*, **byte[]** *data*, **int** *type*, **int** *width*, **int** *alignment*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
station	使用するステーション。 PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。

パラメータ	意味
data	ビットマップデータを保持しているバイト配列。 対応イメージファイルは**printBitmap**を参照してください。
type	ビットマップの形式。*data*で示されたデータのフォーマットは PTR_BMT_BMP(1)のみサポートします。
width	ビットマップの印刷幅。 値は**printBitmap**を参照してください。
alignment	ビットマップの印刷位置。 値は**printBitmap**を参照してください。

説明　指定したステーションにビットマップを印刷する時に本メソッドを呼び出します。
動作仕様は**printBitmap**を参照してください。
本メソッドは**AsyncMode**がfalseならば同期的に実行され、**AsyncMode**がtrueならば非同期的に実行されます。

printNormal メソッド

形式　**void printNormal**(**int** *station*, **String** *data*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
station	使用するステーション。 PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
data	印刷される文字。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）から成ります。

説明　*data*のデータを印刷する時に本メソッドを呼び出します。
最大桁数を越える分の印刷データは下記の行に折り返して印刷します。
印刷されずに残っているデータがプリンターバッファに存在する場合、バッファリングされたデータをすべて印刷した後に印刷を実行します。
本メソッドは**AsyncMode**がfalseならば同期的に実行され、**AsyncMode**がtrueならば非同期的に実行されます。

*data*内の特別なキャラクタの値と意味は、下記の通りです。

値	動作
LF	バッファ内のデータを印字後、下記の行へ進みます。
CR	ラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン（CR）はラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。よって、ラインフィード（LF）の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン（CR）は無視されます。ラインフィード（LF）の動作を1回行います。

RP-F10及びRP-D10において、プリンターの機能設定「用紙節約（Paper Saving）」が有効な場合、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）実行時の改行量は、プリンターの機能設定「用紙節約(Paper Saving)」で指定した値となります。(**RecLineSpacing**で指定した値は無視されます。)
ただし、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）によりフィードを実行後、「用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]P）、「フィードと用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]fP）、**cutPaper**のいずれかを実行した場合、最終印字行からカット位置までの距離は、カット前に節約したドットライン分の紙送りが行われるため削減されません。
詳細は、「RP-F10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」、または「RP-D10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

printTwoNormal メソッド

形式　**void printTwoNormal**(**int** *station*, **String** *data1*, **String** *data2*) throws **JposException**;

説明　本メソッドはサポートしていません。

rotatePrint メソッド

形式　**void rotatePrint**(**int** *station*, **int** *rotation*);

パラメータ	意味
station	使用するステーション。 PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
rotation	回転方向。下記の値を参照してください。

・*rotation*パラメータの値

値	意味
PTR_RP_NORMAL(1)	回転印刷を終了します。
PTR_RP_RIGHT90(257)	右に90度回転（時計回りに）印刷を開始します。
PTR_RP_LEFT90(258)	左に90度回転（時計と反対回りに）印刷を開始します。
PTR_RP_ROTATE180(259)	180度回転印刷、つまり、倒立印字を開始します。
PTR_RP_BARCODE(4096)	回転バーコード印刷を開始します。 この値は上記の回転印刷開始の値の１つとの論理和です。
PTR_RP_BITMAP(8192)	回転ビットマップ印刷を開始します。 この値は上記の回転印刷開始の値の１つとの論理和です。

説明　回転印刷を行います。
本メソッドは**AsyncMode**がfalseならば同期的に実行され、**AsyncMode**がtrueならば非同期的に実行されます。

*rotation*がPTR_RP_ROTATE180(259)ならば、倒立印刷モードが開始されます。**rotatePrint**が*rotation*をPTR_RP_NORMAL(1)に設定して呼ばれるまで、**printNormal**と**printImmediate**の呼び出しによるデータは倒立して印刷されます。行はプリンターに送られた順に印刷され、各行の先頭はプリンターの右マージンに合わされます。
PTR_RP_BARCODE(4096)が*rotation*にPTR_RP_ROTATE180(259)の論理和として設定されている場合、**printBarCode**によるバーコード印字は倒立されて印字されます。
また、PTR_RP_BITMAP(8192)が*rotation*にPTR_RP_ROTATE180(259)の論理和として設定されている場合、**printBitmap**によるビットマップ印字は倒立されて印字されます。

*rotation*がPTR_RP_RIGHT90(257)またはPTR_RP_LEFT90(258)ならば、横書きモードが開始されます。**rotatePrint**が*rotation*をPTR_RP_NORMAL(1)に設定して呼ばれるまで、**printNormal**の呼び出しによるデータはバッファリングされます。また、**AsyncMode**の値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に**OutputID**は割り当てられず、**OutputCompleteEvent**も通知しません。
各印刷行は、90度に回転されます。もし、行がすべて同じ長さでなければ、各行の先頭位置が合わされます。
PTR_RP_BARCODE(4096)が*rotation*にPTR_RP_ROTATE180(259)の論理和として設定されている場合、**printBarCode**によるバーコード印字はバッファリングされます。
また、PTR_RP_BITMAP(8192)が*rotation*にPTR_RP_ROTATE180(259)の論理和として設定されている場合、**printBitmap**によるビットマップ印字はバッファリングされます。
*rotation*がPTR_RP_NORMAL(1)ならば、回転印刷モードは終了します。もし、横向き回転印刷モードが有効な時に、あるデータが**printNormal**によってバッファリングされていたならば、そのバッファリングされたデータは印刷されます。

*rotation*がPTR_RP_BARCODE(4096)ならば、**RotateSpecial**の内容は無視されます。

clearOutputを呼ぶことにより、回転印刷モードは中止され、バッファリングされた横向き回転印刷行も削除されます。

横書きモードにおける最大幅は2400ドットです。１行あたりの印字データがこの領域を超える場合は、下記行へ改行されて印字されます。

回転モード中に**printNormal**に対して、「バーコード印刷」エスケープシーケンス（ESC|#R）、または「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）によるビットマップ印刷及びバーコード印刷を指定した場合、*rotation*にPTR_RP_BARCODE(4096)及びPTR_RP_BITMAP(8192)が論理和として指定されているいないにかかわらず、回転します。

setBitmap メソッド

形式　**void setBitmap**(**int** *bitmapNumber*, **int** *station*, **String** *fileName*, **int** *width*, **int** *alignment*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
bitmapNumber	このビットマップに割り当てられる番号。 有効な値は、1～20です。
station	使用するステーション。 有効なステーションは、PTR_S_RECEIPT(2)のみです。

パラメータ	意味
fileName	ビットマップファイル名。 空文字列が設定された場合、ビットマップの設定は解除されます。 対応イメージファイルは**printBitmap**を参照してください。
width	ビットマップの印刷幅。 下記の値を参照してください。
alignment	ビットマップの印刷位置。 値は**printBitmap**を参照してください。

・*width*の値

値	意味
PTR_BM_ASIS(-11)	プリンターのドット当たり1ビットマップピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅。**MapMode**で定義された単位で表記します。 **MapMode**がPTR_MM_DOTS(1)の場合、 1～**RecSidewaysMaxLines**の範囲で指定してください。

ビットマップ幅の値は、POSPrinterデバイス内部で8の倍数に切り上げられます。変換後の値が印刷領域を超えない範囲でビットマップ幅を指定してください。

説明　印刷するビットマップに関する情報を保存します。
保存された内容は**close**で初期化されません。クラスが生成されるタイミングで初期化されます。複数プリンターを使用する場合は、プリンター毎に**setBitmap**を実行してください。
ビットマップは、印刷データ内に「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）をもつ**printNormal**あるいは**printImmediate**を呼ぶことで印刷できます。「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）は、初めと終わりの処理ヘッダーを印刷するための文字列を通常含んでいます。
「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）より前に送信された未印字の文字データがあった場合、文字データを印字し自動的に改行した後、ビットマップを印刷します。「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）より後に送信された文字データは、ビットマップの下記の行に印刷します。

POSPrinterデバイスはプリンターのNVグラフィックス領域にビットマップデータをダウンロードして、印刷に備えます。エスケープシーケンスによりビットマップの印刷が指定された時には印刷を指示するコマンドだけが送信されるので、最適なパフォーマンスが得られます。

setLogo メソッド

形式　**void setLogo**(**int** *location*, **String** *data*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
location	設定するロゴ。 PTR_L_TOP(1)あるいはPTR_L_BOTTOM(2)を指定してください。

パラメータ	意味
data	ロゴを作る文字。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス､キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）から成ります。

*data*内の特別なキャラクタの値と意味は、下記の通りです。

値	意味
LF	バッファ内のデータを印字後、下記の行へ進みます。
CR	ラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン（CR）はラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。 よって、ラインフィード（LF）の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン（CR）は無視されます。 ラインフィード（LF）の動作を1回行います。

RP-F10及びRP-D10において、プリンターの機能設定「用紙節約（Paper Saving）」が有効な場合、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）実行時の改行量は、プリンターの機能設定｢用紙節約(Paper Saving)｣で指定した値となります。(**RecLineSpacing**で指定した値は無視されます。)
ただし、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）によりフィードを実行後、「用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]P）、「フィードと用紙カット」エスケープシーケンス（ESC|[#]fP）、**cutPaper**のいずれかを実行した場合、最終印字行からカット位置までの距離は、カット前に節約したドットライン分の紙送りが行われるため削減されません。
詳細は、｢RP-F10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書｣、または｢RP-D10シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書｣を参照してください。

説明　データ文字列を上端あるいは下端のロゴとして保存する時に呼び出します。
プリントデータ内に、「トップロゴ印刷」エスケープシーケンス（ESC|tL）あるいは「ボトムロゴ印刷」エスケープシーケンス（ESC|bL）を含んだ**printNormal**あるいは**printImmediate**を呼ぶことによって、ロゴは印刷されます。
本メソッドで登録される*data*は､メソッドを実行した時点の**CharacterSet**のキャラクタセットでデータを保持します。よって、**CharacterSet**が932で**setLogo**を実行し、漢字を含むデータを登録します。その後、エスケープシーケンスで印字を行う際に、**CharacterSet**が999に設定してある場合でも漢字が印字されます。

transactionPrint メソッド

形式　**void transactionPrint**(**int** *station*, **int** *control*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
station	使用するステーション。 PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
control	一括処理。下記の値を参照してください。

・*control*の値

値	意味
PTR_TP_TRANSACTION(11)	一括処理を開始します。
PTR_TP_NORMAL(12)	バッファデータを印刷して一括処理を終了します。

説明　一括処理モードに入る時または抜ける時に本メソッドを呼び出します。
*control*がPTR_TP_TRANSACTION(11)ならば、一括処理モードに入ります。その後の**printNormal**、**cutPaper**、**rotatePrint**、**printBarCode**、**printBitmap**、**pageModePrint**への呼び出しは、*control*にPTR_TP_NORMAL(12)をセットして**transactionPrint**が呼び出されるまで、印刷データはバッファリングされます。この場合、前記のメソッドの印刷データはバッファリングされるだけで、印刷は開始しません。
また、**AsyncMode**の値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に**OutputID**は割り当てられず、**OutputCompleteEvent**も通知しません。

*control*がPTR_TP_NORMAL(12)ならば、一括処理モードを抜けます。
printNormal、**cutPaper**、**rotatePrint**、**printBarCode**、**printBitmap**、**pageModePrint**によりデータがバッファされていたならば、そのデータは印刷されます。一括処理全体は1つのメッセージとして処理されます。

本メソッドは**AsyncMode**がfalseならば同期的に実行され、**AsyncMode**がtrueならば非同期的に実行されます。

clearOutputを呼び出すことによって、一括処理モードは取り消されます。バッファされた印刷行も削除されます。

validateData メソッド

形式　**void validateData**(**int** *station*, **String** *data*) throws **JposException**;

パラメータ	意味
station	使用するステーション。 PTR_S_RECEIPT(2)を指定してください。
data	判定されるデータ。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）から成ります。

説明　**printNormal**または**printImmediate**を呼び出す前に、指定したステーションにとって、おそらく1つ以上のエスケープシーケンスを含むデータシーケンスが、有効か否かを判定する時に呼び出します。
本メソッドは印刷は行いませんが、そのステーションの能力を判定するために使用されます。
有効でない場合、例外エラーを通知します。

4.3.5 イベント

DirectIOEvent イベント

インターフェース **jpos.events.DirectIOListener**

形式　　**directIOOccurred**(**DirectIOEvent** *e*);

説明　　本イベントはサポートしていません。

ErrorEvent イベント

インターフェース **jpos.events.ErrorListener**

形式　　**errorOccurred**(**ErrorEvent** *e*);

ErrorEventは下記のプロパティを含みます。

パラメータ	型	説明
ErrorCode	**int**	エラーイベントを起こした要因のコード。
ErrorCodeExtended	**int**	エラーイベントを起こした要因の拡張コード。
ErrorLocus	**int**	エラーイベントの発生場所。
ErrorResponse	**int**	エラーイベント応答へのポインタ。

*ErrorCode*は下記の値のうちの1つにセットされます。

値	意味
JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
JPOS_E_EXTENDED(114)	拡張エラーが発生しました。*ErrorCodeExtended*を参照してください。

*ErrorCode*がJPOS_E_EXTENDED(114)の場合、*ErrorCodeExtended*は下記の値のうちの1つにセットされます。

値	意味
EPTR_COVER_OPEN(201)	プリンターカバーが開いています。
EPTR_REC_EMPTY(203)	レシート用紙がありません。
1001	Vp電圧エラーが発生しました。
1002	オートカッタエラーが発生しました。
1005	ヘッド温度エラーが発生しました。
1010	復帰不可能エラーが発生しました。

*ErrorLucus*は下記の値にセットされます。

値	意味
JPOS_EL_OUTPUT(1)	非同期処理の実行中にエラーが発生しました。

*ErrorResponse*はアプリケーションにより、下記に示す値のどちらかに設定できます。初期値はJPOS_ER_RETRY(11)です。

値	意味
JPOS_ER_RETRY(11)	エラー状態から抜け、非同期出力を再び試みます。
JPOS_ER_CLEAR(12)	エラー状態から抜け、非同期出力を削除します。

説明　　エラーが検出されたことをアプリケーションに通知します。

OutputCompleteEvent イベント

インターフェース　**jpos.events.OutputCompleteListener**

形式　　**outputCompleteOccurred**(**OutputCompleteEvent** *e*);

OutputCompleteEventは下記のプロパティを含みます。

パラメータ	型	説明
OutputID	**int**	完了した非同期出力のリクエストのID番号。

説明　　前に開始された非同期出力リクエストが正常に終了した時に通知します。

StatusUpdateEvent イベント

インターフェース　**jpos.events.StatusUpdateListener**

形式　　**statusUpdateOccurred**(**StatusUpdateEvent** *e*);

StatusUpdateEventは下記のプロパティを含みます。

パラメータ	型	説明
Status	**int**	プリンターの状態。

*Status*は下記に示す値の内の1つにセットされます。

値	意味
PTR_SUE_COVER_OPEN(11)	プリンターカバーが開いています。
PTR_SUE_COVER_OK(12)	プリンターカバーが閉じています。
PTR_SUE_REC_EMPTY(24)	レシート用紙がありません。
PTR_SUE_REC_PAPEROK(26)	レシート用紙が用意できました。
PTR_SUE_IDLE(1001)	すべての非同期出力が、成功するか、または削除されることによって終了しました。 このイベントが通知されるとき、**State**は必ずJPOS_S_IDLE(2)です。 **FlagWhenIdle**をtrueにすることで、このイベントは通知されます。 POSPrinterデバイスはすべての非同期出力が、成功するか、または削除されると**FlagWhenIdle**をfalseに更新してイベントが通知します。

値	意味
JPOS_SUE_POWER_ONLINE(2001)*1	デバイスは電源オンでかつレディ状態です。
JPOS_SUE_POWER_OFF_OFFLINE(2004)*1	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。

*1: **PowerNotify** = JPOS_PN_ENABLED(1)の場合に通知されます。

説明　　デバイス側に重要な状態の変化が起こった時にデバイスの状態を通知します。
デバイスがイネーブルになったとき、POSPrinterデバイスは最初の**StatusUpdateEvent**を通知します。

5章 CashDrawer

5.1 一覧

5.1.1 共通プロパティ

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapCompareFirmwareVersion	**boolean**	R	open	false
CapPowerReporting	**int**	R	open	JPOS_PR_STANDARD(1)
CapStatisticsReporting	**boolean**	R	open	false
CapUpdateFirmware	**boolean**	R	open	false
CapUpdateStatistics	**boolean**	R	open	false
CheckHealthText	**String**	R	open	""
Claimed	**boolean**	R	open	false
DeviceEnabled	**boolean**	R/W	open	false
FreezeEvents	**boolean**	R/W	open	false
PowerNotify	**int**	R/W	open	JPOS_PN_DISABLED(0)
PowerState	**int**	R	open	JPOS_PS_UNKNOWN(2000)
State	**int**	R	open	JPOS_S_CLOSED(1)
DeviceControlDescription	**String**	R	-	"JavaPOS CashDrawer Device Control"
DeviceControlVersion	**int**	R	-	"1013000"
DeviceServiceDescription	**String**	R	open	"SII RP Series JavaPOS Cash Drawer Service Driver, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."
DeviceServiceVersion	**int**	R	open	"1013XXX"
PhysicalDeviceDescription	**String**	R	open	"SII RP-F10 Cash Drawer"*1
				"SII RP-E10 Cash Drawer"*2
				"SII RP-D10 Cash Drawer"*3
PhysicalDeviceName	**String**	R	open	"RP-F10 Cash Drawer"*1
				"RP-E10 Cash Drawer"*2
				"RP-D10 Cash Drawer"*3

*1 : RP-F10 使用時
*2 : RP-E10 使用時
*3 : RP-D10 使用時

5.1.2 専用プロパティ

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapStatus	**boolean**	R	open	true
CapStatusMultiDrawerDetect	**boolean**	R	open	false
DrawerOpened	**boolean**	R	open & enable	ドロワの状態に依存

5.1.3 共通メソッド

メソッド名	使用可能条件
checkHealth	open & enable
claim	open
close	open
compareFirmwareVersion	open, claim, & enable
directIO	open
open	-
release	open & claim
resetStatistics	open, claim, & enable
retrieveStatistics	open, claim, & enable
updateFirmware	open, claim, & enable
updateStatistics	open, claim, & enable

5.1.4 専用メソッド

メソッド名	使用可能条件
openDrawer	open & enable
waitForDrawerClose	open & enable

5.1.5 イベント

イベント名	使用可能条件
DirectIOEvent	open & enable
StatusUpdateEvent	open & enable

5.2 詳細

CashDrawerデバイスの提供する機能詳細について示します。
スローされる例外エラーについては「付録 A 例外」を参照してください。

5.2.1 共通プロパティ

CapCompareFirmwareVersion プロパティ

型　**boolean**

説明　ファイルとデバイスのファームウェアバージョンを比較する機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ファームウェアバージョンを比較する機能はサポートしていません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CapPowerReporting プロパティ

型　**int**

説明　デバイスの通知能力を識別します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PR_STANDARD(1)	JPOS_PS_OFF_OFFLINE(2004)（電源オフまたはオフライン）とJPOS_PS_ONLINE(2001)の2種類の電源状態を判断し通知が可能です。

本プロパティは**open**によりJPOS_PR_STANDARD(1)に初期化されます。

CapStatisticsReporting プロパティ

型　**boolean**

説明　デバイスのスタティスティクス収集機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	このデバイスに関する有効なスタティスティクスはありません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CapUpdateFirmware プロパティ

型　　**boolean**

説明　　ファームウェアのアップデート機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ファームウェアのアップデートはサポートしていません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CapUpdateStatistics プロパティ

型　　**boolean**

説明　　デバイスのスタティスティクスリセット機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	リセットまたは変更できるスタティスティクスはありません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

CheckHealthText プロパティ

型　　**String**

説明　　直前に呼び出した**checkHealth**の結果を保持します。
下記に診断結果の例を示します。

値	意味
"Internel HCheck: Successful"	ドロワと通信可能な状態であることを確認しました。
"Internel HCheck: Failure"	ドロワと通信可能な状態であることを確認できません。
"External HCheck: Successful"	ドロワとの通信確認とドロワのオープンに成功しました。
"External HCheck: Failure"	ドロワとの通信確認、またはドロワのオープンに失敗しました。
"Interactive HCheck: Successful"	デバイスとの対話テストに成功しました。
"Interactive HCheck: Failure"	デバイスとの対話テストに失敗しました。
"Interactive HCheck: Canceled"	デバイスとの対話テストにおいて、一度もテストをせずにダイアログを閉じました。

本プロパティは**open**により空文字列に初期化されます。

Claimed プロパティ

型　　**boolean**

説明　　デバイスの排他アクセス権の状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	デバイスは、ほかのアプリケーションと共有できるよう解放されています。
true	デバイスの排他アクセス権が獲得されています。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

DeviceEnabled プロパティ R/W

型　　**boolean**

説明　　デバイスの有効/無効を選択します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	デバイスはディセーブルにされています。 falseに変更すると、ディセーブルにされます。
true	デバイスはイネーブルにされています。（動作状態です。） trueに変更するとイネーブルにされます。

デバイスを使用する前に、アプリケーションは本プロパティをtrueに設定しなければなりません。
StateがJPOS_S_IDLE(2)以外のとき**DeviceEnabled**をtrueからfalseにすることはできません。

本プロパティは**open**メソッドによりfalseに初期化されます。

FreezeEvents プロパティ R/W

型　　**boolean**

説明　　イベントの通知/非通知を選択します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	アプリケーションは、イベントの通知を許可します。凍結されていた間に保持されたイベントは、**FreezeEvents**をfalseに変更すると、イベントが通知されます。
true	イベントは通知されません。凍結が解除されるまで、イベントはコントロールが保持しています。

イベントによる割り込みが望ましくない状況で、アプリケーションはイベントの凍結を選択できます。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

PowerNotify プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　アプリケーションから設定された電源通知機能のタイプを示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PN_DISABLED(0)	Cash Drawerクラスはアプリケーションに対していかなる電源通知も提供しません。 電源通知に関する**StatusUpdateEvents**は通知されず、また、**PowerState**にも何も設定されません。
JPOS_PN_ENABLED(1)	**DeviceEnabled**がtrueに設定されると、Cash Drawerクラスは電源通知に関する**StatusUpdateEvents**の通知、**PowerState**の更新を行います。 機能レベルは、**CapPowerReporting**の値に依存します。

PowerNotifyは、デバイスがディセーブルの間、すなわち**DeviceEnabled**がfalseの間のみ設定が可能です。

本プロパティは**open**によりJPOS_PN_DISABLED(0)に初期化されます。

PowerState プロパティ

型　　**int**

説明　　電源状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_PS_UNKNOWN(2000)	下記の理由のどちらかにより、デバイスの電源状態の判断ができません。 ・**PowerNotify**がJPOS_PN_DISABLED(0)です。 ・**DeviceEnabled**がfalseです。
JPOS_PS_ONLINE(2001)	デバイスは電源オン、かつレディ状態です。
JPOS_PS_OFFOFFLINE(2004)	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。

本プロパティは**open**によりJPOS_PS_UNKNOWN(2000)に初期化されます。

State プロパティ

型　　**int**

説明　　デバイスの現在の状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
JPOS_S_CLOSED(1)	デバイスはクローズしています。
JPOS_S_IDLE(2)	デバイスは正常な状態にあり、ビジーではありません。

本プロパティはいつでも読取り可能です。
本プロパティは**open**が成功するまでは、JPOS_S_CLOSED(1)を返します。

DeviceControlDescription プロパティ

型　　**String**

説明　　"JavaPOS CashDrawer Device Control"が設定されています。
本プロパティはDevice Control情報を示します。
本プロパティはいつでも読み取り可能です。

DeviceControlVersion プロパティ

型　　**String**

説明　　"1013000"が設定されています。
本プロパティはDevice Controlのバージョン番号を示します。
本プロパティはいつでも読み取り可能です。

DeviceServiceDescription プロパティ

型　　**String**

説明　　本プロパティはDevice Service情報を示します。
openにより"SII RP Series JavaPOS Cash Drawer Service Driver, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."に初期化されます。

DeviceServiceVersion プロパティ

型　　**String**

説明　　本プロパティはDevice Serviceのバージョン番号を示します。
openにより"1013XXX"に初期化されます。

PhysicalDeviceDescription プロパティ

型　　**String**

説明　　デバイスとそれに関連する情報を示します。
本プロパティはプリンタによって異なります。
openにより下記に示す値の内の1つが設定されます。

プリンタ	値
RP-F10	"SII RP-F10 Cash Drawer"
RP-E10	"SII RP-E10 Cash Drawer"
RP-D10	"SII RP-D10 Cash Drawer"

PhysicalDeviceName プロパティ

型　　**String**

説明　　デバイスとそれに関連する情報を示します。
本プロパティはプリンタによって異なります。
openにより下記に示す値の内の1つが設定されます。

プリンタ	値
RP-F10	"RP-F10 Cash Drawer"
RP-E10	"RP-E10 Cash Drawer"
RP-D10	"RP-D10 Cash Drawer"

5.2.2 専用プロパティ

CapStatus プロパティ

型　　**boolean**

説明　　ドロワの開閉状態の通知機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ドロワの開閉状態を通知することができます。

本プロパティは**open**によりtrueに初期化されます。

CapStatusMultiDrawerDetect プロパティ

型　　**boolean**

説明　　複数ドロワ構成のとき、各ドロワ個別の開閉状態を通知する機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	複数ドロワ構成のとき、各ドロワ個別の開閉状態を通知する機能はサポートしていません。

本プロパティは**open**によりfalseに初期化されます。

DrawerOpened プロパティ

型　　**boolean**

説明　　ドロワの開閉状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ドロワは閉じています。
true	ドロワは開いています。

本プロパティはJposEntryの**DrawerOpenStatus**に依存します。
・JposEntryの**DrawerOpenStatus**が"Low"に設定されている場合
　センサの状態が"Low"のとき、本プロパティはtrueを示します。
・JposEntryの**DrawerOpenStatus**が"High"に設定されている場合
　センサの状態が"High"のとき、本プロパティはtrueを示します。

本プロパティはデバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

5.2.3 共通メソッド

checkHealth メソッド

形式　**void checkHealth**(**int** *level*) throws **JposException**;

*level*は、デバイスで実行するヘルスチェックのタイプを示します。
下記の値を指定できます。

値	意味
JPOS_CH_INTERNAL(1)	デバイスを物理的に使用しないヘルスチェックを実行します。
JPOS_CH_EXTERNAL(2)	デバイスを使用して完全なテストを実行します。 ドロワを開くことを試みます。 他のアプリケーションから排他アクセスされている場合、本メソッドは失敗します。
JPOS_CH_INTERACTIVE(3)	デバイスとの対話テストを実行します。 本ソフトウェアは、モーダルダイアログボックスを表示して、指定したドロワを開きます。

説明　デバイスの状態をテストします。
本メソッドの結果は**CheckHealthText**に格納されます。
他のアプリケーションから排他アクセスがされている場合、本メソッドは失敗します。

claim メソッド

形式　**void claim**(**int** *timeout*) throws **JposException**;

*timeout*は、排他アクセス権を獲得するまでの最大待ち時間（ミリ秒）を示します。
0の場合、メソッドはデバイスの排他アクセスが獲得できなかった場合でも、その結果を直ちに戻します。
JPOS_FOREVER(-1)が設定されている場合は、メソッドは排他アクセス権が獲得できるまで待ちます。

説明　デバイスに対して排他アクセスを要求します。
CashDrawerデバイスは共有可能デバイスなので、排他アクセス権の取得は必須ではありません。
成功すると、**Claimed**はtrueに設定されます。
電源オフ時またはケーブル切断時は、本メソッドは失敗します。

close メソッド

形式　**void close**() throws **JposException**;

説明　デバイスとそのリソースを解放します。
DeviceEnabledがtrueの場合、まずデバイスがディセーブルにされます。
Claimedがtrueの場合、まずデバイスの排他アクセスが解除されます。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

compareFirmwareVersion メソッド

形式　**void compareFirmwareVersion**(**String** *firmwareFileName*) throws **JposException**;

説明　本メソッドはサポートしていません。

directIO メソッド

形式　**void directIO**(**int** *command*, **int[]** *data*, **Object** *object*) throws **JposException**;

説明　本メソッドはサポートしていません。

open メソッド

形式　**void open**(**String** *logicalDeviceName*) throws **JposException**;

*logicalDeviceName*は、オープンする論理デバイス名を指定します。
登録されているCashDrawerデバイスの論理名を指定して実行してください。

説明　デバイスをオープンします。
openが成功すると、共通プロパティ、その他のクラス固有プロパティが初期化されます。

release メソッド

形式　**void release**() throws **JposException**;

説明　デバイスの排他アクセスを解除します。
DeviceEnabledがtrueならば、デバイスはディセーブルにされます。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

resetStatistics メソッド

形式　**void resetStatistics**(**String** *statisticsBuffer*) throws **JposException**;

説明　本メソッドはサポートしていません。

retrieveStatistics メソッド

形式　**void retrieveStatistics**(**String[**1**]** *statisticsBuffer*) throws **JposException**;

説明　本メソッドはサポートしていません。

updateFirmware メソッド

形式　**void updateFirmware**(**String** *firmwareFileName*) throws **JposException**;

説明　本メソッドはサポートしていません。

updateStatistics メソッド

形式　　**void updateStatistics**(**String** *statisticsBuffer*) throws **JposException**;

説明　　本メソッドはサポートしていません。

5.2.4 専用メソッド

openDrawer メソッド

形式　**void openDrawer**() throws **JposException**;

説明　ドロワを開けます。
他のアプリケーションから排他アクセスがされている場合、本メソッドは失敗します。

waitForDrawerClose メソッド

形式　**void waitForDrawerClose**(**int** *beepTimeout*, **int** *beepFrequency*, **int** *beepDuration*, **int** *beepDelay*) throws **JposException**;

説明　ドロワが閉じられるまで待ちます。
本メソッドは**DrawerOpened**がfalseになるかプリンタの電源OFFが検知されるまで、アプリケーションに制御を戻しません。
警告ビープ音はサポートしていません。
他のアプリケーションから排他アクセスがされている場合、本メソッドは失敗します。

5.2.5 イベント

DirectIOEvent イベント

インターフェース **jpos.events.DirectIOListener**

形式　　**directIOOccurred**(**DirectIOEvent** e);

説明　　本イベントはサポートしていません。

StatusUpdateEvent イベント

インターフェース **jpos.events.StatusUpdateListener**

形式　　**statusUpdateOccurred**(**StatusUpdateEvent** e);

StatusUpdateEventは下記のプロパティを含みます。

パラメータ	型	説明
Status	**int**	ドロワの状態。

*Status*は下記に示す値の内の1つにセットされます。

値	意味
CASH_SUE_DRAWERCLOSED(0)	ドロワは閉じています。
CASH_SUE_DRAWEROPEN(1)	ドロワは開いています。
JPOS_SUE_POWER_ONLINE(2001)*1	デバイスは電源オンでかつレディ状態です。
JPOS_SUE_POWER_OFF_OFFLINE(2004)*1	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。

*1: **PowerNotify** = JPOS_PN_ENABLED(1)の場合に通知されます。

説明　　デバイス側に重要な状態の変化が起こった時にデバイスの状態を通知します。
デバイスがイネーブルになったとき、Cash Drawerクラスは最初の**StatusUpdateEvent**を通知します。

付録 A 例外

A.1 POSPrinter

A.1.1 共通プロパティ

プロパティ	ErrorCode	意味
CapCompareFirmwareVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapPowerReporting	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapStatisticsReporting	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapUpdateFirmware	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapUpdateStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CheckHealthText	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
Claimed	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
DeviceEnabled	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
FreezeEvents	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
OutputID	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。

プロパティ	ErrorCode	意味
PowerNotify	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のどちらかの状態です。 ・プロパティの設定範囲が不正です。 ・**DeviceEnabled**がtrueです。
PowerState	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
DeviceServiceDescription	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
DeviceServiceVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
PhysicalDeviceDescription	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
PhysicalDeviceName	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。

A.1.2　専用プロパティ

プロパティ	ErrorCode	意味
AsyncMode	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapCharacterSet	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapConcurrentJrnRec	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapConcurrentJrnSlp	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapConcurrentPageMode	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapConcurrentRecSlp	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapCoverSensor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrn2Color	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnBold	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnCartridgeSensor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnColor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnDhigh	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnDwide	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnDwideDhigh	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnEmptySensor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnItalic	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnNearEndSensor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnPresent	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapJrnUnderline	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapMapCharacterSet	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRec2Color	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecBarCode	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecBitmap	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。

プロパティ	ErrorCode	意味
CapRecBold	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecCartridgeSensor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecColor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecDhigh	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecDwide	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecDwideDhigh	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecEmptySensor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecItalic	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecLeft90	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecMarkFeed	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecNearEndSensor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecPageMode	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecPapercut	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecPresent	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecRight90	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecRotate180	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecRuledLine	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecStamp	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapRecUnderline	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlp2Color	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpBarCode	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpBitmap	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpBold	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpBothSidesPrint	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。

プロパティ	ErrorCode	意味
CapSlpCartridgeSensor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpColor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpDhigh	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpDwide	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpDwideDhigh	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpEmptySensor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpFullslip	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpItalic	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpLeft90	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpNearEndSensor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpPageMode	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpPresent	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpRight90	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpRotate180	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpRuledLine	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapSlpUnderline	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapTransaction	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CartridgeNotify	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	サポートされていない操作を実行しようとしました。
CharacterSet	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	無効なパラメータが指定されました。
CharacterSetList	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。

プロパティ	ErrorCode	意味
CoverOpen	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
ErrorLevel	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
ErrorStation	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
ErrorString	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
FlagWhenIdle	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
FontTypefaceList	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
JrnCartridgeState	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
JrnCurrentCartridge	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	ジャーナルステーションはサポートされていません。
JrnEmpty	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
JrnLetterQuality	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	ジャーナルステーションはサポートされていません。
JrnLineChars	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	ジャーナルステーションはサポートされていません。

プロパティ	ErrorCode	意味
JrnLineCharsList	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
JrnLineHeight	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	ジャーナルステーションはサポートされていません。
JrnLineSpacing	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	ジャーナルステーションはサポートされていません。
JrnLineWidth	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
JrnNearEnd	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
MapCharacterSet	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	サポートされていない操作を実行しようとしました。
MapMode	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	無効な操作を実行しようとしました。
PageModeArea	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
PageModeDescriptor	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
PageModeHorizontalPosition	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のどちらかの状態です。 ・無効なパラメータが指定されました。 ・**PageModeStation**に有効なステー ションが指定されていません。

プロパティ	ErrorCode	意味
PageModePrintArea	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のどちらかの状態です。 ・無効なパラメータが指定されました。 ・**PageModeStation**に有効なステーションが指定されていません。
PageModePrintDirection	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のどちらかの状態です。 ・無効な操作を実行しようとしました。 ・**PageModeStation**に有効なステーションが指定されていません。
PageModeStation	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	サポートされていない操作を実行しようとしました。
PageModeVerticalPosition	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のどちらかの状態です。 ・無効なパラメータが指定されました。 ・**PageModeStation**に有効なステーションが指定されていません。
RecBarCodeRotationList	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
RecBitmapRotationList	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
RecCartridgeState	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
RecCurrentCartridge	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	サポートされていない操作を実行しようとしました。
RecEmpty	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
RecLetterQuality	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

プロパティ	ErrorCode	意味
RecLineChars	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	無効なパラメータが指定されました。
RecLineCharsList	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
RecLineHeight	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	無効なパラメータが指定されました。
RecLineSpacing	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	無効なパラメータが指定されました。
RecLinesToPaperCut	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
RecLineWidth	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
RecNearEnd	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
RecSidewaysMaxChars	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

プロパティ	ErrorCode	意味
RecSidewaysMaxLines	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
RotateSpecial	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	無効な操作を実行しようとしました。
SlpBarCodeRotationList	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
SlpBitmapRotationList	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
SlpCartridgeState	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
SlpCurrentCartridge	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	スリップステーションはサポートされていません。
SlpEmpty	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpLetterQuality	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	スリップステーションはサポートされていません。
SlpLineChars	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	スリップステーションはサポートされていません。
SlpLineCharsList	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。

プロパティ	ErrorCode	意味
SlpLineHeight	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	スリップステーションはサポートされていません。
SlpLinesNearEndToEnd	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpLineSpacing	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	スリップステーションはサポートされていません。
SlpLineWidth	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpMaxLines	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpNearEnd	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpPrintSide	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

プロパティ	ErrorCode	意味
SlpSidewaysMaxChars	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
SlpSidewaysMaxLines	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

A.1.3　共通メソッド

メソッド	ErrorCode	意味
checkHealth	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	*level*にJPOS_CH_INTERNAL(1)、JPOS_CH_EXTERNAL(2)、JPOS_CH_INTERACTIVE(3)以外の値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 　プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 　レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 　Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 　オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 　ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 　復帰不可能エラーが発生しました。
claim	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	*timeout*に-2以下の値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_TIMEOUT(112)	別のアプリケーションがデバイスに排他アクセスしていて、解放されるのを待っていましたが*Timeout*時間（ミリ秒）が過ぎました。または、*Timeout*時間（ミリ秒）経過しても、デバイスが処理可能な状態になりませんでした。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 　復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
clearOutput	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
close	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
compareFirmwareVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
directIO	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	無効なパラメータが指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
open	JPOS_E_NOSERVICE(104)	対応するサービスオブジェクトに接続できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	該当のコントロールはすでにオープンしています。
	JPOS_E_NOEXIST(109)	指定された*logicalDeviceName*が見つかりません。
release	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	アプリケーションは該当のデバイスへの排他アクセス権を持っていません。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。

メソッド	ErrorCode	意味
resetStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	指定されたスタティスティクスのうち一つが未定義またはリセット不可能です。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=280 　指定されたスタティスティクスの１つ以上がリセットできませんでした。 ErrorCodeExtended=1010 　復帰不可能エラーが発生しました。
retrieveStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	指定されたスタティスティクスのうち一つが未定義です。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=280 　指定されたスタティスティクスの１つ以上が取得できませんでした。 ErrorCodeExtended=1010 　復帰不可能エラーが発生しました。
updateFirmware	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
updateStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

A.1.4　専用メソッド

メソッド	ErrorCode	意味
beginInsertion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
beginRemoval	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
changePrintSide	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
clearPrintArea	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のどちらかの状態です。 ・**PageModeStation**に有効なステーションが指定されていません。 ・**pageModePrint**によるページモード中のみ本メソッドは実行可能です。

メソッド	ErrorCode	意味
cutPaper	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のどちらかの状態です。 ・*percentage*に0～100以外の値が指定されました。 ・**rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は、本メソッドはサポートしていません。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
drawRuledLine	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
endInsertion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
endRemoval	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

メソッド	ErrorCode	意味
markFeed	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
pageModePrint	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のいずれかの状態です。 ・*control*にPTR_PM_PAGE_MODE(1)、PTR_PM_PAGE_SAVE(2)、PTR_PM_NORMAL(3)、PTR_PM_CANCEL(4)以外の値が指定されました。 ・*control*にPTR_PM_PAGE_MODE(1)が指定される前にPTR_PM_PAGE_SAVE(2)、PTR_PM_NORMAL(3)、PTR_PM_CANCEL(4)のいずれかの値が指定されました。 ・**PageModeStation**に有効なステーションが指定されていません。 ・**rotatePrint**による左右90度回転中は、本メソッドはサポートしていません。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
printBarCode	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のいずれかの状態です。 ・*station*にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 ・*data*に無効な値が指定されました。 ・*symbology*に無効な値が指定されました。 ・*height*に1～255以外の値が指定されました。 ・*width*に無効な値が指定されました。 ・*alignment*に無効な値が指定されました。 ・*textPosition*にPTR_BC_TEXT_NONE(-11)、PTR_BC_TEXT_ABOVE(-12)、PTR_BC_TEXT_BELOW(-13)以外の値が指定され ました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
printBitmap	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のいずれかの状態です。 ・*station*にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 ・*width*に無効な値が指定されました。 ・*alignment*に無効な値が指定されました。 ・指定されたビットマップの高さが大きすぎます。 ・指定されたビットマップのサイズが大きすぎます。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_NOEXIST(109)	*fileName*で指定されたファイルが見つかりませんでした。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended =206 下記のどちらかの状態です。 ・ビットマップが変換なしで印字するには大きすぎます。 ・ビットマップのサイズが大きすぎて変換できません。 ErrorCodeExtended =207 サポートしていないビットマップが指定されました。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
printImmediate	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のどちらかの状態です。 ・*station*にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 ・*data*に無効な値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
printMemoryBitmap	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のいずれかの状態です。 ・*station*にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 ・*width*に無効な値が指定されました。 ・*alignment*に無効な値が指定されました。 ・指定されたビットマップの高さが大きすぎます。 ・指定されたビットマップのサイズが大きすぎます。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended =206 下記のどちらかの状態です。 ・ビットマップが変換なしで印字するには大きすぎます。 ・ビットマップのサイズが大きすぎて変換できません。 ErrorCodeExtended =207 サポートしていないビットマップが指定されました。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
printNormal	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のどちらかの状態です。 ・*station*にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 ・*data*に無効な値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
printTwoNormal	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

メソッド	ErrorCode	意味
rotatePrint	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のいずれかの状態です。 ・*station*にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 ・*rotation*に無効な値が指定されました。 ・**pageModePrint**によるページモード中は、本メソッドはサポートしていません。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。

メソッド	ErrorCode	意味
setBitmap	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のいずれかの状態です。 ・*bitmapNumber*に1～20以外の値が指定されました。 ・*station*にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 ・*width*に無効な値が指定されました。 ・*alignment*に無効な値が指定されました。 ・指定されたビットマップの高さが大きすぎます。 ・指定されたビットマップのサイズが大きすぎます。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_NOEXIST(109)	*fileName*で指定されたファイルが見つかりませんでした。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_BUSY(113)	非同期処理が実行中です。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended =206 下記のどちらかの状態です。 ・ビットマップが変換なしで印字するには大きすぎます。 ・ビットマップのサイズが大きすぎて変換できません。 ErrorCodeExtended =207 サポートしていないビットマップが指定されました。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1009 プリンタのユーザ領域にイメージを登録するための領域がありません。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
setLogo	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のどちらかの状態です。 ・*location*にPTR_L_TOP(1)またはPTR_L_BOTTOM(2)以外の値が指定されました。 ・*data*に"ESC|tL"または"ESC|bL"が含まれています。

メソッド	ErrorCode	意味
transactionPrint	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	下記のいずれかの状態です。 ・*station*にPTR_S_RECEIPT(2)以外の値が指定されました。 ・*control*にPTR_TP_TRANSACTION(11)またはPTR_TP_NORMAL(12)以外の値が指定されまし た。 ・**rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は、本メソッドはサポートしていません。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=201 プリンタカバーが開いています。 ErrorCodeExtended=203 レシート用紙がありません。 ErrorCodeExtended=1001 Vp電圧エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1002 オートカッタエラー発生しました。 ErrorCodeExtended=1005 ヘッド温度エラーが発生しました。 ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
validateData	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	A.1.5(1)を参照してください。
	JPOS_E_FAILURE(111)	A.1.5(2)を参照してください。

A.1.5　エスケープシーケンス

(1)　**validateData**においてJPOS_E_ILLEGAL(106)がスローされるケース

エスケープシーケンス	意味
用紙カット	下記のどちらかの状態です。 ・パーセンテージ'#'は正確にサポートされていません。 ・**rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
フィードと用紙カット	下記のどちらかの状態です。 ・パーセンテージ'#'は正確にサポートされていません。 ・**rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
複数行フィード	下記のどちらかの状態です。 ・行数'#'が正しくありません。 ・**rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
単位フィード	下記のいずれかの状態です。 ・フィード量'#'は**MapMode**の設定によっては1ドット分の丸め誤差が発生するため正確にはサポートされていません。 ・フィード量'#'が正しくありません。 ・**rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
埋め込みデータの送信	埋め込みデータのバイト数'#'が正しくありません。
バーコード印刷	下記のどちらかの状態です。 ・バーコードデータのバイト数'#'が正しくありません。 ・ESC|#Rに続く文字列に不正な値が含まれています。
アンダーライン	太さ'#'が正しくありません。
縦倍率	倍率'#'が正しくありません。
横倍率	倍率'#'が正しくありません。
左寄せ	**rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
中央揃え	**rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。
右寄せ	**rotatePrint**による左右90度回転中、及び**pageModePrint**によるページモード中は、本エスケープシーケンスはサポートしていません。

(2) **validateData**においてJPOS_E_FAILURE(111)がスローされるケース

エスケープシーケンス	意味
フィードとカットとスタンプ印刷	サポートしていません。
ビットマップ印刷	ビットマップ番号'#'が正しくありません。
スタンプ印刷	サポートしていません。
逆フィード	サポートしていません。
罫線印刷	サポートしていません。
フォントタイプ指定	サポートしていません。
イタリック	サポートしていません。
カスタムカラー	サポートしていません。
網掛け文字	サポートしていません。
色指定	サポートしていません。
サブ　スクリプト	サポートしていません。
スーパー　スクリプト	サポートしていません。
取り消し線	サポートしていません。

A.2 CashDrawer

A.2.1 共通プロパティ

プロパティ	ErrorCode	意味
CapCompareFirmwareVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapPowerReporting	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapStatisticsReporting	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapUpdateFirmware	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapUpdateStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CheckHealthText	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
Claimed	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
DeviceEnabled	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_CLAIMED(102)	他のデバイスが排他アクセスを行なっています。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
FreezeEvents	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
PowerNotify	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	以下のどちらかの状態です。 ・プロパティの設定範囲が不正です。 ・**DeviceEnabled**がtrueです。
PowerState	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
DeviceServiceDescription	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
DeviceServiceVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
PhysicalDeviceDescription	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
PhysicalDeviceName	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。

A.2.2　専用プロパティ

プロパティ	ErrorCode	意味
CapStatus	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
CapStatusMultiDrawerDetect	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
DrawerOpened	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

A.2.3　共通メソッド

メソッド	ErrorCode	意味
checkHealth	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_CLAIMED(102)	他のデバイスが排他アクセスを行なっています。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	*level*にJPOS_CH_INTERNAL(1)、JPOS_CH_EXTERNAL(2)、JPOS_CH_INTERACTIVE(3)以外の値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
claim	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	*timeout*に-2以下の値が指定されました。
	JPOS_E_NOHARDWARE(107)	プリンタの電源がオフかケーブルが未接続です。
	JPOS_E_FAILURE(111)	通信エラーが発生しました。
	JPOS_E_TIMEOUT(112)	別のアプリケーションがデバイスに排他アクセスしていて、解放されるのを待っていましたが*timeout*時間（ミリ秒）が過ぎました。または、*timeout*時間（ミリ秒）経過しても、デバイスが処理可能な状態になりませんでした。
	JPOS_E_EXTENDED(114)	ErrorCodeExtended=1010 復帰不可能エラーが発生しました。
close	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
compareFirmwareVersion	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
directIO	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
open	JPOS_E_NOSERVICE(104)	対応するサービスオブジェクトに接続できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	該当のコントロールはすでにオープンしています。
	JPOS_E_NOEXIST(109)	指定された*logicalDeviceName*が見つかりません。

メソッド	ErrorCode	意味
release	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	アプリケーションは該当のデバイスへの排他アクセス権を持っていません。
resetStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
retrieveStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
updateFirmware	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。
updateStatistics	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_NOTCLAIMED(103)	排他アクセスされていません。**claim**を実行してください。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
	JPOS_E_ILLEGAL(106)	本メソッドはサポートしていません。

A.2.4　専用メソッド

メソッド	ErrorCode	意味
openDrawer	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_CLAIMED(102)	他のデバイスが排他アクセスを行なっています。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
waitForDrawerClose	JPOS_E_CLOSED(101)	クローズされているデバイスにアクセスしようとしました。
	JPOS_E_CLAIMED(102)	他のデバイスが排他アクセスを行なっています。
	JPOS_E_DISABLED(105)	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。

付録 B Statistics

B.1 Upos で定義された Statistic

XML 定義名	応答内容	リセット可否
UnifiedPOSVersion	1.13	-
DeviceCategory	"POSPrinter"	-
ManufacturerName	"Seiko Instruments Inc."	-
ModelName	"RP-F10"*1	-
	"RP-E10"*2	
	"RP-D10"*3	
SerialNumber	"Unknown"	-
ManufactureDate	"Unknown"	-
MechanicalRevision	"25"*1	-
	"1A"*2	
	"1C"*3	
FirmwareRevision	ファームウェアバージョン	-
Interface	"Unknown"	-
InstallationDate	"Unknown"	-
HoursPoweredCount	製品の駆動時間 （単位：時間）	✓
CommunicationErrorCount	0	-
BarcodePrintedCount	0	-
FormInsertionCount	0	-
HomeErrorCount	0	-
JournalCharacterPrintedCount	0	-
JournalLinePrintedCount	0	-
MaximumTempReachedCount	0	-
NVRAMWriteCount	0	-

XML 定義名	応答内容	リセット可否
PaperCutCount	オートカッタ駆動回数	✓
FailedPaperCutCount	0	-
PrinterFaultCount	0	-
PrintSideChangeCount	0	-
FailedPrintSideChangeCount	0	-
ReceiptCharacterPrintedCount	0	-
ReceiptLinePrintedCount	0	-
ReceiptLineFeedCount	レシート紙送り行数 （単位：100ドットライン）	✓
ReceiptCoverOpenCount	0	-
SlipCharacterPrintedCount	0	
SlipLinePrintedCount	0	-
SlipLineFeedCount	0	-
SlipCoverOpenCount	0	-
StampFiredCount	0	-

*1：RP-F10使用時
*2：RP-E10使用時
*3：RP-D10使用時

B.2 Manufacturer で定義された Statistic

XML 定義名	応答内容	リセット可否
HoursPoweredCount_Accumulated	製品の駆動時間 （単位：時間）（積算）	-
PaperCutCount_Accumulated	オートカッタ駆動回数（積算）	-
ReceiptLineFeedCount_Accumulated	紙送り行数 （単位：100ドットライン）（積算）	-